

官報

號外 昭和九年三月九日

○第六十五回 衆議院議事速記錄第二十號

昭和九年三月八日(木曜日)

午後一時三十分開議

議事日程 第十九號

昭和九年三月八日

午後一時開議

第一 日本銀行金買入法案(政府提出)

第二 商標法中改正法律案(政府提出)

第三 不正競爭防止法案(政府提出)

第四 軍用電氣通信法案(政府提出、貴族院送付)

第五 健康保險法中改正法律案(政府提出)

第六 廢兵院法中改正法律案(政府提出)

第七 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第八 裁判所構成法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第九 計理士法中改正法律案(世耕弘一君外二名提出)

第十 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(栗原彦三郎君外十二名提出)

第十一 百貨店法案(野田文一郎君外二名提出)

第十二 大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(野田文一郎君外二名提出)

第十三 司法代書人法中改正法律案(立川平君外二名提出)

第十四 司法代書人法中改正法律案(野田文一郎君提出)

第十五 司法代書人法中改正法律案(斯波貞吉君外一名提出)

第十六 蠶絲業組合法中改正法律案(風見章君提出)

第十七 郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案(寺田市正君外四名提出)

第十八 行政執行法中改正法律案(一松定吉君外六名提出)

第十九 速記士法案(內藤正剛君外一名提出)

第二十 速記士法案(平島敏夫君外一名提出)

第二十一 建築士法案(星島二郎君外三名提出)

第二十二 建築士法案(多田瀧長君外三名提出)

第二十三 史蹟名勝天然紀念物保存法中改正法律案(天辰正守君外一名提出)

第二十四 農業保險法案(高田耘平君外五名提出)

第二十五 簡易森林火災保險法案(小山邦太郎君外十七名提出)

第二十六 漁船保險法案(工藤鐵男君外三名提出)

第二十七 刑事訴訟法中改正法律案(原夫次郎君外十三名提出)

第二十八 刑法中改正法律案(作田高太郎君外十三名提出)

第二十九 借地借家調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出)

第三十 小作調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出)

第三十一 民事訴訟法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出)

第三十二 陪審法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出)

第三十三 產業組合法中改正法律案(風見章君提出)

第三十四 百貨店ノ小賣制限ニ關スル法律案(眞鍋儀十君外三名提出)

第三十五 水利組合法中改正法律案(熊谷五右衛門君提出)

第三十六 北海道土功組合法中改正法律案(林路一君外十三名提出)

第三十七 所得稅法中改正法律案(大口喜六君外一名提出)

第三十八 漁業法中改正法律案(畑七右衛門君外一名提出)

第三十九 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(江藤源九郎君提出)

第四十 關稅定率法中改正法律案(荒川五郎君外十七名提出)

第四十一 私生子ノ名稱ニ關スル法律案(一松定吉君外三名提出)

第四十二 盲人保護法案(風見章君提出)

第四十三 金錢債務臨時調停法中改正法律案(山本芳治君外二名提出)

第四十四 金錢債務臨時調停法中改正法律案(野村嘉六君外四名提出)

第四十五 民事訴訟法中改正法律案(竹下文隆君提出)

第四十六 民事訴訟法中改正法律案(第一讀會ノ續(委員長報告))

第四十七 司法保護法案(小林錦君外六名提出)

第四十八 衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)

第四十九 衛生組合法案(野田文一郎君提出)

第五十 衛生組合法案(第一讀會ノ續(委員長報告))

第五十一 衛生組合法案(第一讀會ノ續(委員長報告))

第五十二 衛生組合法案(第一讀會ノ續(委員長報告))

第五十三 衛生組合法案(第一讀會ノ續(委員長報告))

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

第五十 衛生組合法案(福田關次郎君
外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第五十一 傳染病豫防法中改正法律案
(中井一夫君外五名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第五十二 傳染病豫防法中改正法律案
(野田文一郎君提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第五十三 傳染病豫防法中改正法律案
(福田關次郎君外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第五十四 決議案(南滿洲鐵道株式會
社改造ノ件)(小池四郎君提出)

第五十五 決議案(内閣不信任ノ件)
(安達謙藏君外二名提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス)
一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

日本銀行金買入法案
商標法中改正法律案
不正競争防止法案

(以上三月七日提出)
一昨七日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案
左ノ如シ

軍用電氣通信法案
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
度量衡法中改正法律案

提出者

荒川 五郎君 高田 松平君
牧山 耕藏君 川淵 洽馬君
平野 光雄君 内藤 正剛君
本田彌市郎君 山本 厚三君
佐藤 與一君 福田關次郎君

一松 定吉君 松田竹千代君
青木 亮貫君 斯波 貞吉君

藤井 啓一君 高橋 守平君
金錢債務臨時調停法中改正法律案
提出者

山本 芳治君 青木雷三郎君
水久保甚作君

金錢債務臨時調停法中改正法律案
提出者
野村 嘉六君 松永 東君
藤田 若水君 谷原 公君

前田房之助君
國立公園法中改正法律案
提出者

小林 鎬君 田村 實君
森林法中改正法律案
提出者

小林 鎬君 田村 實君
競馬法中改正法律案
提出者

本田 義成君 高橋金治郎君
丹下茂十郎君 大野 伴睦君
土倉 宗明君 出塚 助衛君

瀬川 嘉助君 原 惣兵衛君
中井 一夫君 蔭山 貞吉君
(以上三月六日提出)

度量衡法中改正法律案
提出者

東 武君 八田 宗吉君
福井 甚三君 高橋熊次郎君
山下 谷次君 島田七郎右衛門君
平野桑四郎君
蘭處理法案
提出者
助川啓四郎君 横川 重次君

青木 精一君 加藤 知正君
山本 慎平君 勝又 春一君

近藤壽市郎君 高橋熊次郎君
永田 良吉君 河野 一郎君
山本莊一郎君 平野桑四郎君

高橋 守平君 小山邦太郎君
高田 松平君 戶井 嘉作君
百瀬 渡君 山折 儀重君

戶田 由美君 風見 章君
鷲澤與四二君
(以上三月七日提出)

書道振興獎勵ニ關スル建議案
提出者

安藤 正純君 熊谷 直太君
川崎 克君 東 武君
加藤 鯛一君 廣瀬 爲久君

大竹 貫一君 斯波 貞吉君
機關底曳網漁業取締勵行ニ關スル建議案
提出者

林 儀作君 大島 寅吉君
佐々木平次郎君 手代木隆吉君
縣社新田神社合祀昇格ニ關スル建議案

提出者
中島知久平君 青木 精一君
木暮武太夫君 篠原 義政君
畑 桃作君 増田 金作君

福島米澤間鐵道電化速成ニ關スル建議案
提出者

戶田 虎雄君 高橋熊次郎君
松岡 俊三君 熊谷 直太君
助川啓四郎君 杉本國太郎君
朝鮮ニ訴願法及行政裁判法實施ニ關スル
建議案
提出者
木下成太郎君 藏園三四郎君

守屋 榮夫君 牧野 賤男君
小野寺 章君 一松 定吉君

眞鍋 勝君 本田彌市郎君
武知 勇記君 猪股謙二郎君
青木 亮貫君 武富 濟君

鬼怒川魚族絶滅防止並増殖助成ニ關スル
建議案
提出者

高田 松平君 岡田喜久治君
葉煙草賠償價格ノ算定ニ關スル建議案
提出者

高田 松平君 岡田喜久治君
林 平馬君 高橋 守平君
中井川 浩君

沖繩縣官吏ノ待遇改善ニ關スル建議案
提出者

高田 松平君 林 平馬君
岡田喜久治君
警察署長ノ待遇改善ニ關スル建議案
提出者

高田 松平君 岡田喜久治君
林 平馬君 小山邦太郎君
高橋 守平君

帝國議會圖書館並議員事務室設置ニ關ス
ル建議案
提出者

篠原 義政君 星島 二郎君
廣告物取締法改正ニ關スル建議案
提出者

篠原 義政君 星島 二郎君
志賀神宮創建ニ關スル建議案
提出者
服部 岩吉君 仙波 久良君
清水 銀藏君

石油業法案(政府提出)委員

辭任長田 桃藏君 補闕芦田 均君

一昨七日齋藤內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

司法書記官 池田 克

第六十五回帝國議會司法省所管事務政府委員被仰付

一昨七日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第六部選出 山本、芳治君(天辰正守君

補闕)

第七部選出

懲罰委員 砂田 重政君(望月圭介君

補闕)

一昨七日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第四部選出懲罰委員 藤田 若水君

一昨七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

河川法中改正法律案(政府提出)委員

委員長 松實喜代太君

理事

石川 又八君 坂東幸太郎君

昭和七年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外六件委員

委員長 津崎 尙武君

理事

磯部 清吉君 蔭山 貞吉君

原 淳一郎君

一昨七日特別委員理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

農村救済負擔均衡法案(清瀬一郎君外四名提出)外一件委員

理事 林 路一君(理事船田中君本

月二日委員辭任ニ付其ノ補闕)

一昨七日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

地租法中改正法律案(松岡俊三君外四十二名提出)外三件委員

辭任工藤十三雄君 補闕小林 鎭君

健康保險法中改正法律案(政府提出)外一件委員

辭任武知 勇記君 補闕青木 亮實君

兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)委員

辭任眞鍋 勝君 補闕荒川 五郎君

昭和九年度一般會計歲出入ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)外三件委員

辭任平野 光雄君 補闕中村三之丞君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、第四部選出懲罰委員

谷原公君常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナキモノト認メ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、御届アラシコトヲ望ミマス、日程第一、日本銀行金買入法案ノ第一讀會ヲ開キマス、大藏大臣高橋是清君

第一 日本銀行金買入法案(政府提出) 第一讀會

日本銀行金買入法案

日本銀行金買入法

第一條 政府ハ金ヲ國內ニ保有スル爲大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ金ヲ買入レ之ヲ保有セシムルコトヲ得

第二條 日本銀行ハ本法ニ依リ買入ルル金ノ買入價格ニ付大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三條 本法ニ依リ買入レタル金ハ之ヲ兌換銀行券ノ引換準備ニ充ツベシ

第四條 政府ハ本法ニ依リ日本銀行ガ買入レタル金ノ買入價格ト其ノ金ヲ純金ノ量目七百五十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價シタル金額トノ差額ニ相當スル金額ヲ補填スル爲同行ニ對シテ同額ノ債務ヲ負擔シ借入金證書ヲ交付ス

前項ノ債務ハ無利子トシ一億圓ヲ限度トス

第五條 政府ハ海外拂其ノ他特別ノ必要アリト認ムルトキハ日本銀行ニ對シ本法ニ依リ買入レタル金ヲ其ノ買入價格ヲ以テ同行ニ於ケル國庫金ノ勘定ニ移スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ日本銀行ハ國庫金ノ勘定ニ移シタル金ニ付其ノ買入價格ト其ノ金ヲ純金ノ量目七百五十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價シタル金額トノ差額ニ相當スル金額ヲ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ政府ニ納付スベシ

第六條 日本銀行ハ本法ニ依リ買入レ保有スル金ニ付利益ヲ生ジタルトキハ其ノ利益ニ相當スル金額ヲ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ政府ニ納付スベシ

第七條 第四條第一項ノ政府ノ債務ハ第五條第二項及前條ノ納付金ノ納付ノトキニ之ヲ償還ス

第八條 政府ハ日本銀行ニ對シ同行ガ本法ニ依リ買入ノ爲ニ發行スルヲ要シタル兌換銀行券ノ發行額ニ對シ納付シタル發行稅額ニ相當スル金額ヲ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ交付ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ日本銀行ニ於ケル國庫金ノ勘定ニ屬スル金ヲ政府ガ同行ニ移ス場合ニ於テハ同行ノ受入ルル金ハ之ヲ本法ニ依リ買入ルルモノト看做ス

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ日本銀行金買入法案ニ付キ、提案ノ理由ヲ説明致シマス、政府ハ昭和七年三月以來、外國爲替ヲ買入レテ海外送金ヲ爲シテ居リマシタガ、今其代リニ國庫ノ勘定ヲ以テ、内地產金ヲ買上グルコト、シテ、之ヲ海外ニ現送シテ、政府ノ海外支拂ニ充當シ、以テ金輸出再禁止後ニ於ケル我國產金業者ノ困難ヲ緩和シ、產金獎勵ニ資シテ來タノデアリマスガ、此所作ハ偶、政府海外拂ノ爲替相場ニ及ボス影響ヲ低減スル結果トモナツタデアリマス、然ルニ最近ニ於ケル國際經濟ノ情勢ハ、著シク變化致シマシタノミナラズ、我が國際收支ハ顯著ナル改善ノ跡ヲ示シテ居リマス、サウ云フ實情ニ鑑ミマシテ、金ハ成ベク之ヲ國內ニ保有シ正貨準備ノ充實ヲ圖ルコトガ適當ト認メラレルニ至ツタデアリマス、然ルニ現行ノ金ノ買入方法ニ依リマスレバ、金ハ之ヲ海外ニ現送スルコトヲ要シマスノデ、此方法デハ金ヲ國內ニ保有スルノ目的ハ達成セラレナイノデアリマス、仍テ金ノ保有高ノ増加ヲ圖リ、併セテ產金獎勵ニ資スル爲ニ、日本銀行ヲシテ金ノ買入ヲ爲シ、之ヲ保有セシメ、是ガ爲メ政府ハ日本銀行ニ對シ、當分ノ間一億圓ヲ限リ債務ヲ負擔スル必要ガアリマスノデ、茲ニ本法ヲ提出致シタ次第デアリマス、御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラ

レンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——小笠原三九郎君

○小笠原三九郎君 只今上程セラレマシタ日本銀行金買入法案ハ、我國ノ通貨政策上、劃期的ナ重大ナル意味合ヲ有テ居リマスカラ、簡單ニ數箇ノ質疑ヲ致シタイト存スルノデアリマス、問題ガ問題ダケニ、甚ダ御迷惑ト存ジマスルガ、暫時御清聴ヲ御願致シマス

本法案ガ所期致シテ居リマスル所ノ、國內產金ノ保有ニ付キマシテハ、私共ハ昭和六年十二月、金再禁止ヲセラレルト共ニ、直チニ之ヲ實行セラレルノガ順當デアルト考ヘ、既ニ吾々同志ヨリ、幾度カ國內產金ノ海外保有ヲ中止セラレタイト云フ希望ヲ申述ベタノデアリマスルガ、遺憾ナガラ今日マデ其御實行ガナク、高橋大藏大臣ガ金輸出ノ再禁止ヲ御斷行ニナリマシテ以來、約二年三箇月間ニ、我國ノ金ノ國外流出額ハ、彼ノ正金銀行關係八千九百萬圓ヲ入レマスルト、實ニ一億八千三百萬圓以上ニ上ツテ居リマスルコトハ、洵ニ遺憾千萬デアリマシテ、私共ハ此調子デ政府ガ依然外國支拂ノ不足額ヲ現送サレルト云フコトデアツタラバ、何時ニナツタラ我國ハ通貨ノ安定ヲ得、金本位ニ復歸シ得ルノカト、深憂ヲ禁ジ得ザルモノガアツタノデアリマス、所ガ茲ニ今日此御提案ヲ見ルニ至リマシテ、免ニ角將來ニ於テハ、國內產金ヲ國內ニ保有スルト云フ意思ヲ明ニセラレマシタルコトハ、甚ダ遲シト雖モ尙ホ私共ノ深ク喜ビトスル所デアリマス、併ナガラ通貨政策ノ眼目ト云フモノハ、今日ノ經濟情勢ニ於キマシテハ、一方ニ公正ナル國家水準ノ回復

工作ヲ進捗セシメマスルト共ニ、他方ニ圓價購買力ノ變動ヲ出來得ルダケ減少セシムルニアルノデアリマスルカラ、私ハ此見地ヨリ致シマシテ、獨リ將來ノ產金ヲ國內ニ保有スルノミデハ不十分デアアル、寧ロ現在及ビ將來一切ノ金ノ國家管理ヲ爲サル、コトガ、必要デハナイカト思フノデアリマス、政府ハ本買入案ニ一步ヲ進メテ、金ノ國家管理ヲ爲サル、所ノ御意思ナキヤ否ヤト云フコトヲ、第一ニ御伺申上ゲタイノデアリマス(拍手)

申ス迄モナク、如何ナル通貨政策ヲ採用致シマスニシテモ、或ハ今日學者ノ間ニ言ツテ居ル所ノ管理通貨トカ、商品「ドル」トカ、色々ノ意見ガアリマセウガ、何レニ致シマシテモ現下ノ經濟機構、經濟狀態ニ於キマシテハ、金ヲ通貨ノ關係カラ切離スコトハ出來ナイノデアリマス、假ニ國內的ニハ出來得ルニシテモ、國際的ニハ一般ニ承認セラレ、且ツ廣ク授受サレルモノハ、金ヲ外ニシテハ何物モナイノデアリマス、即チ國際收支ノ決濟ニハ、ドウシテモ金ガ必要ナノデアリマス、隨ヒマシテ通貨政策ノ根本的準備工作トシテ、金ノ保有ト云フコトデナケレバナラス、此見地ヨリ致シマシテ、獨リ將來ノ產金ヲ國內ニ保有スルノミデナク、現在及ビ將來ノ金ヲ舉ゲテ悉クヲ、國家管理ニ移スノ必要ガアルト思フノデアリマス、此間米國ガ平價切下ニ關聯シマシテ、新通貨政策ノ中ニ金ノ政府管理ヲ入レテ居リマスルハ、洵ニ當然ト申スベク、米國ガ聯邦準備銀行ノ所有金ヲ初ト致シマシテ、民間ノ所有金マデ、金ノ悉クヲ財務省ノ所管ニ移シマシタコトハ弗ノ通貨價值ヲバ、國內的ニモ亦國際的ニモ安

定セシムル爲ニ執ツタ、當然且ツ適正ナル手段デアルト言ハネバナラスト存ジマス、私ハ我ガ日本ニ於キマシテモ、近ク金ノ國家管理ヲ爲ス必要ガアルト考ヘルノデアリマスルガ、政府ニ左様ナ御意思アリヤ否ヤ、此點ヲ御同致シタイノデアリマス

次ニ御同致シタイノハ、本法ニ依リマシテ將來國內ノ產金ヲ買上ゲラレル場合、其買上價值ノ標準ヲ如何ナル所ヘ置カル、カト云フコトデアリマス、從來我國ノ金ノ買上價值ハ、大體時價ノ二割引ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、特ニ以前時價算定ノ基準デアリマシタ米弗ガ、輸出再禁止ニナリマシテ以來ト云フモノハ、磅爲替ヲ參考ニシテ、謂ハ、政府ノ手心デ買入價值ヲ御決メニナツテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマスガ、斯ノ如キ價值ノ建方ハ、斷ジテ公正ト云フコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、斯ク買上價值ヲ安クセル結果ガ、我が產金ノ増加ハ豫期ノ數量ニ達シマセヌ、又密輸出ノ如キモ相當多量ニ行ヘレマシテ、是ガ昭和八年一箇年ノミニテモ、三千万圓以上ニ上ツテ居ルト云フ調査ガ出テ居ル位デアリマス、金ノ輸出再禁止ヲシテ、一方ニ政府ガ國內產金ヲ買上ゲナガラ、斯ク多量ノ密輸出ガ行ハレルト云フコトハ、洵ニ奇怪至極ト言ハネバナリマセヌガ、此事實ハ最モ雄辯ニ、政府在來ノ買上價值ガ、罪ヲ犯シマデ密輸出ヲ爲ス者ノ輩出スル程、不當ノ廉價ニ失シタコトヲ物語ルモノデナカラウカト思フノデアリマス(拍手)成程政府ハ產金獎勵金ヲ御出シニナツテ居ルデアリマセウ、又國內ニ於テ金ノ自由賣買ヲ御認メニナツテ居ルデアリマセウ、ケレドモ金ヲ國家ガ必要トシテ買取取場合ニハ、

其買上價值ハ金ノ「オーブンマーケット」ニ於テ賣買セラルベキ、公正ナル價格デナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、私ハ政府ガ過去ノ如キ方法ニ依ラズ、倫敦ノ金塊相場、或ハ米國政府ノ金買上價值ヲ基準トセラレテ、之ヲ時ノ對英對米爲替ニ依ツテ換算シタモノニ、現送費用其他若干ノ「アッジャストメント」ヲセラレテ、買上ゲラレルノガ穩當デアリ、且ツソレガ金ノ買上目的ヲ達成スル唯一最善ノ、方法デアルト考ヘルノデアリマス、若シ夫レ產金業者ガ儲ケ過ギルト云フコトデアリマスナラバ、之ニ對スル方法ハ他ニ幾ラデモアルノデアリマス、價值ヲ下ゲテ一種ノ租稅ニ代ヘサセルガ如キ過去ノ方法ハ、速ニ改メラルベキモノト信ズルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

第三ニ御同致シタイノハ、此法律ヲ制定セラレマシタ眞ノ目的ハ、那邊ニアルカト云フコトデアリマス、私ハ只今承リマシタヤウナ、本法ノ目的トスル所ガ、單ニ日本銀行ヲシテ國內ノ產金ヲ買上ゲサセル、之ヲ國內ニ保有スル、產金ノ獎勵ニ資スル爲ニ、日本銀行ヲシテ買入レサセル、或ハソレニ依ツテ生ジタ損失ヲ補償サセル、サウ云フヤウナ方法ヲ、決メラゲケノ法律デアツテハナラナイト考ヘルノデアリマス、必ズヤ我が通貨價值ノ安定ヲ圖ルガ爲メノ、最モ肝要ナル準備工作ノ一ツデナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、隨テ政府ハ本法制定ニ依ツテ、我國ノ金本位ノ復歸ヲ促進スル所ノ、一準備工程トスル所ノ御考ヲ持ツテ居ラレカドウカ、其點ヲ政府ニ御伺申上ゲタイノデアリマス(拍手)又本法案第五

條ニ依リマスル、政府ハ海外拂其他特別ノ必要アリト認ムルトキハ、日本銀行ヨリ其買入價格ニテ、國庫金ノ勘定ニ移スコトヲ命ジ得トナツテ居リ、場合ニ依ッテ海外ニ金ヲ現送シ得ルコトニナツテ居リマシテ、此法文ヲ見マスルト、政府ハ爲替相場ノ下落シタ場合、之ヲ防止セントスル意圖ヲ御有チニナツテ居ルカトモ看取セラレルノデアリマス、如何ニモ不當ナル爲替相場ノ下落ガ、延イテ中産階級以下ノ没落ヲ招來シテ、國民生活ノ脅威トナルガ如ク、同時ニ不自然ナル爲替相場ノ維持モ、亦貿易産業ノ振興ヲ阻害スルコトハ申ス迄モアリマセヌ、然ルニ政府ガ此金買上法案ニ當リ、一方のニ爲替相場ノ下落防止ヲ豫想セシムルガ如キ、法文ノミヲ規定セラレテ居ルガ如キハ、私ガ曩ニ爲替管理法ノ場合ニ申シテ置キマシタ通り、吾ガ現行管理法ガ爲替下落ノ防止ヲナス役目ヲ果シ得テモ、爲替ノ激騰ヲ抑壓スル點ニ關シテハ不十分デア

ル、此當局者ノ考方ヲバ、本法ニ依リテ更ニ裏書強化スルガ如キコト、ナツテ、甚ダ面白カラヌコトダト思フノデアリマス、政府ノ御所見ノアル所ヲ伺ヒタイト思ヒマス

第四ニ御伺シタイノハ、爲替平衡又ハ安定資金ノ問題ニ付テアリマス、大藏大臣ハ爲替平衡資金ノ設定ニハ、御賛成ナキ模様デアリ、如何ニモ我が財政上十分其效果ヲ舉ゲ、機能ヲ發揮スベキ程ノ巨額ナル平衡資金ヲ調達スルコトハ困難ニ相違ナク、又英國ノ如ク爲替操縦ノ爲ニ巨額ノ損失ヲ致シテモ困ルノデアリマスルガ、我が圓價ノ切下ガ必至デアリ、圓純分ノ引下ガ不可避デアルトスレバ、其準備トシテ本法ニ依ル金ノ買上蒐集以外ニ、平衡資金又ハ

之ニ代ルベキ何モノカ無クテハナラヌト考ヘルノデアリマス、加之我が日本ノ季節的、及ビ外國ノ特殊事情ニ依ッテ生ズル圓價ノ急激ナル騰落ニ對シテモ、之ヲ調節スルノ必要ハ、大藏大臣ニ於テモ御肯定相成ルコト、思フノデアリマス、政府ハ斯ウ言フタ事柄ニ對シテ、何等カ相當ナ方法ヲ御考ニナツテ居ルカドウカ、御所見ヲ承リタイノデアリマス

第五ニ御伺致シタイノハ、民間保有金ノ收容引上ト云フコトニ付テアリマス、此質問ハ第一ニモ申上ゲマシタ金ノ國家管理ニ關聯セル質問デアリマスルガ、政府ハ此今同ノ法律ノ附則ニ、日本銀行關係ノ事柄ヲバ御決メニナツテ居リマスルケレドモ、一般民間ニ隱匿乃至死藏セラレテ居ル所ノ金ヲ、將來政府ノ手ニ引上ゲ、收容セラレルノ御考ガナイカドウカ、其點ヲ承リタイノデアリマス、日本銀行ノ正貨準備四億二千餘萬圓ノ外ニ、朝鮮銀行、臺灣銀行等ニモ、若干宛ノ金準備ガアル筈デアリマス、又斯ウ云フヤウナモノヲ政府ノ手ニ引上ゲ、收容セラル、外、民間ニ於キマシテモ、兌換停止前ニ大分金貨ニ取替ヘテ、之ヲ今日死藏シテ居ル向ガ少クナイト考ヘルノデアリマスルカラシテ、政府ハ是等ヲ舉ゲテ近ク引上ゲ、又ハ收容セラル、御考ハナイカドウカ、又其場合ノ政府ノ引上價格ニ付テ、何等カ御考ニナツテ居ルカドウカ、サウ言ツタ場合ニ、時價ニ依リマシテ之ヲ買上ゲレバ、問題ハ起ラスデアリマセウガ、一部分ニハ現行ノ一匁五圓ニ換算シテ、兌換券ヲ交付スルコトガ當然デアアル、萬一是ガ引上ニ應ジナイ者ハ、嚴罰ニ處シトラ宜カラウト云ツタヤウナ事ヲ申シテ居ル者モアリマ

スルガ、亞米利加邊リノ實例ヨリ見マスレバ、洵ニ是モ一理アルノデアリマスルガ、併シ亞米利加デモ、此事柄ニ付テハ憲法違反デハナイカト云フ問題モ出タ位デアツテ、現ニ所有權ノ確定シテ居ル所ノ、此民間ノ金引上ニ付テハ、豫メ相當ノ御考慮ト御用意トガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、政府ノ其點ニ關スル御所見ヲ承リタイト存ジマス

第六ニ、本法ニ依リマス買上保有金ガ、日本銀行ノ兌換券發行準備ニ充當サル、關係モアリマスルノデ、我國ノ通貨政策ニ付テ、少シク大藏大臣ノ御考ヲ承リタイト存ズルノデアリマス、目下世界ノ諸國ハソレレ、一定ノ通貨政策ヲ立テマシテ、所謂非常時克服ニ邁進セントシテ、日モ是レ足ラザル有様デアリマスルガ、政府ハ此新ナル經濟情勢ニ對應スル爲メ、我が通貨政策ニ付テ明確ナル御方針ヲ御立テニナツテ居リマスカドウカ、即チ政府ハ此世界經濟ノ變局ニ處シマシテ、マサカ現行通貨政策ヲ此儘御續ケニナル御考デアリマスマイ、必ズヤ新時代ニ適應セル新通貨政策ヲ御立テニナリマシテ、將來ニ臨マル、コト、存ジマス、果シテ然ラバ此際其大本ナリ輪廓ナリヲ御示シ願ヒタイト存ズルノデアリマス、私ハ此問題ニ付キマシテ、二ツノ點ヲ御尋シタイノデアリマス

第一ハ、通貨數量ノ問題ニ付テアリマス、通貨ノ數量ハ人爲ノミニ依ッテ定マルモノデナク、又世間ノ景氣、不景氣モ通貨ノ數量ノミデ定マラヌコトハ勿論デアリマスルガ、通貨ノ數量ヲ其時代ノ經濟狀態ニ適應セシムルヤウ、出來ルダケ其數量調節ニ努ムルコトハ、通貨政策ノ第一重要骨子

デナケレバナラヌト考ヘラレルノデアリマス(拍手)是レ所謂通貨ノ圓満ナル流通ヲ要望サル、所以デアリマス、我國ハ金再禁止以來、爲替相場ニ於キマシテ六割強ノ暴落ヲ示シ、外國關係ノ諸商品ハ大體四五割ノ騰貴ヲ示セルニ拘ラズ、國內商品ハ殆ド變リガナク、農作物ノ如キハ約一割強ヲ騰貴セルニ止ツテ居リマス、物價ガ其商品自體ノ需給關係ニ基ク所大ナルハ申ス迄モアリマセヌガ、併シ遠慮ナク申セバ、國內物價ガ上ラナイコトハ、通貨政策ニ缺クル所ガアツテ、信用ノ膨脹ナリ、通貨ノ數量ナリガ、爲替相場ト沒交渉ニ置カレテ居ル結果ノ致ス所デハナイカト思ヒマス(拍手)學問的ニ言ヘバ色々ノ意見モアリマセウガ、併シ私ハ我が通貨ハ所謂潛在通貨ヲ別ニ考ヘテ、現在ノ三、五割程度増加スルコトガ、一面ニ國內物價ヲ國際商品物價ノ水準ニ近付クマデ上ラシムルコトニ役立チ、他面國內産業ノ振興、失業率ノ減少、景氣回復ニ役立ツコト、考ヘルノデアリマス(拍手)大藏大臣ガ將來日銀ノ所謂「マーケットオペレーション」等ニモ十分心ヲ用キラレ、常々大臣ガ御心配ニナツテ居ル空氣ノ煽揚、投機助長ノ弊害ニ陥ラザル限り、通貨數量漸増ノ方針ヲ取り、以テ金利ノ低下ト市場資金ノ潤澤化、産業金融ノ緩和普遍化ヲ圖ラレシコトヲ、切望シテ已マザルモノデアリマス、此點ニ付キ藏相ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス

第二ハ平價切下ノ問題ニ付テアリマス平價切下ノ問題ハ、本法第六條ニ於テ、平價切下ヲ豫見セラレテ居ルヤウニ見受ケラレマスガ、又我が對外爲替相場其他ヨリ見マシテ、何レ實行セラレベキコトハ、今日

吾々國民ノ常識トナッテ居ルノデアリマス、唯其切下ノ程度ナリ、時期ナリガ、問題トシテ殘ルノデアリマスルガ、併シ是ハ財界ニ及ボス影響ノ少カラザル所ヨリシテ、恐ラク今日ハ御言明ノ時期デモナク、又御言明ヲ困難トセラレデアリマセウ、唯私共ハ平價切下ノ如キ重大問題ハ、先ヅ世界主要國ノ財界及ビ爲替市場ガ安定シ、我國モ亦適當且ツ公正ナル通貨標準ヲ得タル曉、且ツ又一度其切下ヲ斷行シタル後、再ビ是ガ切下ヲ爲スガ如キ必要ノ起ラザルコト、竝ニ其切下ニ依リマシテ國民各層、各階級ガ特別ノ利益、不利益、好惡ノ影響ヲ被ラザル時ニ至リ、初メテ之ヲ行ハルベキモノト信ズルモノデアリマス、唯最近米國ノ平價切下決定ニ關聯致シマシテ、世間動モスレバ圓平價切下ノ實行ヲ、特ニ取急ギ要望スル者モ尠カラヌヤニ聞イテ居リマス、是ハ我が通貨、圓ノ國內の價值ト國際の價值トヲ同一ナラシメントスル考ヨリスレバ、一理アリマスルケレドモ、一面米國ノ弗平價切下ニ依リマシテ、同國ヘノ金流入還流等ガ始マリ、何時歐洲金本位諸國ノ動搖ヲ來サストモ限ラヌシ、各國ノ貨幣制度モ亦不安動搖ノ中ニ在リマスカラ、他面我國ノ財政計畫、増税問題等モ、確乎タル見透シガ付兼ネテ居ル今日ノ際デアリマスカラ、我が日本ト致シマシテハ、平價切下ハ斷ジテ其時期デナイト考ヘルノデアリマス、今後ト雖モ早急ニ之ヲ取極ムベキモノニ非ズト考ヘマスルガ、此機會ニ政府ノ意ノアル所ヲ御示シ願ヘバ仕合ニ存ジマス

第七ニ御伺シタイノハ、金ノ數量増加對策如何ト云フコトデアリマス、政府ハ本金買入法案ニ依リマシテ、將來國內產金ノ買入保有ヲ明カニセラレタガ、國內保有量ニ付テノ増加ニ依リマシテ、本法ニ依ル以外ニ、場合ニ依ッテハ海外市場デ買入ル、トカ、サウ云フヤウナ何等カ他ニ別箇ノ考ガアルカドウカ、本法ガ產金買上トセズ、金買上トシテ居ルノハ、國內產金ノ買上以外、積極的ニ他ニ何等カノ對策ヲモ講ゼラル、御意思ニ基クモノデアリマスカドウカ、其點ヲ御伺致シタイノデアリマス

目下日本ノ金保有額ハ、之ヲ主要各國ニ比較スレバ、御話ニナラヌ程貧弱至極デアリマシテ、金本位制復活ノ容易ナラザルモノアルヲ思ハシメルバカリデナク、一朝有事ノ日アルコトヲ考ヘマスト、眞ニ寒心禁ジ得ザルモノガアルノデアリマス、試ミニ之ヲ昨昭和八年末ヲ以テ十年前ニ比較致シマスト、我が日本ハ其當時ノ十一億七千萬圓ヨリ、僅ニ四億二千五百萬圓ト激減シ居ルニ對シテ、亞米利加ハ依然トシテ八十億ヲ有シテ居リ、英國ハ十四億九千六百萬圓ヨリ十八億六千六百萬圓トナリ、佛蘭西ノ如キハ十四億二千萬圓ヨリ、一躍六十億四千二百萬圓ニ激増シ、伊太利ノ如キモ四億四千二百萬圓ヨリ七億四千萬圓、白耳義ノ如キモ一億六百萬圓ヨリ七億六千萬圓、和蘭ハ四億六百萬圓ヨリ七億四千二百萬圓ト云フ工合ニ激増シマシテ、單ニ金保有額ノミデ申スナラバ、我國ハ實ニ南米ノ一小國タル亞爾然丁ノ、四億六千四百萬圓ニモ及バヌ慘澹タル現狀デアリマス、勿論亞米利加、佛蘭西等ノ實例ニ見マスルガ如クニ、金ノ増加保有ト云フコトガ、必シモ其國經濟ヲ繁榮セシメ、國民ヲ幸福ニスルトハ限ラヌノデアリマスカラ、一國經濟カラ見テ、不均衡ナル程度マデ、金ノ獲得ニ没頭スル必要

ハ無イノデアリマスガ、我國ノ現狀ハ餘リニ少額ニ過ギルト考ヘルノデアリマス、政府ハ是等ノ事實ヲ直視サレテ、我國ノ金保有量増加ニ對シ、獨リ國內產金ノ買上ノミナラズ、他ニ適當ノ對策ヲ有セラル、カドウカ、此點ヲ御伺致シタイノデアリマス

第八ニ御伺致シタイノハ、我國ト致シマシテハ、獨リ金ニ對シテノミナラズ、銀ニ對シテモ亦相當ノ考慮ヲ拂ハル、必要ガアルト存ジマスガ、政府ノ銀問題ニ對スル御所見ハ如何デアリマスカ伺ヒタイノデアリマス、先頃ノ「ルーズヴェルト」大統領ノ敎書ニ依リマスト、政府ハ紙幣ノ發行準備トシテ金及ビ銀ヲ保有スル方ガ、安定ヲ一層善クスル云々ト言ッテ居リマス、如何ニモサウデアリマシテ、之ヲ重要商品十八箇ノ實際ニ就テ調査シテ見マスト、金ヲ標準ニ致シマス時ニハ、昭和四年、千九百二十九年ノ物價ヲ百トシマシテ、之ヲ其五年前ハ、五年後ニ比較致シマスルト、金ヲ標準ニスルト、實ニ百デアツタモノガ四十三、即チ三分ノ一弱ニ暴落致シテ居ルノデアリマス、然ルニ若シ之ヲ銀ヲ標準ニ致シマスレバ、僅ニ九十九カラ八十八、即チ一割強ヲ下落シテ居ルニ過ギヌノデアリマシテ、其低落程度ハ殆ド言フニ足ラナイノデアリマス、是等ヲ考ヘマスルト、亞米利加ノ大統領ノ敎書ニハ、相當有力ナル一ツノ「サゼッショ」ヲ含シテ居ルト思フノデアリマス、即チ亞米利加ノ如キハ世界デノ產銀國デアリ、銀貯藏國デアリマスト、現ニ三億七千萬弗カラノ「シルバ・サティファイケート」モ出シテ居ル關係モアリマシテ、度々議會ノ問題トモナッテ居リマスカラ、或ハ遠カラズ

金銀複本位制ヲ採用スルノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、私ハ隣邦支那、及ビ我國ト同一經濟「ブロック」圈ニ置カルベキ銀貨國滿洲等ヲ考ヘマス時ニ、日本ニ於テハ單ニ金ハカリデナク、銀ニ對シテモ、相當ニ眞劍ナル研究ト對策トヲ、不斷ニ明確ニ之ヲ講ジ置ク必要ガアルト考ヘルノデアリマス(拍手)政府ハ銀ニ對シマシテ調査會トカ、何等カノ施設ヲナサル御考ハナイカドウカ、此點ヲ承リタイノデアリマス

第九ニ御伺致シタイコトハ、政府ハ本法案ニ引續キマシテ、政府ニ關稅獨裁權竝ニ輸入制權權附與ノ、所謂通商獨裁法ヲ御出シニナル御考ガアルカドウカト云フコトデアリマス、本買入法案ガ實施サレマスルト、必然的ニ對外爲替相場ニ影響シテ參リマス、我が對外爲替相場ハ、外國ニ何等カ特別ノ事象ガ發生シナイ限り、又國內デ特別ニ挺入ヲセザル限りハ、漸次下落致シテ行クモノト考ヘラレルノデアリマス、サウ致シテ參リマスルト、又モヤ我國ノ輸出商品ハ、外國カラ爲替「ダンピング」呼バハリヲサレテ、折角世界各地ニ進出セル販路ヲ遮斷セラレ、虞ナシトシマセヌ、私ハ二月二十三日ニ、通商審議會ガ政府ニ答申ヲ致シマシタ通り、此情勢ニ對應スルガ爲メ、機宜ノ措置ヲ講ジ置ク必要ガアルト信ズル者デアリマス、相手國ノ出方ニ依リマシテ、臨機關稅定率ヲ改正シ、又一部商品ノ輸入制限ヲ斷行シ得ルヤウ政府ニ於テ是ガ權限ヲ取得シ置カル、コトハ、我が貿易産業ヲ擁護シ、國際的商權ヲ確保スル上カラ見マシテ、極メテ必要且ツ劃切ナルコトデアルト考ヘルノデアリマス、前議會デ決定致シマシタ爲

管理法律ト、今議會ニ提出セラレマシタ日本銀行金買入法案ト、此通商獨裁法トモ申スベキ法律トハ、正シク三位一體、鼎ノ足ヲナシテ、其一ツヲ缺ク時ニハ、到底法ノ十分ナル働ヲ期待スルコトガ出来ナイと思フノデアリマス(拍手)此點ニ付キマシテ政府ノ御所見ノ程ヲ伺ヒタイノデアリマス

最後ニ御伺致シタイノハ、爲替政策ニ付テアリマス、亞米利加ガ義ニ國內ノ物價騰貴ヲ圖ルガ爲ニ各種ノ方法ヲ執リ、又爲替相場ヲ下ゲンガ爲ニ、積極的ニ海外ニ於テ金買上ヲ爲ス等、國內産業ノ振興ト海外貿易ノ發展トニ餘力ヲ殘サズ、勇猛果敢ニ諸般ノ政策ヲ斷行致シマシタ際、此計畫的ナル所ノ弗引下ニ對シマシテ、我が日本政府ハ如何ナル對策ヲ講ゼラレタノデアリマセウカ、農家ノ重要産業タル生絲ヲ初トシ、我國ノ經濟上何處ノ國ヨリモ特別密接ノ關係ガアリマス米國ノ爲替操縱ト云フコトハ、我國ノ受クル影響ハ非常ニ大キナモノガアリマシテ、之ヲ看過スルコトヲ許サナイノデアリマス、然ルニ私ハ不敏ニシテ、政府ノ之ニ對スル適當ナル對策ヲ御講ジニナタト云フコトヲ聞イテ居ラスノデアリマス、爲替管理法布カレタ約十箇月、資本逃避防止等ノ目的ハ、遺憾ナク達成セラレタヤウデアリマスケレドモ、管理法ノ重要ナル一使命デアルベキ、不利不當ナル所ノ爲替相場ノ抑制ニ付キマシテハ、未ダ會テ其顯著ナル働ヲ見ナカッタノデアリマス、今回亞米利加ハ二十億弗ノ爲替安定資金ヲ設定シテ、大規模ニ爲替操縱ヲナサントシテ居ル、私ハ我が日本ト致シマシテ、爲替關係ノ御提案トシテ、僅ニ此日本銀行金買入法案ノミノ御提出デハ、如何ニ

モ物足ラズ、且ツ心淋シク感スル者デアリマス、勿論一代ノ藏相タル高橋翁ノ御胸中ニハ、十分ノ御經驗ガアルコト、拜察スルノデアリマスガ、今や我が國民ハ初爾ノ相場決定ヲ前ニ致シマシテ、憂ノ色ガ山野ニ滿ツルモノガアルノデアリマス、願クハ此機會ニ於キマシテ、御腹藏ナク御意見ヲ御漏シ下サラシコトヲ切望ニ堪ヘマセヌ、尙ホ政府補償限度ノ問題其他ニ付キマシテ、澤山御伺シタイ點ガアルノデアリマスガ、是ハ委員會ニ譲リマシテ、暫ク前申シタ諸項ノ私ノ質問ニ對シマシテ、御懇切ナル御答辯ヲ賜リマスナラバ、仕合せニ過グルモノハナイト存スルノデアリマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 小笠原君ヨリ沼十箇條バカリニ付テノ御質疑ガアリマシタガ、中ニハ隨分同意ノ點ガ澤山アリマシタ、併シ其根本ニ於テ御斷リヲシテ置キタイノハ、兎角米國ノ今日ノ内外ノ經濟狀態ノ激變アル際ニ於テ、米國ガ執リツ、アル所ノ國策ヲ根基トシテ、サウシテ我國ニ於テモサウ云フコトヲシタラドウカト云フ御考ガアルヤウニ承ハル、ソレ故ニ當局ノ考トハ違フ點モアルカモ知レナイ、先ヅ大體申シテ置キマスガ、米國ノヤリ來ツコトヲ能ク御調ニナツテ居リマセウガ、悉ク今日マデハ皆之ヲ試驗的ニヤツテ居ル(幸ニ「ル」ズベルト)大統領ハ非常ナ勇氣ガアリ、又強イ信念ガアツテ、之ニ加フルニ未ダ會テ米國大統領ノ得タコトノナイ廣汎ナル政治上ノ權能ヲ議會カラ與ヘラレテ居ル、而シテ何十億ト云フ巨額ノ金マデ、自由ニ使フコトノ出來ルヤウナ權能ヲ貰ツテ居ル、而シテ就任以來種々ナ政策ヲ行ツテ居リマスル

ガ、未ダ其目的ヲ達シナイノデアアル、併ナガラ國民ハ之ニ對シテ決シテ叱言ハ言ハヌ、兎ニ角誠心誠意、非常ナ勇氣ヲ以テ國家ノ爲ニ盡シテ居ルノダカラ、先ヅ之ニヤラセルガ宜イト云フコトデ、ソレ故ニ此政策ヲヤツテ、其目的ガ達セラレナケレバ、忽チソレヲ變ヘテ又別ノ政策ヲ樹テル、一番初ハ通貨ヲ殖シテ、何事ヲ措イテモ物價ヲ騰貴サセルト云フコトガ第一ノ目的デアッタ、今日以テ未ダ其目的ハ達セラレテ居ラヌノデス、元々私ナドガ考ヘマスト、唯通貨ヲ殖ヤシ、一方ニ於テハ勞働ノ時間ヲ縮メ、サウシテ勞働ノ時間ヲ縮メルノミデハナイ、其賃銀マデモ割合ニ殖ヤシテヤル、サウシテ失業業者ヲ無クナシタノデスガ、是ガ將來ドウナリマスカ、一方ニ於テハ心配スル人達ハ、賃銀ヲ餘計取ラシテ、働ク時間ヲ減シテ、サウシテ失業業者ヲ無クナサウト云フ政策ハ、是ハ一方カラ言ヘバ、非常ニ非難攻撃ガアルノデス、成程今マデ五人デシテ居ッタ仕事ヲ、時間ヲ減ラシテ、一人分ソコニ餘裕ヲ生ジテ六人ニ使フ、サウシテ一方ニ於テハ反對ニ其賃銀ヲ——最低賃銀ヲ決メテ殖ヤシテヤル、ソレハ一時ハ職工ハ宜イカモ知レナイガ、其結果ガ經濟界ニ物價ヲ高メテ、サウシテ不景氣ヲ回復スルト云フコトニハ、ドウモ行カナイト云フノデアリマス、近頃ハソレ故ニ、一方ニ於テハ非常ニ「インフレーション」ヲ獎メル人モアルガ、ソレハ宜イカスト云フコトヲ、最早大統領モ十分ニ承知シテ居ルノデアアル、又例ヘバ銀ノ問題デ御話ガアリマシタガ、是ハ御承知デアリマセウガ、民主黨ノ政府デアリマス、而シテ米國中ノ最モ銀ノ產出ノ多イ七箇國ト云フモノ

ハ、是ハ民主黨デアアル、是等ノ投票ヲ得テ民主黨ガ今日天下ヲ取ツタノデアアル、而モ從來銀ノ値ト云フモノガ非常ニ下ツタ爲ニ、銀ヲ主トシテ產出スル國々ノ、銀ノ鑛山業ト云フモノハ非常ニ衰微シタ、資本家モ非常ニ困ツテ居ル、ソレ故ニ民主黨政府ニナルト、忽チ銀ノ値ヲ高メヨト云フ要求ガ、一方ニ於テハ非常ニ強イ、サウ云フ關係ガアツテ、亞米利加ハ亞米利加トシテ、相當ナ事情ノ下ニ時々政策ヲ樹テ、行クノデアリマスルカラシテ、未ダ結果モ十分ニ現ハレナイノヲ取ツテ、我國ガソレヲ御手本トスル譯ニハ行カナイ、又亞米利加ノ通貨デモサウデス、今日ソレナラバ、亞米利加ノ弗ガ切下ゲラレテ、アレバ續クカ、マダ大統領ハ更ニ一割、金ノ含有量ヲ減ラシタケノ權能ヲ有ツテ居ル、是ガ歐羅巴邊リデ今日矢張心配デアアル、米國ハ兎ニ角最初ハ世界ヲ指導シテ平和ノ世界ニスル、軍備モ十分ニ縮小シテ、サウシテ國民ノ負擔ヲ輕クシテ、米國ノ貸シタ戰債ナドハ、十分ニ取レルヤウニシタイト云フノガ願デアアル、併ナガラ今日ハ、モウサウ云フコトハ、米國ガ指導シテ他國ヲ誘フト云フ譯ニハ行カナクナツタ、故ニ自國ノコトヲ先ヅヤラナケレバナラス、自給主義ヲ執ラナケレバナラヌヤウニナツテ來タ、大體サウ云フコトデアリマスカラシテ、必ズ米國ト——或ハ英國モ其通り、何等彼等ノ執ツタ財政政策ヲ、直チニ我國ガアレバ執ツタ宜カラウト云フコトハ、私ハ承服ハ出來ナイ、殊ニ英國ノ如キハ、金塊ノ市場ト云フモノハ、世界中ノ市場トシテ倫敦ガアル、米國ノ如キハ、マダアレダケノ國デアアルケレドモ、世界のニ金ノ市場ト云フモノハ開設サレテ居ラナイ、サウ

云フ事情ヲモ考ヘテ、我國ノ爲替相場ニ關
スルコトモ研究シナケレバナラス、金ノ保
有ノコトニ付テモ研究シナケレバナラス、
我國ハ我國ノ特殊ノ事情ニ適應シテ考フ以
テ、此政策ヲ樹テナケレバナラス、是ハ私
ト小笠原君ト意見ノ違フ所ガアルカモ知レ
ヌガ、ソレハ根本ニ於テ今ノヤウナコトガ
アルガ爲ニ違フデアラウト云フコトヲ、先
ヅ大體申上ゲテ置ク

第一ニ亞米利加ノヤウニ、金ノ國家管理
ヲスル考ハ私ハ有ツテ居リマセズ、ソレカラ
ソレニ付テ、將來國際間ノ收支ヲ決算スル
爲メ——清算スル爲ニ使ハレル通貨ト云フ
モノハ金ニ決テ居ル、サウ云フ御意見デア
リマス、ソレハ私モサウ考ヘテ居ル、將來
國際間ノ通用金トシテ定マル所ノモノハ金
デアラウ、或ハ若シ亞米利加ノヤウナ説ガ
聽入ラレルナラバ、或ハ金銀兩方ニナルカ
モ知レヌ、兎ニ角是ハ世界中各國共ニソレ
デ一致シナケレバ——同意シナケレバ、一
國デ世界共通ノ通貨ヲ定メルト云フコトハ
出來ルモノデヤナイ、ソレカラ金ノ此度ノ
買入値段標準ハ何處ニ置クノカ、此標準ヲ
何處ニ置クノカト云フ意味ハ、或ハ各國ト
ノ關係ノ爲替相場、サウ云フ爲替相場ニ關
係ナク、日本ハ日本デ自主的ニ金ノ相場
ヲ定メテ宜カラウ、斯ウ云フ意味カモ
知レナイ、サウモ取レタケレドモ、サウ
云フコトハ我國トシテハ出來ナイ、今日
ハ亞米利加ハ三十五弗、ソレデモマダ世
界ノ人ハ皆疑フテ居ル、前申ス通り、更
ニ一割ノ切下ノ權能ヲ持ツテ居ルノダカ
ラ、今切下ゲタ金弗デ尙ホ外國トノ爲替ノ
上ニ於テ十分ニ效ヲ奏サナイ、亞米利加ノ
弗ガヤハリ依然トシテ他所ノ國ニ對シテ、

稍、高キ價ヲ維持シテ居ルト云フコトナラ
バ、更ニ金ノ分量ヲ一割減ラスカモ知レナ
イト云フコトヲ、皆懸念シテ居ル位デア
ル、ソレ故ニ我國トシテハ、自國デ以テ自主的
ニ金ノ價ヲ定メルト云フコトハ出來ナイノ
デアリマス、所ガソレニ付テ此法案ノ中ニ、
買上ゲルト云フコトニ付テハ、何處ニ其標
準ヲ置クカト云ヘバ、比較的我國ノ爲替相
場ト、餘リ變化ヲ多クシナイ所ノ國ノ爲替
相場ニ依ツテ、先ヅ之ヲ標準トシテ行クヨリ
外ニ仕方ガナイ、今日ノ所デハソレ故ニ磅
英貨デス、幸ニシテ我國ノ爲替相場ハ磅ニ
對スル爲替相場ハ、餘リニ變化ガナイノデ
ス、先ヅ之ニ依ツテ金ヲ買入レ、バ、卒ザ金
ノ要ルト云フ時ニハ、ソレヲ倫敦ニ持ッテ行
ケバ、彼處ガ先刻申ス通り世界の金ノ市
場デア
ル、何時デモ賣レルノデア
ル、外ニ
持ッテ行ッテハサウハ行カナイ、ソコデ金ノ
公開市場ト云フヤウナ御話ガアツタガ、日本
ハマダ世界ニ對シテ金ヲ引受ケ、或ハ自國
デ生ズル金ヲ本ニシテ、世界中ニ向ッテ金ノ
賣買ヲスルヤウナ、自由ナ市場ガ我國ニア
ルト云フコトハ——サウ云フ位置ニナレバ
結構ダガ、マダ日本デサウ云フコトヲ聲明
シタツテ、誰モソシナコトヲ信ジャシナイ

第三ニハ、今度ノ金ノ買入ヲスル眞ノ目
的ハ奈邊ニアルカト云フヤウナ、御尋ラシ
カッタ、是ハ即チ金本位ニ復歸スルト云フ
コトヲ、目的トシテ居ルノデア
ルカト云フ
御尋デア
ル、是ハ理想トシテハ、早ク世界中
皆金本位ニ復歸シテ、爲替相場ガ安定シテ、
サウシテ五ニ此貿易、有無相通ズル途ノ自
由ニ開ケルコトヲ望ムト云フコトハ、我國
ノ從來執ッテ來タ所ノ政策ノ方針デア
ル、早
ク世界ガサウナツテ呉レ、バ宜イト思フガ、

自ラ指導者トナツテ之ヲ導ク位置ニハ、日本
ハマダ立ッテ居ラヌノデア
ル、早ク世界中ガ
サウ云フコトニナツテ呉レ、バ宜イト云フ
コトハ希望シテ居ル、故ニ金本位ノ復歸ト
云フコトハ、理想トシテハ希望シテ居ルノ
デアリマス、所ガソレニ付テ此法案ノ中ニ、
政府ハ必要ナ時ニハ、日本銀行ヲシテ買ハ
シメタ所ノ金ヲ、又元値デ買戻スト云フコ
トガアル、ソレハ即チ我國ノ爲替相場ノ暴
落ヲ防グ爲ニ、サウ云フコトヲスルノデア
ラウ、斯ウ考ヘテ、ソレハマア宜シクナイ
ト云フ意味ノ御尋デア
ル、是ハ今我國トシ
テハ、爲替相場ガ下ルカラ、之ヲ下ラヌヤ
ウニ喰止メル、或ハ高過ギルカラ之ヲ下ゲ
ナケレバナラスト云フ所作ヲ取ル方法ハ、
殆ド無イノデア
リマス、唯併シ此爲替相場
ガ、昨年アタリハ下リ出シテ來ルト云フト、
或ハ何處マデ下ルカモ知レヌト云フヤウ
ナ、恐怖ノ念ガ財界ニ生ズル、不安ノ念ヲ
生ズル、餘リ急激ニ下落シテモ困ルノデア
ル、其當時幾ラカ政府ガ爲替ヲ經テ公債ノ利
拂等——海外ノ支拂ヲ爲替ニ依ツテスルコ
トヲセズシテ、買入レタ金ヲ輸出シタト云
フコトハ、急激ニ爲替相場ノ下落スルト云
フ其勢ヲ、幾ラカ挫イタツケノ利益ハアル
ノデア
リマス、併ナガラ今日日本銀行ヲシ
テ金ヲ買ハシムルト雖モ、爲替相場ノ騰落
ヲ調節スル爲ニ、此金ヲ用ヒルト云フコト
ハ、今ノ所デハ考ヘテ居ラナイ、唯爲替相
場ノ上ニ於テ一番注意シナケレバナラスコ
トハ、貿易ノ輸出入ノ關係、貿易以外ニ海
外カラ受取ルモノ、又海外ニ支拂フモノ、
此關係ガ一番大切ナンデア
ル、若シ我國ガ
輸出スルモノヨリハ——輸出品ノ代金ヨリ
ハ、餘計ナ輸入品ヲ取入レルト云フコトニ

ナレバ、勢ヒ我國ノ爲替相場ハ下落スル、
ノミナラス何トシテモ之ヲ支拂ハナケレバ
ナラス、支拂フノニハ、外國ニソレダケノ
品物ヲ賣ツテ支拂ヘバ宜イケレドモ、御承知
ノ通りニ、中々他所ノ國ハ皆自給主義ヲ執ッ
テ居ル今日デア
リマス、如何ニ我國ノ
品物ガ良ク出來テモ、値段ガ安クテモ、自
由ニ彼等ノ市場ニソレヲ持込ムコトノ出來
ナイト云フヤウナ情勢デア
ルコトハ、申ス
迄モナイノデア
リマス、シテ見レバ常ニ此
貿易及ビ貿易以外ノ海外トノ取引上ニ於
テ、成ベク均衡ヲ保ツヤウニ注意ヲシナケ
レバナラス、若シ貿易上ニ於テ、ドウシ
テモ輸出ヨリモ輸入ガ超過スル、而シテ
其勢ガ中々已マナイ、或ハ今足りナイ所
ノ我ガ金貨マデモ持出シテ決濟ヲシナケ
レバナラス、或ハ又非常ナ高利ナ外債
デモ更ニ借りテ、決濟デモシナケレバナ
ラスト云フヤウナ破目ニナルト云フコト
ハ、何トシテモ是ハ防ガナケレバナラ
ス、其場合ニ於テハ、今日迄ハ爲替管理法
ニ依ツテ、多少貿易ノ制限モ出來ルト云
フコトハ、尙ホソレデハ十分デナイカ
ラシテ、外國ノ變化ニ應ズル爲ニ、適當ナ
處置ヲ取ル爲ニ、今日此法ヲ立デ、今考究
ヲ致シテ居ル譯デア
リマス、ソレ故ニ現在
ノ所デハ、正貨ノ移動ニ依ツテ國際ノ收支ノ
權衡ヲ維持スルト云フコトハ、出來ナイ狀
態ニア
ルノデア
ル、買フモノヲ控ヘルカ、何
トシテモ餘計賣ルコトニ努メルカ、品物ニ
依ツテ調節スルヨリ外ニ途ハナイノデア
リ
マス

ソレカラ爲替平衡資金ヲ設置スル考ガア
ルカト云フ御尋デア
リマス、是ハ若シ他日
平價ノ切下デモシタナラバ、即チソレデ金

本位ニ復歸スルト云フコトニナル、金本位ニ復歸セズニ、唯徒ニ平價ヲ切下ゲタツテ意味ハナサヌノデアル、平價ノ切下ラスルト云フコトハ、之ニ由ツテ金本位ニ復歸シテ、自由ニ金ノ出入ヲ許スト云フコトニナツテ、初メテ其效果ガアルノデアル、其甲斐ガアルノデアル、而シテ其場合ニ於テ矢張貿易ニ負ケル、或ハ貿易以外ノ收支ノ計算ニ於テ、我ニ不利ナル場合ニ於テ、一時ニ爲替相場ガ下ル、或ハ其國ノ金貨ノ價ガ下ルト云フ場合ニ、之ヲ防グガ爲ニ平衡資金ト云フモノヲ使用スルノデアリマス、マダサウ云フ世界ノ形勢デアル時ニ於テ、我國ハ金本位ニ復歸スル、平價ノ切下ラスルト云フコトヲ斷行スル時期デハナイト思フ、サウ云フ位置ニ我國ハ進ンデ居ラヌノデア

ル、各國共ニ國際間決済ノ通貨ガ一定シ、爲替相場モ安定シテ、サウシテ貿易モ稍、自由ニナルト云フ形勢ガ其處ニ現ハレタ時、初メテ我國ハ進ンデ其仲間入りヲスルコトガ出來ルノデア

ル、ソレカラ第五ニハ、民間ニ保有シテ居ル金ヲ、政府ニ於テ之ヲ引上ゲル考ガアルカ、當ニ民間バカリデハナシ、臺灣銀行或ハ朝鮮銀行ニ於テ、準備トシテ持ッテ居ル所ノ此金貨ヲ政府ハ引上ゲル、サウ云フ考ガアルカト云フコトデアル、臺灣銀行、朝鮮銀行ノ金貨準備ト云フモノハ、金貨其モノニ非ズシテ、日本銀行ノ兌換券ガ其準備ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ民間保有ノ金ヲ引上ゲルト云フヤウナ考ハ、今日私ハ有ッテ居リマセヌ、若シ民間ニシテ、只今仰セラレタ通り、澤山ニ金デモ仕舞ヒ込ンデ居ッテ、輸出ハ出來ナイノデスカラシテ、運用ノ仕方ガナイカラ、金ノ棒ナリ金塊ヲ

持ッテ居ル人ハ、唯土藏ニデモ仕舞ッテ置クヨリ仕方ガナイ、幸ヒサウ云フモノガ澤山アリマスルナラバ、是ハ今日之ヲ引上ゲル時期デハナカラウ、國家一朝事デモアツタ場合ニハ、ソレハ引上ゲルコトハ宜シウゴザイマセウ

儲テ今回海外へ、從來ノ通り買入レタ金ヲ輸出スルコトヲセズニ、國內ニ保有スルト云フコトニナツタ以上ハ、何カ通貨政策ニ付テ明確ナ政策ガアルノカト云フ御尋デアリマスルガ、今般此金ヲ內國ニ保有スルコトニナツタト云フコトニ付テ、差當リ是ガ爲ニ通貨ノ上ニ付テ、ドウ云フ政策ト云フコトハナイノデス、通貨ノ數量ニ付テ、サウ云フ御考ガアルノデアリマセウガ、是ハ質疑者モ洵ニ穩健ナ御考デ、經濟界ノ狀態ニ適當シタ通貨ノ分量ヲ維持スルコトガ、必要ダト云フ意味ノヤウニ聞エマシタガ、全ク其通りデ、今日迄政府ノ執ッテ居ル所ノ政策ハ、初カラ申ス通り、商工業ノ取引ニ於テ必要ナ通貨ハ供給スル、或ハ投機ニ走ッタリ、不必要ナ通貨ヲ世間ニハ出サナイ積リデア

ハ、豫テ屢、申ス通り、國民ノ勞務ノ值ガ高マツテ行クノデアリマス
又其次ニ平價ノ切下ラ將來ニ於テ豫想シテ居ル以上ハ、其程度ト時期ハドウデアアルカト云フ御尋デア

アル、是ハ御尋ナサツタ小笠原君モ、多分明ニハ答辯出來ニクカラウト云フ御推察ノ通り、其時期程度ト云フコトハ、今茲ニ明言スル限リデハナカラウ、又サウ云フコトハ言ヘナシ、今ハ言ヘル譯ノモノデナシ、ソレ故ニ小笠原君自身、今時期デハナカラウ、今後ヤルニシテ見タ所ガ、慌テ、サウ云フコトヲスベキモノデナイト言ハレル、洵ニ其通りデ私モサウ考ヘテ居ル
又第七ニハ、國內ニ金ヲ保有スル、ソレガ爲ニハ外國カラデモ金ヲ買ウニ付テ、積極的ニドウシテ金ノ保有高ヲ殖スカト云フ御尋デア

アル、其御心配ノ、國家有事ノ時ニ於テ、イマ日本銀行ガ所有シテ居ルヤウナ金ノ數量デハ、如何ニモ憂慮ニ堪ヘヌト云フコトハ、成程其通り御考ニナルノモ無理ハナイ、國家有事ノ時ニ、僅ニ四億足ラズノ金保有シカ我國ニナイト云フコトニナレバ洵ニ心細イ、併シ能ク考ヘテ見マスレバ、今日國家有事ト云フコトハ、何レ外國トノ戰爭ト云フコトヲ想像サレノデアラウ、今日世界ノ情勢ハドウデアアルカ、萬一サウ云フコトデモアレバ、果シテ金ガアツタカ

ラト云ツテ軍需品ガ自由ニ買ヘルカ、恐ラクムヅカシカラウ、況ヤ今日ハ吾々ノ考デハ、出來ルダケ國家有事ト云フ所謂戰爭等ハ、外交ノ工作ニ依ツテ避ケネバナラス
ソレカラ第八ニハ獨リ金ノミナラズ、銀ニ付テノ考ハドウダト云フ、是ハ先程初メニ申上ゲタ通り「ルーズヴェルト」大統領ノ銀ニ對スル關係ハ、是ハ亞米利加ノ特殊ノ國情、今ノ民主黨ノ大關係ノアル銀產地ノ議員ノ請求其產地ノ人々ノ請求ガ餘程強イノデアツテ、是ハ捨テ、置ケナイノデア

○小笠原三九郎君 最モ簡單デアリマスカラ、當席ヨリ御許可ヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○小笠原三九郎君 只今ノ大藏大臣ノ御懇切ナル答辯ニ、大體ニ於テ満足致シマス、尙ホ足ラザル所ハ、委員會等ニ於テ更ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 矢野庄太郎君

(矢野庄太郎君登壇)

○矢野庄太郎君 此法律案ニ付キマシテハ、今小笠原君カラ申述ベラレタルヤウニ大正七年以來、政友會ニ於テハ私ノ平素尊敬ヲ致シテ居リマスル大口喜六先生カラ、又我が民政黨ニ於テハ、川崎議員及ビ小川博士等ニ依ッテ、屢、主張セラレタ所デアリマス、而シテ後レナガラニモ茲ニ提案ヲ見タト云フコトハ、國家ノ爲ニ、通貨政策ノ爲ニ、大ニ慶ブベキ事ト存ジマスルガ、大口先生ニ於テハ、日本ノ平價ヲドノ邊ニ保ツカ、即チ爲替ノ安定ヲ圖ル爲ニ、此法律ヲ必要トスルト論ゼラレタノデアリマスルガ、我ガ民政黨ニ於テハ、金本位ノ復歸ヲ希望スル爲ニ、此法律ヲ要望シテ居ッタノデアリマス、今大藏大臣ノ御説明ニ依リマスト、金本位ノ復歸ヲ希望スル爲ノ前提トシテノ法律案デアリヤウニ承リマシテ、爲替平衡資金トシテ、之ヲ利用スルノデハナイヤウニ伺ッタノデアリマスルガ、果シテサウデアリマセウカ、ドウデセウカ、此點ヲハッキリ御伺シテ置キタイノデアリマス(拍手)

小笠原君ノ廣汎ニ互ル御質問ニ對シテ、大藏大臣ガ何時ニナイ詳細ナ御答辯ガアリマシタノデ、私ハ極メテ簡單ニ二三ノ點ニ付テ更ニ質問シテ見タイノデアリマス

其第一點ハ、世間デ傳フル所ニ依リマス、此法律ノ實施期間ハ、施行期日デハナイ、金ノ買上ヲスル期間ハ一年乃至二年デアッテ、三年モ五年モ金ノ買上ヲ續ケルモノデハナイト言ハレテ居ルノデアリマス、果シテ一年乃至二年ノ後ニ於テ、此法律ノ實效ハ消滅スルト云フ期待ノ下ニ、此法律ヲ作ラレノデアアルカドウカ、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、一年又ハ二年ノ後ニ、金本位ノ復歸ヲ期待シテ居ルノデアアルカドウカト云フコトデアリマス、今大藏大臣ノ御説明ニ依リマスト、金本位ノ復歸ハ期待シテ居ルガ、其時期ナドハ分ラナイト言ハレテ居ルノデアリマスガ、私ハ思フニ一年乃至二年ノ後ニハ、斷ジテ金本位ノ復歸ハ再建ハ出來ナイト信ズルノデアリマスガ、大藏大臣ハソレモ分ラナイト言ハル、ノデアアルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、最近御承知ノ通りニ、米國ガ四割ノ平價ヲ切下ゲタ、是ハ世間ニ平價ノ切下ト言ハレテ居ルノデアリマス、私ハ之ヲ平價ノ切下トハ言ヒタクナイ、大規模ニ金ノ強制買上ヲヤッタノダト、斯ウ云フ風ニ解釋致シテ居ルノデアリマスルガ、亞米利加ガ平價ノ切下ヲヤッタノデ、世間デハ日本ノ大藏大臣モ之ニ眞似ラシテ、只今ノ御話ニ依リマスト、眞似ハシナイト云フノデ、私ハ安心致シテ居リマスルガ、世間デハ、ソレヲ眞似テ日本デモ平價ノ切下ヲシテ、サウシテ新平價ニ依ル所ノ金ノ解禁ガ、近ク行ハレルノデハナイカト云フコトヲ想像致シテ居ルノデアリマス、凡ソ金本位ハ前提トシテ今大藏大臣モ、又小笠原君モ説明セラレテ居ッタヤウニ、自由貿易デナケレバナラナイ、即チナ氣分ノ下ニ、有

無相通ズル國際分業ヲ確立スルト云フコトノ精神ガ行ハレナイ以上ハ、金本位ト云フモノハ再建スルコトハ出來ナイ、確立スルコトハ出來ナイモノデアルト私ハ信ジテ居リマス、而シテ只今ノ國際情勢カラ見ルナラバ、或ハ米國デハ關稅獨裁權ヲ大統領ニ與ヘルト言フシ、又各國ハ關稅障壁ヲ彌ガ上ニモ築造致シテ居ル、此國際情勢カラ考ヘルナラバ、即チナ氣分ノ裡ニ、有無相通ズルト云フヤウナ自由貿易ハ、行ハレル氣遣ヒハナイ、然ラバ金本位ハ一年又ハ二年ノ後ニハ絕對ニ再建ハ出來ヌト、私ハ固ク信ジテ居ル一人デアリマス、是ハ民政黨ノ意見デハナイ、私個人ノ意見トシテ固ク信ジテ居ルノデアリマスガ、ソレモ大藏大臣ハ分ラナイト言ハレルノデアアラウカドウカ、ソレハハッキリト伺ッテ置キタイノデアリマス

次ニ第二點トシテ伺ッテ置キタイコトハ、先日私共同僚ノ川崎委員カラ、豫算委員會ニ於テ大藏大臣ニ御尋ラシタ、金ノ買上法ハ地金ニモ及ブカ、産金獎勵ト云フ意味デナクシテ地金ニモ及ブカドウカ、又外國ノ金ヲ買上ゲルノデアアルカドウカト云フコトヲ尋ネタノデアリマスルガ、其時ノ大藏大臣ノ御答辯デハ、産金ダケデアアルヤウニ私ハ承知致シタノデアリマスルガ、果シテ左様ナ意味ニ於テ、此法案ヲ提出セラレデ居ルノデアアルカドウカ、ソレハハッキリト更ニ御伺致シテ置キタイト思ヒマス

次ニ第三點ハ、今此法案ニ依ッテ金ノ買上ヲスル價格デアリマス、ソレニ付テ大藏大臣ハ、磅ノ爲替ヲ標準ニシテ、此買上價格ヲ當分決メルンダト云フコトヲ言ハレテ居リマス、昨日ノ夕刊ニ依リマスト、倫敦ノ銀塊相場ハ六磅十七志餘リデアリマスガ、是ハ一圓ガ一志二片ト云フ爲替デ換算スルト云フト、約ソ金二「オンス」ハ八八分四分デアリマスカ、ソレハ百十六圓餘リニナリマシテ、一匁十四圓見當ニナルノデアリマスガ、左様ナ値段ヲ標準トシテ、少クトモ十二圓位テ御買上ニナル積リデアリマスカドウデスカ、恐ラク日本産業デアルトカ、三菱鑛業デアルトカ云フ日本ノ産金業者ハ、此買上價格ガドノ邊ニナルデアアラウカト云フコトハ、非常ニ注目ヲ致シテ居ルノデアリマス、此點ハハッキリト伺ッテ置キタイノデアリマス、斯様ナコトハ、此席上デハ言明ノ限リデハナイト言ハル、ダラウト私ハ想像致シマスガ、ソコデ私ガ今一ツ想像ヲ加ヘテ置キタイ、ソレハ此政府ノ御提出ニナッテ居ル所ノ産金買上數量ノ統計ヲ見マスト、昭和七年ニ於テ九千八百匁バカリ買入レテ、昭和八年ニ於テ五千三百匁買入レテ居リマス、此二箇年ノ買入ガ、丁度一万五千匁餘リニナッテ居ルノデアリマスガ、此法律案ニ依リマスト、一億圓ノ損失ヲ限度トシテ金ノ買入ヲスルト言ハレテ居リマスカ、假ニ一匁十二圓買上ゲルト云フト、一匁買上ゲル毎ニ七圓宛損失ガ出來ルノデアリマス、此損失ヲ計上シテ、一億圓ノ損失ヲ被ルマデ、ドレダケ金ガ買上ゲラレルカト計算致シマスト、ソレハ丁度一万四千三百匁ニナルノデアリマス、サウスルト云フト、此法律案デハ一匁十二圓デ一万四千匁ダケ買上ゲラレルト云フ計算ニナルコトニナルノデアリマス、サウシテ其期間ハ、前例ニ依ルト云フト、二年デアリマスカ、一匁十二圓買上ゲルト云フコトニスルト、一年半位買上ゲラレルト云フコトニナルカト思

ヒマス、私ガ想像ヲ加ヘテ、大藏大臣ニ買上ノ價格ハ一匁十二圓デアルカドウカト御尋スルガ、私ノ想像ノ根據ハドウデスカ、一匁十二圓デ買フト云フヤウナコトハ、明言スルノ限リデハナイト言ハレルノデアリマセウガ、私ノ想像ノ根據ハ、此材料ハ正シイモノデアルト御考下サルカドウカ、ソレヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、私ノ質問ハ此三點デアリマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 矢野君ノ御質疑ハ、初メノ前置キハ、今度買上ゲル金ト云フモノハ、爲替資金ニ使用スルノデアアルカドウカ、明答ヲ聽キタイト云フコトデアリマス、是ハ國際關係、收支ノ關係ニ於テ、金ノ輸出ヲ必要トシナイヤウニ常ニ努メテ居ル、併ナガラソレニモ拘ラズ、外國カラ借金ヲスルカ、若クハ金ノ輸出ニ依ッテ其「バランス」ノ始末ヲ付ケネバナラスト云フヤウナ時ニハ、是ハ爲替資金ニ使用スルト云フコトニナルデアリマセウ、ソレカラソレニ引續イテ第一ノ御尋ハ、法律實施ノ年限、是ハ一億ト云フ損失高ガ決ッテ居ルノダカラ、一年カ一年半デ此法律ト云フモノガ働ラ止メルト云フコトデアルノカ、所ガ此一年ヤ一年半デハ、決シテ金本位ニ復歸スル時期ハ來ナイト自分ハ確信シテ居ル、絶對ニサウ云フコトハ出來ナイ、マダ一年ヤ二年デハ、金本位ニ復歸スルナド、云フコトハ思ヒモ寄ラスコトダト云フ御考、ソレモ一應御尤デアアル、併シ此法律ハ何年ト云フ決リハナイ、併ナガラ其法律ノ中ニ、今申ス通り一億圓ノ程度ニ於テ損失ヲスルノデスカラ、自ラ其金高ニ於テハ制限ガアル、之ヲ從來ノ例ニ依ッテ見マスレバ、矢

張一年半位、ソレデ運用ガ出來テ行クコトニナル、其時ノ情勢ニ依ッテ、尙ホ少シモ今日ト變ラナイデ續ケネバナラスト言ヘバ、更ニ其額ヲ殖シテ行カネバナラスト、法律ニハ年限ノ制限ハナイノデアリマス

第二ハ、外國ノ產金ヲ買フカ買ハヌカト云フコトデアリマスガ、外國ノ產金ハ買ヒマセヌ、外國ノ產金ヲ買フト云フコトハ、買ハナクトモ、若シ我國ガ幸ニシテ輸出超過、又貿易以外ノ取引ニ於テモ、我國ハ貸シテ居ル、貸ノ立場ニ居ル、サウスレバ彼等ガ決済ヲスルノニハ、向フカラ金ヲ持ッテ來ナケレバナラストヤウニナル、其時ニハ否應ナシニ我國ニ外國ノ金ガ入ッテ來マス、是ハ防グコトハ出來ナイ、進シテ外國ノ金ヲ買フト云フコトハ、貿易金ヲ以テ行ッテ買フヨリ外仕方ガナイ、或ハ外國デ借金シテ買フカト云フト、サウ云フ考モナイ、ソレカラ一匁十二圓デ買フカドウカト云フコト、是ハ先ヅ倫敦ノ金ノ相場ノ近頃ノ日々ノ變動ヲ御覽ナサイ、何ニ依ッテ動クカ、是ハ近頃金ノ相場ガ、倫敦市場ニ於テ非常ニ動キ出シタノハ、亞米利加ノ作用デアアル、ヤッテ他所ノ國ノ金ヲ、金ヲ出シテ買ッテ行クカ、ソレハ分ラヌ、ソレガ爲ニ變動ガ激シイ、此金ノ價ノ變動ガ金ノ市場ニ於テ激シイ時ニ、ドウモ買入相場ヲ時々改メテ行ク譯ニ行カナイ、市場ニ於テ金ノ價ガ稍、安定シタ時ニ、初メテ買相場ヲ此處デ設定スルト云フコトガ穩當デアラウ、正當デアラウト考ヘ

ル、十二圓デ買フト云フ理想ガ正シイカ正シクナイカト云フコトニ付テハ、私ハ御答ヘ申兼ネル、只今申シタヤウナ關係デアリマス(拍手)

○矢野庄太郎君 私人質問ハ是デ打切りマス

○議長(秋田清君) 野中徹也君

(野中徹也君登壇)

○野中徹也君 私人本法律案提出ノ理由ニ關シマシテ、極メテ簡單ニ御質問致シタイト考ヘマス、而モ質問ノ内容ハ、對內關係ニ對スル問題ハ一切省略シマス、如何ナル關係ガ、如何ナル影響ガ、此法律案ガ日本ノ經濟界ニ及ボスカト云フ問題ニ付キマシテハ省略シマス、唯私ハ本案提出ノ理由ニ關シマシテ、對外的方面カラ政府ノ所見ヲ伺ヒタイト考ヘマス、此本案提出ノ理由ハ、政府ノ説明ニ依リマスレバ、金ノ保有高ノ増加デアリマス、此金ノ保有高ノ増加ト云フモノヲ、對外的關係カラ見ル場合ニ於キマシテハ、三ツノ政策ト云フモノガ、ソレニ關聯致シテ居ルノデアリマス、即チ私共ハ此場合ニ於キマシテ、此三ツノ政策ノドレガ、眞ニ政府ノ本案提出ノ理由デアルカ、此問題ニ付テ御質問致シタイノデアリマス、即チ一ツハ、本案提出ノ理由ハ、金ノ保有高増加ニ依ッテ、將來ニ於ケル所ノ金輸出解禁對策デアルカドウカ、今日佛蘭西ヲ中心ト致シマシタ大陸「ブロック」ノミガ金解禁ヲ致シテ居リマスルガ、其他ノ諸國ハ、全部金輸出禁止ノ狀態デアリマス、併ナガラ爲替ノ安定ヲ希ヒ、又經濟界ノ變化ニ伴ヒマシテ、將來ニ於キマシテハ、昨年度ニ於キマシテ失敗致シマシタガ、世界經濟會議ト云フヤウナモノガ開カレマシテ、其會議ノ内容ト致シマシテ、必ズ此問題ガ論ゼラレルデアラウト、私共ハ考ヘマス、シテ見ルナラバ、政府ハ其際ニ此經濟會議ニ參加致シマシテ、所謂金輸出解禁ノ

問題ニ對シテ同意ヲ與ヘル、言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、世界ガサウ云フ風ナ情勢ニナッタ場合ニ、金輸出解禁ヲ行フノデアアルカドウカ、私共ガ考ヘマスルノニ、ソレハ金ノ保有高ト云フモノニ對シマシテ、金解禁後ニ於キマシテ、日本ノ貿易狀態ガ中心ニナッテ、爲替相場ト云フモノガ維持サレルモノデアリマス、是ハ政府ノ御話ノ通りデアリマス、ソレデアリマスルカラ、私共ハ金解禁後ニ於キマスル爲替相場ノ安定ヲ期スルノデアアルナラバ、ソレヨリモ先決問題トシテ、貿易或ハ貿易外ノ收入支出ノ平均ヲ來スベキ對策ヲ講ズルノガ、先決問題デアリナカト思ヒマス、現ニ大藏大臣モ一部分之ヲ御諒承ニナリマシテ、政府ニ於キマシテハ、之ニ關シテ考究中デアルト云フ御意見デアリマス、シテ見ルナラバ考究中デアリマスル所ノ御意見ハ、ドウ云フ風ナ對策デゴサイマスルカ、即チ私共ガ嘗テ要求致シマシタヤウナ、貿易管理ト云フ強イ意味ヲ含ンデ居ル所ノ政策デアリマスルカドウカ、此問題ヲ先ヅ御伺致シテ置キマス

次ニ私ハ此金ノ増加ト云フモノハ、否今日日本銀行金買入法ト云フモノハ、昨年政府ガ提出致シマシタ爲替管理法ノ補強政策デアアルカドウカ、今日ノ金ハ此爲替管理法ニ依リマシテ、爲替管理ノ取締ニ依リマシテ、全然輸出ガ禁止セラレテ居ル狀態デアリマス、併ナガラ此爲替管理法ニ於テ、金ノ輸出ガ嚴禁セラレテ居ルニ拘ラズ、日本ノ金ガ外國ニ出テ居リマスルコトハ、即チ幾多ノ犯罪ガ税關ニ於テ發見サレルコトニ依リテ明カデアリマス、思フニ此金ノ密輸出ト云フモノハ、日本銀行ノ買入價格ト、海外ニ於ケル所ノ金ノ買入價格トノ相違ニ

依ッテ生ズルノデハナカラウカト思フ、ソレガ爲ニ斯様ナ密輸出ガ行ハレルガ爲ニ、政府ハ此場合金ノ買入價格ヲ幾分昂騰セシメテ、海外市場ト平均セシメ、由ッテ金ノ密輸出ヲ防止セシメントスル意思デハナイノデアアルカ、果シテ然リトスラバ、今日ニ於キマスル所ノ爲替管理法ハ、其内容的ニ於テ、缺陷ヲ暴露シタノデハナカラウカト私共ハ考ヘル、之ニ對スル所ノ政府ノ所見ヲ求メルノデアリマス

第三ノ質問ト致シマシテハ、此日本銀行金買入法ト云フモノハ、三十五年、三十六年ノ非常時局對外經濟政策ト云フモノガ含マレテ居ルノデアリマスカドウカ、思フニ一朝非常時ニ際會シタ場合ニ於テ、爲替ヲ以テ外國カラ所謂軍需品ノ購買ハ中々困難デアリマス、ソレデアリマスカラ、總テノ諸國ト云フモノハ、軍需品ノ購買ニ當リマシテ、金ヲ現送致シマシタコトハ、過去ノ示シテ居ル所ノ事實デアリマス、又更ニサウ云フ場合ヲ豫想致シマシテ、金ヲ保有致シマスルコトハ、例ヘバ佛蘭西ノ賠償金ヲ獨逸ガ保有シタト云フヤウナ、幾多ノ前例ヲ私共ハ見テ居ルノデアリマス、故ニ私ハ政府ハ此場合ニ於キマスル此金ノ買入ト云フモノハ、將來ニ於ケル斯様ナ場合、即チ三十五年、三十六年ニ於キマスル對外非常時ノ經濟政策ヲ含シデ居ルモノデアアルカドウカ、若シ果シテ然リトスラバ、私共ハ更ニ政府ニ御伺シタイ、此軍需品ト云フモノハ、其非常時ニ際シマシテハ、中々買ヒ得ルコトハ出來マセヌ、隨テ平時カラ之ニ對スル準備ヲ致シテ置カナケレバナリマセヌ、政府ハ帝國議會ニ於キマシテ石油

法ノ提案ヲ見マシタ、或ハ製鐵所法案ノ完結ヲ見マシタ、併ナガラ思フニ軍需品ト云フモノハ、唯單ニ鐵ヤ石油ヤ石炭バカリデハアリマセヌ、其他ニ幾多ノ軍需品ト云フモノハ、或ハ金屬ノ關係ニ於キマシテモ、アリ得ルデアラウト思フ、今日政府ハ斯ウ云フヤウナ軍事ニ必要ナル所ノ、例ヘバ金屬ニ關シマシテモ、殆ド何等ノ補助政策モ講ズルコトガナケレバ、或ハソレニ對スル準備ノ策モ講ジテナイコトハ、私ハ茲ニ商工省內ニ於テ調査シテアリマスル例ヘバ輕金屬、サウ云フ風ナ材料ヲ舉ゲマセウ、餘リ他ノ物ヲ舉ゲマスルコトハ、却テ御迷惑デアラウト存ジマスカラ、免ニ角其中ノ二三ノ物ヲ申上ゲテ見マセウ、例ヘバ「ニッケル」ト云フヤウナモノハ、日本デハ生産致シマセヌ、サウシテ輸入量ト云フモノハ、五千四百三十六噸ダケ輸入シテ居リマス、斯ウ云フヤウナモノモ、一朝非常時ニ際シタナラバ如何ニ之ヲ用意スルカ、又滿庵ノ如キハ、日本ニ於ケル生産量ハ二萬六千二百四十二噸デアリマシテ、外國カラ入ッテ參リマスルノガ七萬二千七百二十二噸デアリマス、斯様ナ工合ニ國內生産ヨリモ外國カラ輸入サレル所ノ量ト云フモノハ、三倍ニモナッテ居リマス、或ハ水銀ノヤウナモノモ、日本ニ於テ生産セラレルモノハ僅ニ二千三百八十噸デアリマス、而モ外國カラ入ッテ居リマ

スモノハ三十四萬八百噸デアリマス、斯ウ云フヤウナ工合ニ、戰事ニ於テ必要ナル所ノ、多數ノ輕金屬ノヤウナモノデモ、今日政府ニ於キマシテハ、何等ノ對策ト云フモノハ講ゼラレテ居リマセヌ、恐ラク商工省ニ於キマシテハ、幾分之ヲ察知セラレマシテ、豫算ヲ大藏省ニ御求メニナツタカモ知

レマセヌガ、大藏省ハ之ニ對スル認識ガ不足シテ居リマスルガ爲ニ、何等ノ政策ラシイ政策ヲ執ラナイト云フコトハ、私ガハッキリト申上ゲテモ宜イコトデアリマスルガ、斯ウ云フ風ナ問題ニ對シマシテ、果シテ財務當局ハ如何ナル御考ヲ有ッテ居ルカ、此點ニ付キマシテ御伺致シテ見タイト思ヒマス

要スルニ前ニ申上ゲマシタ對外政策ニ關スル事柄ガ、此日本銀行金買入法ノ骨子デアルトスラバ、私ハ此法律ヲ以テノミニ於テ、其目的ヲ完成スルコトハ出來ナイト信ズル、要スルニ斯様ナ事柄ハ、中々重大ナ事柄デアリマシテ、總テ日本ノ國家ノ消長ニ關スル所ノモノハ、相倚リ相助ケ、相關係ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、一ツノ大キナ所ノ、聲ヘテ申シマスレバ、私共ノ主張致シテ居リマスル經濟參謀本部ノヤウナモノヲ作リマシテ、一面ニ於キマシテ金ノ問題ヲ統制シ、一面ニ於キマシテハ斯様ナ輕金屬ノ問題ヲ研究、或ハ石油、石炭、サウ云フヤウナ總テノ日本ノ産業ニ對シテ必要ナルモノヲ考究シ、確然タル所ノ成案ヲ求メルコトガ、適切ナルコトデハナカラウカト考ヘル、ソレデアリマスカラ、私ハ大藏大臣ニ、極メテ簡單ナ問題デアアリマスルガ、此日本銀行金買入法ガ、對外的ニ關スル所ノ影響ニ付キマシテ、政府ノ所信ヲ求メル次第デアリマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 野中君ニ御答シマスガ、是ハ第一ニハ、將來ニ於テ金解禁ノ準備トシテ金ノ保有高ヲ増スモノデアアルヤ、斯ウ云フ御尋デアアルノデスガ、固ヨリ先刻モ申通り、將來國際間ノ關係ト云フモノガ、今日ノ儘デサウ永續スベキモノデハナイ、ソレ故ニ何時カ經濟ノ常道ニ復歸シマセウ、即チ其時ニハ先刻モ申通り爲替相場モ安定シ、世界共通ノ通貨ト云フモノモ、金トカ或ハ銀トカ、或ハ金銀兩本位トカ云フコトニ定ッテ來マセウ、サウ云フ場合ニ於テ、何時デモ日本ハソレニ御附合ヲスル用意ガアルト云フ立場ニ、常ニ立ッテ居リタイノデアリマス、ソコデ野中君ノ御意見ハ、金ヲ他日解禁スル爲ノ準備トスルヨリハ、寧ロ貿易上ノ改善ヲスルコトガ大切デハナイカ、ソレダカラシテ、貿易ヲ管理スルコトヲ實行スル意思ガアルカト云フヤウナ意味デアアルヤウデアリマスガ、此法案ニハ其意味ハ含シデ居リマセヌガ、政府トシテハ今其事ヲ考ヘテ居ル、現行ノ爲替管理法ノミデハ十分ニ防衛ノ目的ヲ、達スルコトガ出來スト云フ憾ミガアリマスルカラ、將來各國ニ於テソレレ、我國ニ對シテ執ル所ノ經濟政策ニ對シテハ、十分ニ之ニ應ズル政策ヲ執リ得ルヤウナコトニ致シタイト考ヘテ、今其法案ヲ作りツ、アルノデ、不日協贊ヲ仰グコトニナルダラウト思ッテ居リマス

ソレカラ世界經濟會議ト云フモノガ再ビ起ルデアラウガ、其時ニ金ヲ輸出スルコトヲ再ビ許スト云フコトニ、同意ヲスルカシナイカト云フヤウナ御尋ノヤウニ承ツタ、次ニ起ル經濟會議ニ於テハ、ドウ云フコトガ決議トシテ得ラレルカ、何卒無駄ナ會議ニナラヌヤウニ、何カ實ヲ結ブコトヲ私ハ希望シテ居リマス、併シハ餘程ムヅカシイ事柄デアアル、豫テ他ノ機會ニ於テモ申述べタ通り、ドウシテモ先ヅ第一ニ亞米利加ノ戰債問題ト云フモノガ、何トカ關係各國ノ間ニ纏リガ付カスト云フト、到底世界共

通ノ通貨ヲ定メテ、爲替相場ヲ安定スルト云フコトハ出來ナカラウト思フ、斯ウ云フ大問題ガ前ニ横ハツテ居ル、併シモ何時迄モソレヲ解決セズニ置カレマイト思フノデアリマスガ、我國トシテハ一日モ早クサウ云フコトガ解決セラレテ、國際間ノ貿易ガ常態ニ復スルコトヲ希望シテ止マナイノデアリマス

モウ一ツ御尋ニナツタノハ、ドウモ金ノ輸出ヲ禁止テ居ルガ、密輸出ガアル、是ハ即チ爲替管理法ガ失敗ニ終ツタト云フコトヲ證明シテ居ルモノデアルト云フ御話デアリマスガ、密輸出トカ密輸入トカ云フコトハ、殘念ナ話デスガ、是ハ絕對ニ防ギ得ナイ、先ヅ今日ノ程度ニ於テハ、相當ニ其效果ヲ擧ゲテ居ルト思フ、ト云フノハ、從來我國ノ金ノ產出高ト云フモノハ、精々二千萬圓乃至二千五百萬圓デアラウト云フコトガ一般ノ調デアリマス、此金ヲ買入レルト云フコトニナツテカラハ、スト金ノ產額ガ殖エテ來テ居リマス、ソレノ總テガ輸出サレルト云フ譯デヤナイ、大部分ハ政府ニ買上ゲテ賣ヒニ來テ居ルノデアリマスルカラシテ、假令爲替管理法ヲ犯シテ密輸出スル者アリト雖モ、ソレガ全ク效果ガナイ、失敗ニ終ツタトハ私ハ認メナイ

ソレカラ最後ニ、千九百三十五年、六年ノ有事ノ時ニ於テ、萬一事ガ起ツタ場合ニ於テハ、何等其用意ガシテナイデヤナイカ、所謂輕金屬ノ問題「ニッケル」、滿鐵、水銀、サウ云フヤウナモノガ外國カラ今日澤山入ッテ居ル、一朝有事ツタ時分ニハ、サウ云フモノヲ外國カラ得ラレナクナル、サウシテ見レバ三十五年ノ非常時ニ對シテ、何等備ヘル所ガナイデヤナイカ、他省カラ求ムル

所ガアツテモ、大藏省ニ於テ豫算ヲ削ル、ソレガ爲ニサウ云フモノ、用意ガ出來ヌ、是ハドウモ少シ御推察ガ間違ッテ居ル、大藏省ハ一朝有事ノ時ニ、ドウ云フモノガ軍事上ニ要ルカト云フヤウナコトハ調ベテ居リマセヌ、是ハ其專門ガ皆アルガラウカラ、海陸軍ト云フ兩者ニ於テ、先ヅ今日ノ有様ニ於テハ、我國ハ有事ノ時ト雖モ、軍事上差支ナシト云フ信念ガアルカラ、アノ豫算デ納ツテ居ルノガラウト思フ、是ハ大藏省ヲ御責メニナルノハ少シ見當違ヒデアル(笑聲)ドウモチツト的ガ外レテ居マスナ(笑聲)是ハ若シ國家ノ爲ニ萬一ノ場合、三十五年ノ爲ニ甚ダ憂慮ニ堪ヘヌト云フ御考ガアリマスナラバ、他ノ機會ニ於テ其當局者ニ向ッテ直接御質問ニナルヤウニ願ヒタイ(拍手)

○野中徹也君 簡單デアリマスカラ、此處デ發言ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス

○野中徹也君 今私ノ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ガ爲替管理法ノ——全然失敗デハナイガ、缺陷ヲ御認めニナラシマシタコトハ、實ハ此前ノ爲替管理法ノ問題ノ場合ニ於キマシテ、私共ハ是ダケデハ不十分デアルト云フ點ヲ申上ゲタコトガ、今日初メテ現レテ、而モ當局ガ御認メニナツタト云フ點ヲ認メマシテ、國家ノ爲ニハ不幸デアリマスルガ、私共カラ見マスルナラバ、先見ノ誤ラザルコトヲ洵ニ——喜ブト云フノデアアリマセヌガ、認識ヲ致シテ居ル次第デアリマス

次ニ商工省ニ、例ヘバ輕金屬ノ問題ハ言ヘト言ヒマシタガ、併シハ商工省ノミノ單獨ノ責任デハナカラウト思フ、商工省ガ要求致シマシテモ、大藏省ガ之ヲ是認シナ

イナラバ、是ハ爲シ得ナイコトデハナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、或ハ其當時ノ商工省ノ當局ガ、十分大藏省ニ對シテ其意見ヲ主張シナカッタコトモ、或ハ其原因ヲ成スデアリマセウ、併ナガラウ云フモノハ、要スルニ非常時ノ軍需品ト致シマシテ必要ナ物デアリマスルカラ、特ニ將來ニ於キマシテハ御注意ヲ願ヒタイト考ヘマス、更ニ其他ノ問題ニ付キマシテハ、他日ノ機會ニ於キマシテ御質問致スコトニイタシマシテ、私ノ質問ハ是デ止メテ置キマス

○議長(秋田清君) 質疑ハ結局致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出、昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二及ビ日程第三ハ、便宜上一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二、政府提出、商標法中改正法律案、日程第三、政府提出、不正競争防止法案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——商工大臣松本丞治君

第二 商標法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 不正競争防止法案(政府提出) 第一讀會

商標法中改正法律案

商標法中左ノ通改正ス

第二條第一項第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二ノ二 工業所有權保護同盟條約國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章(國旗ヲ除ク)ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ノモノ

同條同項第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
三ノ二 工業所有權保護同盟條約國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章又ハ記號ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ニシテ同一又ハ類似ノ商品ニ使用スルモノ

第二十三條 但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ第二條第一項第一號乃至第四號第六號第七號第十一號、第十一條但書、第十五條第二項若ハ第二十四條ノ規定ニ依リ準用スル特許法第三十二條若ハ第三十三條ノ規定ニ違反ストノ理由ニ依ル場合又ハ惡意ヲ以テ登録ヲ受ケタル商標ノ登録ニ付第二條第一項第八號ノ規定ニ違反ストノ理由ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
商標又ハ商標權存續期間更新ノ登録ニシテ本法施行前爲サレタルモノノ無効ノ審判ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

不正競争防止法案

不正競争防止法

第一條 不正ノ競争ノ目的ヲ以テ左ノ各

號ノ一ニ該當スル行為ヲ爲シタル者ハ被害者ニ對シ損害賠償ノ責ニ任ズ

一 本法施行ノ地域内ニ於テ取引上廣ク認識セラルル他人ノ氏名、商號、商標、商品ノ容器包裝其ノ他他人ノ商品タルコトヲ示ス表示ト同一若ハ類似ノモノヲ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布シテ他人ノ商品ト混同ヲ生ゼシムル行為

二 假設若ハ借用ノ商號ニ附加シテ商品ニ虛偽ノ原產地ノ表示ヲ爲シ又ハ之ヲ表示シタル商品ヲ販賣若ハ擴布シテ原產地ノ誤認ヲ生ゼシムル行為

三 他人ノ商品ノ信用ヲ害スル虛偽ノ事實ヲ陳述シ又ハ之ヲ流布スル行為前項ノ行為ヲ爲シタル者ニ對シテハ裁判所ハ被害者ノ請求ニ因リ損害賠償ニ代ヘ又ハ損害賠償ト共ニ其ノ行為ノ差止ヲ命ズルコトヲ得

第一項第三號ノ行為ヲ爲シタル者ニ對シテハ裁判所ハ被害者ノ請求ニ因リ商品ノ信用ヲ回復スルニ必要ナル處置ヲモ命ズルコトヲ得

第二條 商品ノ普通名稱若ハ取引上普通ニ同種ノ商品ニ慣用セラルル地名其ノ他ノ表示ヲ使用スル行為又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スル行為ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セズ

第三條 外國人ニシテ本法施行ノ地域内ニ住所又ハ營業所ヲ有セザルモノハ條約又ハ之ニ準ズベキモノニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第一條ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第四條 外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト

同一又ハ類似ノモノハ其ノ國ノ當該官廳ノ許可ナクシテ之ヲ商標トシテ使用シ又ハ之ヲ商標トシテ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スルコトヲ得ズ

前項ノ紋章ヲ其ノ國ノ當該官廳ノ許可ナクシテ商品ノ原產地ノ誤認ヲ生ゼシムル方法ニ依リ取引上之ヲ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スルコトヲ得ズ

外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章又ハ記號ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ノモノハ其ノ國ノ當該官廳ノ許可ナクシテ之ヲ同一若ハ類似ノ商品ノ商標トシテ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布スルコトヲ得ズ

帝國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章又ハ官ノ監督用若ハ證明用ノ印章若ハ記號ノ使用ノ許可ヲ當該官廳ヨリ受ケタルトキハ外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章又ハ官ノ監督用若ハ證明用ノ印章若ハ記號ト同一又ハ類似ノモノナル場合ト雖モ前第三項ノ規定ヲ適用セズ

第五條 前條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 第一條第一項第一號第二號及第四條第一項乃至第三項ノ規定ハ特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ニ依リ權利ノ行使ト認メラルル行為ニハ之ヲ適用セズ

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(國務大臣松本恭次君登壇)
○國務大臣(松本恭次君) 商標法中改正法律案及ビ不正競争防止法案ノ提案理由ヲ、

一括シテ御説明申上ゲマス

我國産業ノ堅實ナル發達ヲ圖ルニハ、不正競争ヲ防止致シマシテ、誠實ナル當業者ノ利益ヲ保護シ、他方ニ於テハ消費者ニ不測ノ損害ヲ被ラシメザルヤウニ致シマスコトガ、洵ニ緊要ト認メラレル所デアリマス、

政府ニ於キマシテモ、夙ニ是ガ實情ノ調査ト法令ノ立案ノ準備ニ努メテ來タノデアリマス、然ルニ國際間ニ於キマシテハ、工業所有權保護同盟條約ガアリマシテ、我國ハ明治三十二年以來、本條約ニ加入致シテ居リマス、而シテ右條約ハ大正十四年ニ改正セラレマシテ、不正競争防止ニ關スル詳細ナル規定ヲ設ケ、特ニ主要ナル不正競争ヲ禁止スベキコト等ヲ規定致シタルデアリマス、此改正條約ニハ我國モ署名致シマシタガ、未ダ之ニ加入セズ今日ニ及ンダノデアリマス、併ナガラ近時當業者間ノ競争ハ、益々激甚トナリツ、アルノ實情ニ鑑ミマシテ、此際主要ナル不正競争ノ行為ヲ防止シ、被害者ニ對シテハ相當ノ救済ヲ爲ス爲メ法律ノ制定ヲ爲シ、且之ニ關聯シテ商標法ヲ改正致シマスコトハ、最モ緊要ト認メララル次第デアリマス

斯ノ如ク致シマシテ、進ンデ工業所有權保護同盟條約ニ加入スルコト、ナリマスレバ、一層海外ニ於ケル我が商品ノ聲價ヲ高メテ、我國貿易ノ發達ニ資スルコト尠カラザルモノアリト考フルノデアリマス、右ノ理由ニ依リマシテ、不正競争防止法案及ビ商標法中改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上、御協賛アラントヲ希ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 各案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 日程第二第三ノ兩案ヲ一括シテ、政府提出、製鐵所特別會計法廢止法律案委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四、軍用電氣通信法案ノ第一讀會ヲ開キマス——陸軍大臣林銑十郎君

第四 軍用電氣通信法案(政府提出、貴族院送付)

軍用電氣通信法案 第一讀會

第一條 本法ニ於テ軍用電氣通信トハ軍用ノ電信、電話、無線電信及無線電話並ニ高周波電流ヲ使用シ通報信號ヲ爲スモノヲ謂フ

第二條 軍用電氣通信ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ管理ス

第三條 軍用電氣通信ハ要塞、軍港其ノ他軍事上特ニ必要ナル場所ニ之ヲ施設ス

第四條 軍用電氣通信ハ私設ノ電氣通信ニ之ヲ連接スルコトヲ得

軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體ハ私設ノ電氣通信又ハ電氣事業ノ線路ノ電氣導體ノ支持物ニ之ヲ添架スルコトヲ得

第五條 軍用電氣通信ノ線路ノ建設、保守又ハ測量ノ爲ニ必要アルトキハ軍事官憲ハ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ニ測量標ヲ設置スルコトヲ得但シ日没ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ急迫ノ場合ニ非ザレバ

占有者ノ意ニ反シテ邸宅又ハ構内ニ立入ルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ依リ邸宅又ハ構内ニ立入ル場合ニハ占有者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

第六條 軍用電氣通信ノ線路ハ必要アルトキハ他人ノ土地又ハ建造物ニ之ヲ建設スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建造物ノ所有者其ノ他ノ權利者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地又ハ建造物ニ軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體ノ支持物ヲ建設シタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ土地又ハ建造物ノ使用料ヲ支拂フ

第七條 軍用電氣通信ノ線路ノ建設又ハ通信ニ障礙アル竹木其ノ他ノ植物ハ已ムヲ得ザルモノニ限り軍事官憲ハ其ノ伐除若ハ移植ヲ所有者其ノ他ノ權利者ニ對シ請求シ又ハ自ラ之ヲ伐除スルコトヲ得

第八條 左ニ掲グルモノハ政府之ヲ補償ス

一 第四條第二項ノ規定ニ依ル添架ノ爲電氣導體ノ支持物ニ現ニ生ジタル損害

二 第五條第一項ノ規定ニ依リ立入又ハ測量標設置ノ爲現ニ生ジタル損害

三 第六條第一項ノ規定ニ依リ線路建設ノ爲土地又ハ建造物ニ現ニ生ジタル損害

四 前條ノ規定ニ依リ伐除シタル植物ノ價額又ハ同條ノ規定ニ依リ植物ノ移植ノ費用

前項ノ規定ニ依ル補償金額ハ陸軍大臣

又ハ海軍大臣之ヲ決定ス

前項ノ規定ニ依ル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條 正當ノ事由ナクシテ第四條第一項ノ規定ニ依リ連接又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ添架ヲ拒ミタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 軍用電氣通信ニ依ル通信ノ秘密ヲ侵シ又ハ通信ノ秘密ヲ漏泄シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

軍用電氣通信ノ事務ニ從事シ又ハ從事シタル者其ノ職務ニ關シ知得タル通信ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ規定ハ刑法第二編第三章外患ニ關スル罪、陸軍刑法第二編第一章叛亂ノ罪及海軍刑法第二編第一章叛亂ノ罪ニ關スル規定並ニ軍機保護法ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第十一條 軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者軍用電氣通信ニ依ル電報ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、毀損、隱匿若ハ放棄シ又ハ受取人ニ非ザル者ニ交付シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條ニ該當スル場合ハ刑法ノ例ニ依ル

第十二條 軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ通信ノ取扱ヲ爲サズ又ハ遅延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者濫ニ通信ヲ爲シタルトキハ一年以

下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 軍用電氣通信ニ依ル通信ヲ妨害シ又ハ妨害スベキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 軍用電氣通信ノ線路ノ建設、保守、測量又ハ巡視ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體又ハ其ノ支持物ニ物品ヲ懸ケ若ハ擲チ、動物若ハ舟筏ヲ繋ギ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

軍用電氣通信ノ線路ノ測量標ヲ毀棄又ハ汚穢シタル者亦前項ニ同ジ

第十七條 陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ指定シタル軍用ノ海底電氣通信線路ノ區域内ニ於テ船舶ヲ繋留シ、漁業採藻ヲ爲シ若ハ土砂ヲ掘鑿シ又ハ軍用ノ海底電氣通信線路ノ號標ニ舟筏ヲ繋ギ若ハ其ノ號標ヲ毀棄シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

軍用ノ海底電氣通信線路ノ布設若ハ修理ノ爲其ノ位置ヲ示ス浮標又ハ其ノ布設若ハ修理ニ從事スル船舶ヨリ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ指定シタル距離以内ニ於テ前項ノ行爲ヲ爲シ又ハ航行シタル者亦前項ニ同ジ

第十八條 第十條、第十一條、第十三條乃至第十五條及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十九條 軍用電氣通信ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公衆通信ノ用ニ供スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

軍用電信法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ軍用電信法ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

(國務大臣林銑十郎君登壇)

○國務大臣(林銑十郎君) 軍用電氣通信法案ニ關シマシテ、若干ノ説明ヲ致シマス、現行ノ軍用電信法ハ明治二十七年ニ制定セラレタモノデアリマス、其後科學ノ進歩ニ伴ヒマシテ、電氣通信ハ技術上異常ナル發達ヲ遂ゲマシタコトハ、諸君御存ジノ通りデアリマス、隨テ同法ニ依リマシテハ、現時ニ於ケル軍ノ要求ヲ充足シ得ナイノデアリマス、且ツ其罰則ハ刑法ノ改正及ビ電信條例ノ廢止ノ結果、現行ノ刑罰法規ニ調和致シテ居リマセス、又其後制定セラレマシタ電信法及ビ無線電信法トノ比較上カラ見マシテモ、現行法ヲ整理スルノ必要アルコトヲ認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出、兵役法中改正法律案委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五及ビ第六ハ、同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長秋田清君 御異議ナシト認メマス、日程第五、政府提出、健康保險法中改正法律案、日程第六、政府提出、癩兵院法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長守屋榮夫君

第五 健康保險法中改正法律案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）
第六 癩兵院法中改正法律案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一 健康保險法中改正法律案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和九年三月六日

委員長 守屋 榮夫

衆議院議長秋田清殿

報告書

一 癩兵院法中改正法律案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和九年三月六日

委員長 守屋 榮夫

衆議院議長秋田清殿

（守屋榮夫君登壇）

○守屋榮夫君 只今議題ニナリマシタ健康保險法中改正法律案、及ビ癩兵院法中改正法律案ニ對シ、委員會ニ於ケル審議ノ經過及ビ結果ヲ、簡單ニ御報告申上ゲマス

第一ノ健康保險法中改正法律案ノ趣旨ト致シマスル所ハ、現在ノ健康保險法第十四條ニ依リマシテ、任意包括被保險者トナッテ

官報號外

昭和九年三月九日

衆議院議事速記第二十二號

健康保險法中改正法律案外一件 第一讀會ノ續

四六三

居リマスル者ノ中、常時五人以上ノ労働者ヲ使用シテ居リマスル、本法規定ノ特殊事業ニ該當スル者ニ限リマシテ、其労働者ヲ強制被保險者ト爲シ、傷病ノ場合ニ於ケル保護ヲ十分ナラシメヤウトスルニアルノデアリマス、健康保險法ハ一般大衆ノ貧困ヲ防止シ、其生活不安ヲ豫防スル上ニ付キマシテ、最も効果アル社會的施設デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、英、獨ノ如キハ、其國民ノ三分ノ一以上ノ者ガ、健康保險ノ惠澤ニ浴シテ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、我國ニ於キマシテハ、昭和二年本法實施以來、既ニ七箇年ノ星霜ヲ閱シテ居リマスルガ、其強制適用ハ工場法及ビ鑛業法ノ施行サレテ居ル範圍ニ限定サレマシテ、被保險者ノ總數、尙ホ未ダ二百萬ニ達シナイ實情デゴザイマス、隨テ健康保險ノ適用ヲ必要トシマスル方面ニ、未ダ普ク行渡シテ居ナイト云フ憾ミガアルノデアリマス、仍テ現行法ニ對シマシテ、此度ノ改正ヲ施シ、更ニ約二十九萬ノ被保險者ヲ増加スル程度ノ擴張ヲ爲サウト云フノデアリマス

併ナガラ元來健康保險法ハ頗ル難解ナ法律デアリマス、其趣旨ノ徹底ガ未ダ十分デナイノデアリマス、又其手續ガ頗ル煩雜デアルト云フヤウナ事カラ致シマシテ、現行法ノ適用ヲ受ケテ居リマスル大工場ヤ、事業場ニ於テストラ、醫療ノ給付、傷病其他ノ手當ノ交付ヲ受クルニ、不便ヲ感ズルト云フ非難ガアリマス、之ヲ設備人員ノ極メテ稀薄ナル小工場等ニ適用スルコトニナリマスレバ、其不便ハ一層甚シクナリマシテ、是ガ爲ニ事業主ヲシテ本法ノ適用ヲ回避セシメ、或ハ事業ヲ縮小シテ、從業員ヲ失業

サセルト云フヤウナ事態ヲ生ズルコトモ、保シ難イノデアリマス、又或ハ事業主ニ重キ負擔ヲ與フル結果、ソレ等ノ小工業ヲ萎縮セシメマシテ、延イテハ折角盛大ヲ致シツ、アリマス海外貿易ノ發展ヲ、阻害スルニ至リハシナイイカト云フヤウナ懸念モアルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、是等ノ諸點ニ付キマシテ、委員ハ勿論、委員外ノ諸君カラモ、熱心ナル質疑ガ試ミラレタノデアリマス、ソレニ對シテ政府當局ハ、健康保險法ニ對スル非難ハ、其施行ノ當初ニ於テハ、若干之ヲ耳ニシタコトガアルガ、今日ニ於テハ殆ド其聲ヲ聞カナイ、又健康保險法ノ趣旨ノ普及徹底ニ付テモ、手續ノ簡易化ニ付テモ、從來カラ政府ハ相當努力モシ改善モ加ヘテ居ルノデアリガ、本法ノ改正ニ付テハ、公布後一年ノ猶豫期間ヲ置イテ居ルカラシテ、其間十分趣旨ヲ徹底セシムルバカリデナク、手續ノ簡易化ニ付テモ履行スル積リデアアル、又五人以上ノ小工場ニ於ケル労働者ノ傷病ニ對シテ保護ヲ爲スト云フコトハ、是モ必要ヲ感ジテ居ルノデアツテ、此方面ニ於ケル健康保險法ノ適用コソハ、目下喫緊ノ要務ナリト信ズル次第デアアル、又其事業主及ビ労働者ノ保險料ノ負擔ト云フモノハ、決シテ重クハナイ、隨テ健康保險法ノ適用ハ、却テ是等ノ小工場ニ於ケル労働者ノ生活ヲ安定シ、其事業ノ繁榮ヲ來シテ、海外貿易ノ進展ニ付テモ、相當ナル好影響ヲ及ボスニ違ヒナイト云フコトヲ答辯サレマシタ

又健康保險法ハ、單ニ下級労働者ニ限ラズシテ、更ニ之ヲ農業労働者並ニ商業使用人ニモ、擴張スル必要ガアルト思フガ、政府ノ所見ハドウカ、尙ホ解船夫及ビ港灣労働者ニ對シテモ、本法適用ノ範圍ヲ擴張スル必要ガナイカト云フコトニ付テモ質問ガゴザイマシタガ、政府委員ハ是等ノ傷病ヲ保護スルト云フコトニ付テハ必要ヲ感ジテ居ルガ、是等ノ労働者ハ色々事情ヲ異ニスル點ガアルカラシテ、之ニ付テハ慎重考慮ヲ要スベキモノガアルト答辯セラレタノデアリマス

又健康保險法ガ改正サレルニ從ヒマシテ、患者本位ノ任意の醫藥分業ノ狀態ガ、此儘繼續サレルニ於キマシテハ、藥劑師側ハ今日ヨリモ更ニ不利ナ立場ニ立タザルヲ得ナイカラシテ、是ガ善後策ヲ講ズルノ必要ガアルト云フ見地カラ、委員側カラ各方面ニ互リマシテ、周密詳細ナル質問ガゴザイマシタ、サウシテ政府側カラモ、之ニ對シテ懇切ナル御答辯ガアッタノデアリマス、其詳細ハ委員會ノ速記録ヲ御覽ヲ願ヒタイト考ヘマス

斯クシテ質問ヲ打切りマシテ討論ニ入り、山本委員カラ本法ノ施行上、政府ニ對シテ熱心ナル希望ヲ附シマシテ、政府提出ノ原案ニ賛成スル旨ヲ述べラレマシタ、其希望條項ハ

一、手續ノ簡易化ヲ斷行スルコト
一、從業員十人未滿ノ事業ニ對シテハ事業主及ビ被保險者ノ負擔輕減ノ途ヲ考慮スルコト
一、被保險者ニ對スル醫藥給付ニ關シ其監督ヲ嚴ニスルコト
一、醫藥制度ノ改善ニ留意スルコト
一、本法ノ趣旨ノ普及徹底ニ努メ實施上遺憾ナキヲ期スルコト
ト云フモノデアリマシタ、之ニ對シテ岡田委員ガ立ッテ、賛成ノ意ヲ表シ、福田委員カ

ラ政府ノ意圖ヲ質サレタニ對シマシテ、政府委員ハ、委員各位ノ熱心ナル希望ノ趣旨ヲ諒トシマシテ、ソレニ副フヤウ十分努力スル考デアルト云フコトヲ、言明セラレタノデアリマス、仍テ採決ニ入りマシテ、全委員一致、政府提出案ヲ可決スベキモノデアルト決定致シタ次第デアリマス

第二、癡兵院法中改正法律案ノ趣旨ト致シマスル所ハ、次ノ三點ニアルノデアリマス、即チ第一ハ其目的ヲ、從來ノ傷痍軍人ノ貧困救済カラシテ、傷痍軍人中精神又ハ身體ニ著シク故障ガアリ、收容保護ヲ必要トスル者ヲ收容スルノ施設トシタ點デアリマス、第二ハ、癡兵院ノ名稱ヲ改メテ、傷兵院トシタ點デアリマス、第三ハ、昭和九年度ニ於テ五十萬圓ヲ投ジテ移轉改築ヲ爲ス計畫ヲ樹テマシテ、其經費ハ癡兵院ノ基金中ヨリ一般會計ニ繰入レルコトニシタ點デアリマス、本案ニ付キマシテモ、各員カラ新施設ノ内容、收容人員、其待遇等ニ付キマシテ、熱心ナル質疑ガアリ、政府委員之ニ對シテ答辯ヲナシテ質疑ヲ打切り、討論ニ入りマシタガ、岡田委員カラ次ノ希望ヲ附シテ、政府ノ原案ニ賛成スル旨ノ意見ノ陳述ガアリマシタ、其希望事項ハ、傷兵院ヲ東京附近ノ一箇處ニ止メルト云フコトハ、到底其本旨ニ副ヒ難イモノト認メルカラ、政府ハ國內數箇所ニ増設スルノ計畫ヲ立テ、本法ノ目的達成ニ努メラル、ヤウニ致シタイト云フコトデアリマシタ、政府委員カラ之ニ對シテ、現在ノ所デハ癡兵院ノ施設ヲ不十分ハ思フテ居ナイケレドモ、將來必要ガ起ツタ場合ニハ、十分委員各位ノ希望ニ副フヤウ努メルト云フ言明ガアッタノデアリマス、斯クシテ採決ニ入りマシテ、

本案ハ全員一致可決スベキモノデアルト決定シタ次第ゴザイマス、何卒兩案ニ對シマシテ、委員會決定ノ通り御賛成ヲ賜ハラシコトヲ切ニ御願致シマス(拍手)
○議長(秋田清君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○青木雷三郎君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀開ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
健康保險法中改正法律案 第二讀會(確定議)
癡兵院法中改正法律案 第二讀會(確定議)
○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌ、仍チ第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)——日程第七、及び第八ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、日程第七、政府提出貴族院送付、非訟事件手續法中改正法律案、日程第八、政府提出貴族院送付、裁判所構成法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、

委員長ノ報告ヲ求メマス——高見之通君

第七 非訟事件手續法中改正法律案 (政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 裁判所構成法中改正法律案 (政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 非訟事件手續法中改正法律案 (政府提出、貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和九年三月六日 委員長 高見 之通

衆議院議長秋田清殿
報告書

一 裁判所構成法中改正法律案 (政府提出、貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和九年三月六日 委員長 高見 之通

衆議院議長秋田清殿
報告書

○高見之通君 簡單デアリマスルカラ、當席ヨリ御許シテ願ヒマス
○議長(秋田清君) 許可致シマス
○高見之通君 特別委員會ハ右兩案ヲ可決致シマシタ(拍手)
○議長(秋田清君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キマシテ、議案全部ヲ議題ト致シマス
非訟事件手續法中改正法律案 第二讀會(確定議)
裁判所構成法中改正法律案 第二讀會(確定議)
○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案共委員長報告通り、可決確定致シマシタ(拍手)
○議長(秋田清君) 只今議員小山谷藏君ヨリ成規ニ依リ議事日程第五十五、決議案ヲ繰上ゲ上程スベシトノ動議ヲ提出セラレマシタ、此日程變更ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——日程第五十五、安達謙藏君外二名提出、決議案、内閣不信任ノ件ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——清瀬一郎君
第五十五 決議案(内閣不信任ノ件) (安達謙藏君外二名提出)
決議案
衆議院ハ現内閣ヲ信任セス
右決議ス

〔清瀨一郎君登壇〕

〔戸田由美君〕内務大臣、大藏大臣、司法大臣ノ出席ヲ求メマスト呼フ

○議長〔秋田清君〕 清瀨君ニ發言ヲ許シマシタガ、一寸一言致シマス、清瀨君ノ同志ヨリ御要求ノ各國務大臣、即チ内務、大藏、司法、各大臣デアリマスルガ、貴族院ノ豫算委員會ニ出席中トノコトデアリマス、其旨申上ゲテ置キマス

○清瀨一郎君 茲ニ私共ノ同志ヨリ提案致シマシタ、齋藤内閣不信任決議案ノ理由ヲ説明申上ゲマス、此内閣ヲ信任セザル理由ハ、大體三通リデアリマス、第一ハ、齋藤内閣ニ於カレテ今日ノ非常時局ノ實體、何故ニ我國ニ於テ世相ノ險惡ヲ來シタカ、此實體ニ關スル徹底シタル御見解ガナイデハナйка、是ガ吾々ガ不信任ヲ申上ゲル第一ノ理由デアリマス、第二ハ、過去二年ノ間、内閣ノ施政ヲ吾々靜カニ拜見シテ居タルコトデアリマスガ、然ルニ二年間ニセラレタコトハ、全ク無效果デ、何ノ役ニモ立タナカッタ、是ガ吾々ガ現内閣ノ存続ヲ希望セザル理由ノ二デアリマス、第三ハ、既ニ現ハレマシタ各種ノ責任問題、所謂綱紀問題、之ニ付テハ道義上ドウシテモ總理大臣連帶ノ御責任ガアラウト思フ〔拍手〕大體此三ツデアリマス、順次説明ヲ申上ゲマスルガ、此内閣ハ言フ迄モナク五・一五事件ノ後ヲ承ケマシテ成立シタモノデアリマス、内閣ノ使命ガ何デアルト云フコトハ、特ニ説明シナクテモ、其成立ノ事情ヨリ自ラ分ッテ居ル、無論五・一五事件ノ被告ハ、是ハ犯罪人トシテ處罰シナケレバナラヌ又、處罰モセラレタ、處罰ヲシナケレバナリマセヌケレドモ、何故ニ此様ナ前古未會有ノ事件ガ起ッ

タカノ原因ハ、之ヲ考數シナケレバナラヌ、被告ノ言フコトデアアルカラト云ッテ、之ヲ聽カナイ譯ニハ行カナイ、今日農村ノ問題、是ガ大變ナ重要ナ問題トナッテ居リマスガ、何故ニ是ガ起ッタカ我國ノ過小農制度、餘リ小サク分レタ農業制度ト云フコトモ、是モ原因ノ一ツデアリマセウ、又明治此方我國ニ輸入サレテ居リマス重商主義、錢ヲ一番尊ブ主義、此重商主義ト云フコトモ段々積リ積ッテ社會ノ險惡ヲ來シテ居ルト存ジマス、諄クハ申シマセヌガ、舊幕府ガ倒レテ明治ニナッデカラ、一番先ニ行ハレタ施政ハ、先ヅ租稅ガ米納ガ金納ニ變ッテ、金デ税金ヲ納メナケレバナラヌ、併シ土地カラ金ハ出テ來ヌ、出ル物ハ農作物、先ヅ農作物ヲ賣ラナケレバナラヌ、賣ルト云フコトニナルト、賣買ニ専門ノ商賣人ニハ、連モ百姓ハ敵ハナイ、地租ノ次ニハ或ハ消費稅ノ制度ガ行ハレタ、專賣ノ制度ガ行ハレタ、農民ハ酒モ買ハナケレバ飲メヌ、煙草モ買ハナケレバ喫ヘヌ、ドウシテモ地方ノ、金ガ出來ナイ場所ニ住ンデ居ル者ハ、金ヲ使ハヌト命ガ繋ゲナイト云フコトニナルカラ、農産物ヲ賣ルダケデハイケナイ、終ニハ祖先傳來ノ土地モ手放ス、更ニ稅制ハドウナツタカト言ヘバ、三百年ノ幕府時代ニ於テハ、地方ニ散在シテ居タル各藩ニ收納シ、各地デ使ハレタ所ノ地租ハ、悉ク中央ニ收メラレテ居ル、國稅ニナッデシマツタ、其後決マツタ所得稅ニシロ、營業稅ニシロ、消費稅ニシロ、是ト云フ稅源ハ悉ク中央政府ニ收メラレテ居リ、僅ニ戸數割ダトカ、雜種稅ト云フヤウナ區々タルモノシカ地方ニ殘リマセヌ、斯ノ如キ狀況デ、地方ハ大變貧困ニ相成ッタ、地方ノ貧困ハ一朝一夕ノコト

デハナイト思フ、一方都會地ニ於テハ、外國輸入ノ機械、科學、是デ以テ多量生産ガ行ハレル、株式會社組織ガ出來、富ハ自ラ中央ニ集中致シマシテ、明治ノ中期ヨリ大正、昭和ニ掛ケテ、中央ニハ所謂財閥ト云フモノガ出來テ參ッタ、所謂大財閥ト云フニ至ラズト雖モ、財閥ニ準ズベモノモ多數ニ出來テ參ッタ、ソコデ先ヅ立憲政治ヲ布キ、選舉ガ始ッテ、政黨モ出來タ、選舉、政黨ト云フモノガ行ハレマシテモ、貧困ナル地方ノ人民ハ、黨ニ加入シタツテ黨費ヲ齎出スルコトハ出來ナイ、結局政黨ハ、都會地ニ集ッテ財閥ヨリシテ、寄附ヲ貰ウテ選舉ヲヤルト云フコトニ相成ッタノガ、今日ノ政黨組織ナンデアル、明治以來ズツト發生シマシタ所ノ國民ノ經濟生活、又ソレト表裏シテ生ジマシタ所ノ選舉制度、政黨組織、是等ガズツト變結致シテ、到頭出來タモノハ何デアルカ、遂ニ大正ノ終リカラ昭和ノ初ニ於テ、政黨ト財閥トノ結託ヨリシテ、各種ノ重大ナル疑獄事件ガ簇出致シタノデアリマス〔拍手〕ソレガ内閣彈劾力、政黨彈劾力デヤナイカト呼フ者アリ

ソコデ國民ノ政治ニ對スル不滿ハ段々ト深クナッテ行ク、ドウシテモ此政治ニハ耐ヘ忍ブコトガ出來ナイト云フノデ、遂ニ爆發致シマシタノガ悲ムベキ五・一五事件デアッタ、デアリマスカラ、齋藤内閣——私ハ今簡單ニ説明申上ゲル、中々斯様ナコトハ十分、二十分ノ説明デヤ盡セマセヌ、簡單ニハ説明申上ゲマスケレドモ、齋藤内閣ガ五・一五事件ノ後ヲ承ケテ、善後ノ處置ヲシヨウト云フ使命ヲ御持チニナルノデアッタラ、此國民生活、社會生活、政治生活ノ深い所ニ眼ヲ注イデ、改革ヲスルノ態度ニ出ナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ル〔拍手〕私ハ深イ所ト稱シテモ、此處デ政治ノ議論ヲシ、一部經濟學派ノ言フガ如キ理論ニ耽ル者デヤアリマセヌケレドモ、今日ノ時代ヲ打出シタ原因ニ付テハ、慎重ニ御考ニナラナケレバナラヌノデアリマスルガ、遺憾ナガラ首相ヲ初メ、藏相、内相、今ノ内閣幹部諸君ハ此邊ニ付テ眼ヲ放タレテ居リマスルカ、之ヲ私ハ危ブム、幸ニ大藏大臣ガ御見エニナリマシタガ、大藏大臣ハ稅制ノコトヲ言フト、直グニ減稅トカ、増稅トカ、是ナシデス、今私ガ一言申上ゲマシタコトヲ御考ヘ下サツテモ、我國ノ稅制ハ、減稅ト増稅ダケデハ鼻ガ付キマセヌゾ、何ダト言ヘバ、明治カラ此方、ズツト積リ積ッタ地方ト都會地トノ負擔ノ不均衡ヲ考ヘナケレバナラヌ〔拍手〕過般貴族院ノ本會議ニ於テ大藏大臣ハ、斯様ナ言辭ヲ弄サレテ居ル、速記錄デ拜見シタノデアリマスガ、或ル議員ノ問ニ對シテ、地方ノ負擔ハ都市ニ比較シテ重イト云フ實證ハナイノダ、斯ウ仰シヤル、御調ニナラナイデ證據ガ無イト言フ、何レノ國ニ於テモ、都會ト地方ノ負擔均衡ト云ツヤウナ論デ稅制ヲ立テテ國ハナイト思フ、我ガ日本ニ於テハ、明治以來日本獨特ノ社會生活、政治生活ノ發展ヲ致シテ居ルカラ、日本ノ政治家ハ日本ノ現實、日本ノ歴史ニ即シテ物ヲ考ヘナケレバナラヌノニ、大藏大臣ハ、何レノ國ニ於テモ農村ト都市トノ負擔均衡ナドト云フコトヲ考ヘテ稅制ヲ論ズル者ガナイト仰シヤル、外國ノ大藏大臣ニオナリニナレバ其通りデ宜カラウガ、日本ノ藏相ハ日本ノ現實ヲ御覽下サラナケレバ、問題ハ解決シナイト私ハ考

ヘル(拍手)私ハ只今ノ法制、只今ノ稅制ナリ、經濟組織ヲ此儘ニズツヤッテ行キマスルト、議會ニ於テ少々ノ救済策ト云ツクヤウナモノヲ濟シ崩シニ立テマシタ所デ、諸君御承知ノ七十億ニ近イ農村債務ハ、到底私ハ無クナリハシヤイト思ヒマス、獨リ無クナラスノミナラズ、是ハ段々殖エルデアラウ、今現在ノ問題トシテ之ヲ救済スルコトモ必要ダガ、斯ノ如キ形勢ヲ馴致シタル原因ヲ除クコトニ目ヲ注ガナケレバ、時局巨救ヲ爲シタリト言フコトハ出来マイト私ハ存ズル(拍手)

此非常時局ヲ打出シタル原因ハ、一方斯ノ如キ經濟ノ問題デアリマスルガ、他方ハ矢張政治選舉乃至政黨ノ組織、之ニ關係スルコトハ無論ノコトデアリマス、ダカラ選舉法ノ改正——幸ニ又内務大臣ノ御出席ヲ得マシタガ、選舉法ノ改正ト云フコトハ、此時局ニ處スル爲ニ大變私ハ重要ナ、根本的ノコト、思フノデアリマス、能ク世間デ政黨獄ヲ責メルケレドモ、院內ニ居ッテ熱見ルト云フト、矢張原因ハ選舉法ニ在ル、一ツノ選舉ニ莫大ナ經費ヲ要シテ居ルデアアル、之ヲ脱合セテ考ヘマス、ドウシテモ選舉法ノ改正ニハ、非常ニ眞面目ナル努力ヲ拂ハナケレバナラス、ソコデ先ツ前ノ議會ニ於テ内務大臣ハ選舉法改正案ヲ御出シニナツタ、拜見致シマスト罰則ノ改正ダケデアリマス、ソコデ議員ハ選舉法ノ改正ハ、是デ宜イノカ、選舉公營ハドウシタノカ、斯ウ云フコトヲ御尋スルト、内務大臣ハ——總理大臣又同ジク選舉公營ノコトハ反對デハナイケレドモ、比例代表ヲヤラナケレバナラス、比例代表ノコト、同時ニ公營案ヲ出スノデアルト云フコトデ

アツタ、ソコデ法制審議會ニ比例代表案ヲ付議サレタガ、法制審議會ハ之ヲ不可トシタ、不可トシタケレドモ、内相ハ矢張樞密院ニ比例代表ヲ附ケタ案ヲ御提案ニナツタ、私ハ比例代表ニハ反對デスケレドモ、法制審議會デ反對シテモ、之ヲヤラウト云フ決心ヲ示サレタノニハ、案外内務大臣ハ強イト思ッテ幾ラカ敬意ヲ表シタ、然ルニ樞密院ニ是ガ懸リマス、タツタ二日間質問ヲ受ケテ、ヒヨロヒヨロト御撤回ニナツタ、私ハ選舉法ノ改正、憲法附屬ノ大典タル選舉制度ヲ變ヘルト云フヤウナコトニ、ソナナ信念ノサイコトデ行ケルデアラウカドウカ、近時又承ルト云フト、選舉法委員會デ以テ、ドシナ修正デモ妥協スルト仰シヤツタ、是デハ私ハ今ノ政府乃至内務大臣ガ、本當ニ今日ノ政治ノ根幹、政治弊害ノ根柢ヲ擱ンデ、之ヲ一ツ取除ク爲ニ選舉法ノ改正ヲヤラウト云フ御熱心、熱意、誠意ト云フモノヲ御持チニナルカ、之ヲ疑フノデアリマス、御誠意ヲ以テ御提出ニナル選舉法案ナラバ、私喜ンデ審議スル、然ルニ朝ニ比例代表ヲ出シ、タニ之ヲ撤回スル、議會ハ持ッテ來レバドシナ案デモ妥協スルト云ツクヤウナコトデ、今日ノ政界ノ革正ガ出来マスカ、中々政治弊害ノ根源ハ、廣ク且ツ深イ、餘程豪傑ノ士デナイト云フト、此弊害ノ改革ハ出来マセヌ、失禮ナガラアナタノ熱誠ト、且ツ失禮ナガラアナタノ御健康トヲ以テ、日本ノ政界ノ大改革ガ出来ルトハ信ジラレナイ(拍手)第二ノ五・一五事件ガ發生スルコトガ防ギ得ルトハ、ドウシテモ私ハ信ジラレナイ、内閣ハ全體何ヲシテ御出デニナルカ、内閣ト云フモノハ有機一體ノモノカト思ヘバ、閣僚間ノ討論場所デアアル、此頃外地米ノ統制ヲ

スル、サウスルト農林省ノ案ト拓務省ノ案トガ出テ來テ、向フ同志ガ議論スル、議會ハ最早モウ二十日シカナイ、ソコデ拓務省ト農林省ト議論ナサツタ、大藏大臣ガ仲裁役ダト云フ、私ハドシナ人カ知リマセスケレドモ、金森ト云フ人ガ案ヲ立テ、ソレニ據ラウト云フ、總理大臣何ヲシテ居ラレル、我國ノ一體米穀問題、是デ農民モ困ッテ居ル、是ガ爲ニ臨時議會モ開イタ、物情騒然デアリマス、此國家的大問題ヲ、アナタハ裁斷スル所ノ鍵ヲ預ケテシマウテ、金森某ト云フ人ニ頼ンデ御出デニナル、非常時擔當ノ大宰相タル責任ハ、何處ヘ參ッタノデアリマス、私ハ外交ノ事、此事ハ餘リニモ今日只今日本ノ國是ヲ如何ニスルカト云フ問題デアアル、餘リニモ「デリケート」デアリマスルカラ、私ハ論ジマセヌ、對英問題、對露問題、其内容ハ論ジマセスケレドモ、アナタ方御三人ノ態度デ以テ、日本ノ此大キナ船ガ安全ニ進ミ得ルヤ否ヤヲ疑フノデアリマス、能ク御考ヲ願ヒマス、失禮ナガラアナタ方御三人ノ様子デハ、我國ノ國內的ノ此非常時、國外的ノ帝國ノ地位、之ヲ脱合ッテ、此國ヲ安全ニ發育セシムルダケノ力ヲ持ッテ居ラレスト信ズルコトガ、是ガ現内閣ヲ信ゼザル第一デアリマス、此力サヘ御持チニナリマシタラ、少々ノコトハ眼ヲ瞑ッテモ辛抱ハ出来マスルガ、是ガナイ以上ハ日本國民トシテハ彈劾申上グルノ外ハナイ

諸君、現内閣成立以來二年デアリマス、此二年間ノ治績、政治ノ結果、之ヲ申上ゲレバ無意味デアツタ、無效デアツタ、徒勞デアリ、無成績デアツタト評スルノ外ハアリマセヌ、二年間ニ相當ノコトハサレタ、ケレドモ此内閣ガ二年間ナサツタコトハ、自發的ニ進ンデ之ヲショウトシタ形跡ハナイ、大抵ハ外カラ壓迫サレテ、澁々少シバカリヤラレタ、一尺ヲ求メル議論ガ出ルト五寸ヲ與ヘル、一丈ヲ求メル議論ガ出ルト三尺ヲ與ヘルト云ウタヤウニ、少シバカリ世間ノ議論ニ連レテ、各種ノ事ヲシテ居ラレル、恰度藥ノ極量ハ、半分服ミマスルト病ガ半分癒ルカト云フニ、ソレハ癒リマセヌ、全ク癒ラナイ、内閣ガ二年以來ナサイマシタ仕事ト云フモノハ、多クハ中途半端デアツテ、何等效果ヲ奏シテ居リマセヌコトハ、此議場ニ於テ此事ダケハ政民ノ諸君御一致デアラウト思ヒマスルカラ、諄クハ論ジマセヌ、諄クハ論ジマセヌガ、例ヘバ日本ノ金融ヲ緩和スルト云ツテ、特別融通法ヲ御制定ニナツタ、勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行ヲ通ジテ五億圓貸サウト云フ、昭和八年ノ十二月末マデ三千五百五十餘萬圓御貸ニナツタ、豫定ノ百分ノ六デス、チットモ是ガ爲ニ金融ハ緩和サレテハ居リマセヌ、是ハ御同意デアリマセウ、救農土木事業ヲ各地ニ行ッテ、農村ヲ救済スル、是モ中途半端、獨リ中途半端デアアルノミナラズ、洵ニウルサク、内務省ノ方デモ、農林省ノ方デモ、何ニ錢ヲ使フカマデ指定致シマスルカラ、各農村ニ於テハ緊急ナ事ガ却テ出来ナイデ、緊急デナイ指定サレタコトヲ澁々ヤラナケレバナラスト云フコトニナッテ居ル、金ノ授受、檢査、極メテ煩雜デアリマスルカラ、却テ地方人愁怨ノ一ツノ原因ヲ爲シテ居ル、政府カラ補助ハ貰ヒマスガ、町村ノ金ヲ合セナケレバ出来マセヌカラ、却テ町村ノ負債ヲ増加シタト云フ現象モ現ハレテ居ル(拍手)實ニ滑稽ナノハ負債整理組合、負債

整理組合法ヲ作ラウト仰シヤルノデ、帝國議會ハ協賛シタ、ドンナコトヲサレタノカ知リマセスケレドモ、大騒動ヲシテ貴衆兩院ガ負債整理組合法ヲ作ツタガ、日本全國一萬二千ノ町村ノ中デ、三十五ノ組合ガ出來タノデス、滑稽ナ話デアル、全ク無効デアリマス(拍手)米穀統制法ヲ御作りニナツタケレドモ其結果ハ、結局ハ最低米價デ米ノ値段ガ決マルラシイガ、最低米價ノ中ニハ、農民ノ利潤ヲ認メナイ生産費タケデアル、平均生産費タケデアリマスカラシテ、平均ノ場所ニ居ル者デサヘモ——平均以上ノ生産費ノ掛ルモノハ無論損デアリマスルガ、平均點ニ居ル農民ヲ見マシテモ、一厘モ利潤ハナイ、生産費以外ニ一厘ノ利潤ナクシテ、農村ハドウシテ立行クカ、親ノ法事モシナケレバナラス、子供ハ學校ヘヤラナケレバナラス、是ハ生産費ノ中ニ入テ居リマセヌヨ、サウスルト法事モシナイデ宜イ、學校ヘモ行カナイデ宜イト云フテ、米價ヲ御決メニナツタモノト見ルノ外アリマセヌ(拍手)全ク無効無益ノ法律ト言ハナケレバナラス、今回追加豫算ガ提出サレタ、是ハ今豫算委員會デ審議中デアリマスルカラ、追テ此席デ御討論ガアルデアリマセウケレドモ、親ノ貯藏費ノ千四百五十萬圓ヲ除キマスルト云フト、實ニ氣ノ毒ナ程僅デアル、農林土木費ト云ツテモ四百萬圓、一萬二千ノ町村ニ割振レバ三百三十圓、此三百三十圓全部ガ負擔輕減ニナルノデハナクシテ、其中ニ材料費ガ要ル、一町村ニ百圓、百二十圓ノ労働賃銀ヲ與ヘテ、救農土木費トハドンナモノデス、救農トハ農ヲ救フト云フコトデスヨ(拍手)農民ハソレデハ救ハレマセヌ

斯ノ如ク數ヘ來リマス煩ハシイ、結局ハ現内閣ノ施政ハ悉ク無效果デアリ、無意味デアリ、徒勞デアツタト言フノ外ハナイ(拍手)ケレドモ茲ニ私ハ現内閣ノ施政ノ中デ、特別ニ總理大臣、又内務大臣ニ御聴キヲ賜リタイコトガ一ツアリマス、良藥必ズ甘クハアリマセヌ、御聴キヲ願ヒタイ、ト云ラノハ、アナタガ政治ヲ執ラレテカラ、不思議ニモ日本各地デ官吏ノ犯罪ガ大變殖エタ、後ニ論及致シマスルガ、學校教員ノ不正事件モ大變殖エマシタ、獨リ犯罪、不正事件ト云フノミナラズ、官場ノ空氣ガ弛廢致シテ居リマス、朝出テ來ルノガ遅イ、夜ハ早く歸ル、私ノ友人ガ近時申シマスルノニ、千葉縣ノ「ゴルフ」場デモ、埼玉縣ノ「ゴルフ」場デモ、何時行ツテモ政府ノ官用自動車ガ停テ居ル、是ハ政府幹部ノ人ガ、役所ノ自動車ニ乗テ「ゴルフ」ノ御慰ミヲ爲サルヤウダ、御役所ト御役所トノ間ニ會合ノ機會モアラウト思フ、爲サルガ宜イ、然ルニ近時斯ノ如キ會合ガ待合デ催サレテ、藝妓ヲ侍ラセテ居ル、斯ウ言ツテ居ル、違ヒマセウカ、是ハ些細ナルコトヲ申サユウデアリマスケレドモ、今日地方ノ農民——食ベル物モ食ヘラレナイ所ノ地方ノ農民、是ガ見聞致シタ時ニ如何ナル感想カ是アラシ、私ハ政府ノ役人ノ御使ヒニナル「ガソリン」代ヲ節約セイ、ソナナ小サイコトヲ言フノデハナイケレドモ、アノ遊戯ヲ、役所ノ自動車ニ乗ツテ、千葉縣、埼玉縣ヘ行ツテヤリテ御歸リニナル、待合デ以テ各省ノ打合せヲ爲サル、ドウ云フモノデセウ、今マデ網紀肅正ヲ特ニ施政方針トシナカッタ内閣デモ、是ハ嫌ヲノデス、慥ハ濱口内閣ノ時分自動車ノ濫用ヲ禁ジテ居ル、ソコデス

ウ云フコトニナツテ居ルコトハ事實デアアルガ、アナタ方ハ假令一遍デモ訓示トカ訓令デモ出シテソレヲ止メロト仰シヤツタカ、私寡聞ニシテ此迄々タル官場ノ空氣ヲ引締メル爲ニ、アナタ方御兩人ガ努力サレタト云フ形跡ヲ見ナイノデアリマス、ドンナモノデアリマセウカ、過去二年ノ間五・一五事件ノ後ヲ承ケタ内閣トシテハ慎ミ且ツ慎ミ、懼レ且ツ懼レテ、是ヲ戒メナケレバナラスニ放逸ノ態度ヲ以テ居ラレタト云フコトハ、國民ニ對シテ相濟マヌコトデヤナイカ(拍手)上 陛下ニ對シテ相濟マヌコトデハナイカ、アナタ御自身ガ自分ノ保養ノ爲ニ鎌倉ノ別荘ニ奧サントイラシヤル、是ハ宜シイケレドモ、下僚マデガ之ヲ真似シテ治泊タル風ヲ爲シテハ、ソレデ國ガ亡ビル位大キナ金デハアリマセスケレドモ、失業者農民、中小商工業者、税金ノ拂ヘヌ人、飯ノ食ヘヌ人ハ、ドウ云フコトヲ思フノデアリマスカ(拍手)良心ガアラバ御考ヘ下サイ、是ガ私ノ現内閣ヲ信ズルコトヲ得ザル理由ノ第二デアリマス

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○清瀬一郞君(續) 最後ニ綱紀問題ニ關スル内閣ノ連帶責任、私ハ此處デアチタニ、閣僚諸君ガドウ爲サツタ云ツタヤウナコトヲ申上ゲル考ハナイケレドモ、過去ニ於ケル綱紀問題ニ付テ、總理大臣ハ御考ヘナサラナイデ宜カラウカ、此點タケデス、タツタ一點、此内閣ガ成立致シマシテカラ閣僚デ辭表ヲ提出サレタ人ハ六人デス、尤モ中一人ダケハ、中途デ御下渡ヲ請ハレタ、此六ツノ辭表ノ中デ、三ツハ本當ノ病氣デアリマ

スルガ、陸海軍ト外務大臣、後ノ三ツハ、矢張綱紀問題ノ責任ナンデアアル、閣僚ノ中三名ガ綱紀問題ノ責任ヲ負ハレタノデスヨ、此三大臣ノ引責ト云フコトヲ審カニ考ヘルト、ドウシテモ私ハ首相ハ御反省ナラナケレバナラス理窟ニナルト思フ(拍手)能ク連帶責任ト申スト、閣議デ相談シタカラ連帶ノ本ガ生ズルト言ヒマスガ、ソレハ政策問題ノコトデアアル、綱紀問題、惡事ヲスルト云フコトヲ、閣議デ相談スル人ハナイ、ソナナ内閣ハナイ、綱紀問題ノコトハ、閣議上程ト云フコト、ハ離レテノ問題デアアル、アナタノ奏薦ノ責任、董督ノ責任、問題ノ原因ハ此二ツデアアル、三ツノ辭表ニ關シ、首相ハ奏請並ニ董督ノ責任ヲ負ハズシテ可ナリヤ(拍手)中島商工大臣ガ辭サレタノハ、表面病ト稱セラレタト云フコトデアリマス、辭表ノ文面、固ヨリ知ルニ由ハアリマセスケレドモ、政治的ニ考ヘレバ、當時本院並ニ他院ニ於テ論セラレマシタ問題、一ツハ製鐵合同、臺灣銀行ノ人絹ノ擔保株ノ處分ニ關與サレタ、モウ一ツハ逆臣尊氏ヲ禮讚サレタ、前ノ製鐵合同乃至臺灣事件ト云フモノハ、是ハアナタガ董督サレタラ起ラナイ問題デアアル、アノ處分ガ行ハレル時分ニ、中島ニ對シテ顯末ノ報告ヲサセタラ起ラナイ問題デアアルカラ(拍手)董督ノ責任ハ生ジテ來マス、足利尊氏ヲ英雄ナリトシテ崇拜スルノ一文ハ、露々トシテ天下ノ人ノ憂ヘタノデアリマス、私ハ恐クハ首相ハ中島商相ニ此文章アリ、此觀念アリシコトヲ御存ジナカッタラウト思フノデス、御存ジガアツテ奏薦サレタラ、是ハ大變ダ、御存ジナカッタデアリマセウ、ケレドモ假ニモ會テ尊氏ヲ英雄ナリトシ、楠公ヲ

然ラズトスル考ヲ有テ居タ人ヲ奏薦シタ
ノデアッタラ、過チデゴザイマシタト云フ言
葉ヲ 陛下ニ差上ゲテ、私ハ然ルベキモノ
デハアルマイカ、政治的ニ責任ヲ負ハレテ
然ルベキモノデハアルマイカ、諄クハ申し
マセヌ、アナタノ胸ニ御聞キヲ願ヒタイ、
アナタモ士デアリマス、御聞キヲ賜ハラシ
コトヲ切ニ希望スル、恰度船ニ乗リタ旅人ガ、
船ガ重クナッタカラト云ツテ、一人ヲ船ノ外
ヘ放リ出シテ、後ハ安全ニ航海シヨウト云ツ
タヤウナ、サモシイ心ヲアナタハ武人トシ
テハ御有チニナルマイト私ハ拜察スル(拍手)
手)サウスレバ尊氏問題ノ結末ハ、アナタ
ノ良心ノ命ズル所ニ依ッテ御聞キナサイ、此
方カラハ言ハヌ、鳩山君ノ問題、是モ新聞
デハ鳩山君ノ明鏡止水ノ辯ヲ拜見致シマシ
タガ、先ヅ正式ニハ知ラナイト言ウテ宜イ
デアリマセウ、ケレドモ當時本院並ニ他院
ニ於テ行ハレタ議論ハ、中島商工大臣ト同
ジク製鐵合同問題、乃至派生のデハアッタ
ガ、重大ナル樺太工業問題、所謂網紀問題、
モウ一ツハ我國文教ノ責任デアリマス

ソコデ網紀問題ニ付テハ、中島商工同一デ
アリマスルカラ、同ジ議論ハ繰返サナイ、
矢張アナタノ董督ノ責任ガ忽セニナッテ居
リマス、終始鳩山ヲ閣僚トシテ董督サレテ
居リマセヌ、ダカラ是ガ起ル、樺太工業事
件、是モアナタハ御存ジナカッタデアリマ
セウケレドモ、知ラナカッタト云フノハアナ
タノ過チ、ガ併シ、茲ニ私ハ特ニ深甚ノ御
注意ヲ願ヒタイノハ文教ノ問題、殊ニアナ
タガ文相ヲ兼攝サレル態度ヲ執ラレマシタ
カラ申上ゲル、長野縣ニ於テ子供ヲ教ヘル
小學校ノ教員ガ、數十名赤化シタノデアリ
マス、長崎醫科大學ニ於テ教授ノ不正事件

ガアツタ、京都大學ハ大方潰レテシマツタ、
先ヅ是等ノ問題デアリマスルガ、就中是等
ヲ私ハ、或ハ派生のト云フコトモ言ハヌデ
モアルマイト思フケレドモ、全國ニ瀰漫シ
テ、ドウシテモ私ハ救ヒ難イノハ、輦轂ノ
下、東京ニ於テ四十八名ニ互ル小學校ノ校
長ガ瀆職罪ヲ犯シタ、同ジ事件ガ岡山ニ起
タ、是ハ九十何名、新潟ニ起ツタ、檢舉ハ致
シテ居リマセヌケレドモ、全國三府四十三
縣、到ル處ニ私ハ學校不正事件ガズット
瀰漫致シテ居ルデヤナイカト思フ(拍手)ソ
コデ御考ヲ願ヒタイコトハ、之ヲドウ爲サ
ルノダ、斯ウナンデス、人ノ道徳心ヲ少シ
デモ向上スルコトハ、是ハ中々ムヅカシ
イ、一家ノ家庭ニ二人ノ男ノ子ヲ有ッテ居
テモ、少シ良クスルト云フコトハムヅカシ
イケレドモ、之ヲ惡クスル方ハ極メテ容易
デアル

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○清瀬(一郎君) 成立ノ難キハ天ニ昇ル
ガ如シ、覆墜ノ易キハ毛ヲ燎クガ如シデ、
國民ノ道徳心ヲ向上シヨウト云フコトハ、
是ハ非常ニムヅカシイコトナノデアリマ
ス、今全國三府四十三縣ニ互リ、小學校ノ
德育ガ非常ニ是ハ墜チテ居ルト見ナケレバ
ナラス、之ヲドウシテアナタハ向上ナサイ
マスカ、矢張政府ヨリシテ訓示、訓戒ノ外
ハナカラウト思フ、而シテ網紀瀆職ノ内閣
ト云フモノガ、道徳ヲ引上ゲル訓示、訓戒
ヲシテ、道徳ガ上ルデアリマセウカ(拍手)
私ハ我國ノ文教ヲ建直スト云フコトハ、
今日以後ニ於テ重大ナル國策ト思フ、無形
ノ國策、是ヨリ大ナルハアリマセヌ、此網
紀紊亂ガ看板ニナッテ居ル内閣デ以テ、此類

勢ヲ挽回スルコトハドウシテモ出來ヌ、誰
カバ代ッテ之ヲヤルニアラズシバ、日本ノ文
教ノ回復ハ出來ナイノデアリマス(拍手)ア
ナタガ眞ニ國家ノ爲ニ已ヲ空シウシテ、國
ノ爲ニ此事ヲシヨウト思フノデアッタナラ
バ、其場所ヲ退イテ、外ノ人ニ之ヲ頼ムヨ
リ、最早途ハ無クナッテ居ル、アナタガ百回
ノ訓示、千回ノ戒告ヲ施サレマシテモ、日
本ノ小學校教育ハ元ノ通りニハナリマセヌ、
前文相ハ小學校長ヲ奏任待遇ニサレタ、是
モ結構デス、結構ダガ、勳章ヲ與ヘタリ、
待遇ヲ上ゲルト云フコトダケデ道徳ハ直ラ
ナイ、道徳ヲ改メルノニハ、嚴重ナル爲政
者ガ居ッテ、身ヲ以テ範ヲ示スト云フコト
デナケレバナリマセヌ(拍手)アナタノ衣ニ
ハ既ニ泥ガ附イテ居ル、國民ノ首班タル資
格ハアリマセヌ、アナタノ閣僚ハ三人マデ
責任ヲ負ウタ、サウ云フ者ガ居居ッテ居ッ
テ冠リ、ソレデ國民ニ向ッテ道徳ノ範ヲドウ
シテ示スカ、速ニ冠リヲ脱ギナサイ、泥
ノ附イタ衣ヲ脱ギ捨テナサイ、サウシテ次
ノ賢者ニ、ドウカ君此日本ノ文教ヲ建直シ
テ呉レト御頼ミニナッテこそ、アナタハ國家
ノ忠臣デアリマス(拍手)最早齡八十二垂シ
トスルアナタガ、名利ノ爲ニ總理大臣ノ地
位ヲ御保チニナッテ居ルトハ私ハ思ハナイ、
何カ御考ガアルコトデハアリマセウケレド
モ、ソレハ間違ッテ居ル、進ムベキ所ニハ進
ムモ忠、退クベキ所ニハ退クモ忠、其處ニ居
ルダケガ臣節ヲ全ウスル所以デヤアリマセ
ヌヨ、ソレハ御考ニナラナケレバナラス、小山
司法大臣ニ對シテハ、前ノ議會ニ私ハ質問ヲ
申上ゲタ、司法大臣御董督ノ東京地方裁判
所内ニ、共產黨ニ入黨シタ者ガアル、君主制ヲ
廢止スルコトヲ重要ナ政策トスル日本共產黨

ニ入黨シタノデス「シンバ」デヤアリマセ
ヌヨ、本當ノ黨員ガ二人現ハレタノデス、
一人ハ判事、一人ハ書記、長崎、山形ニ於
テ、是ハ「シンバ」デス、黨員デヤアリマセ
ヌケレドモ、共產思想ヲ懷ク判事ガ二人現
ハレタ、外ニ職員モ數名アル、是ハ小山法
相責任ヲ御執リニナルベキデヤアリマセヌ
カト、私ハ面ト向ッテ此席デ申上ゲタコト
ハ御記憶デアリマセウ、流石ハ小山法相、
昭和八年ノ四月六日、赤化判事ヲ出シタ責
ニ依ッテ辭表ヲ捧呈サレタノデス、是ハ私ハ
満足シタ、少シ日ハ經チマシタケレドモ、
何シロ議會中内閣更迭ヲ不利トサレタノデ
アラウ、議會ガ濟ンデ、四月六日ニ辭表ヲ
御出シニナツタ、所ガ齋藤總理大臣ドウ御考
ニナツタカ、他ノ辭表ト違フ、赤化問題デ
ス、其辭表ヲ御下渡シニナルガ宜シウゴザ
イマセウト云ツタ意味ノ内奏ト併セテ捧呈
シタノデス、是ハ私ハ今ニ了解ガ出來ナ
イ、併シ是ハ濟ンダコトデアル、此時ニ於
テモ私ハ小山法相ハ、外ノ一般瀆職トカ、
不始末ト違ッテ、日本ノ建國ノ大義、君主政
體ニ關スル問題、共產黨員ヲ部下カラ出シ
タト云フ問題ダカラ、斯ノ如キ優渥ハ拜謝
サレルモノト思ッタガ、ドウ一體天魔ガ魅
入ツタカ、法相マデガ是デ責任解除ダト云ッ
テ居居リニナツタ、是ハ總理大臣ト違ッテ、
司法大臣位勤メル人ハ幾ラモアル、何故私
ハアノ時御罷メニナラナカッタカ、小山君一
生ノ爲ニ私ハ惜ム(拍手)併シ是モ過ギタコ
トデアル、過ギタコトダガ、一旦優渥マデ
モ蒙ッテ留任スルト云フ以上ハ、其後ニ至ッ
テハ非常ニ白ラ願ミラレナケレバナナルマイ
ト思フ、嚴正公平、一言一行苟モセズ、洵
ニ正シキ精神ヲ以テ御仕ヘ爲サルベキ責任

ニ入黨シタノデス「シンバ」デヤアリマセ
ヌヨ、本當ノ黨員ガ二人現ハレタノデス、
一人ハ判事、一人ハ書記、長崎、山形ニ於
テ、是ハ「シンバ」デス、黨員デヤアリマセ
ヌケレドモ、共產思想ヲ懷ク判事ガ二人現
ハレタ、外ニ職員モ數名アル、是ハ小山法
相責任ヲ御執リニナルベキデヤアリマセヌ
カト、私ハ面ト向ッテ此席デ申上ゲタコト
ハ御記憶デアリマセウ、流石ハ小山法相、
昭和八年ノ四月六日、赤化判事ヲ出シタ責
ニ依ッテ辭表ヲ捧呈サレタノデス、是ハ私ハ
満足シタ、少シ日ハ經チマシタケレドモ、
何シロ議會中内閣更迭ヲ不利トサレタノデ
アラウ、議會ガ濟ンデ、四月六日ニ辭表ヲ
御出シニナツタ、所ガ齋藤總理大臣ドウ御考
ニナツタカ、他ノ辭表ト違フ、赤化問題デ
ス、其辭表ヲ御下渡シニナルガ宜シウゴザ
イマセウト云ツタ意味ノ内奏ト併セテ捧呈
シタノデス、是ハ私ハ今ニ了解ガ出來ナ
イ、併シ是ハ濟ンダコトデアル、此時ニ於
テモ私ハ小山法相ハ、外ノ一般瀆職トカ、
不始末ト違ッテ、日本ノ建國ノ大義、君主政
體ニ關スル問題、共產黨員ヲ部下カラ出シ
タト云フ問題ダカラ、斯ノ如キ優渥ハ拜謝
サレルモノト思ッタガ、ドウ一體天魔ガ魅
入ツタカ、法相マデガ是デ責任解除ダト云ッ
テ居居リニナツタ、是ハ總理大臣ト違ッテ、
司法大臣位勤メル人ハ幾ラモアル、何故私
ハアノ時御罷メニナラナカッタカ、小山君一
生ノ爲ニ私ハ惜ム(拍手)併シ是モ過ギタコ
トデアル、過ギタコトダガ、一旦優渥マデ
モ蒙ッテ留任スルト云フ以上ハ、其後ニ至ッ
テハ非常ニ白ラ願ミラレナケレバナナルマイ
ト思フ、嚴正公平、一言一行苟モセズ、洵
ニ正シキ精神ヲ以テ御仕ヘ爲サルベキ責任

ハ加重シタト思フノデアリマス、當り前ノ場合デモ、司法ハ嚴正デナケレバナラヌノデアルガ、一旦赤化判事ヲ出シタト云フヤウナ重大事件ニ遭遇シナガラ、恩命ヲ戴イテ、再び御仕ヘ申ス所ノ優詔ヲ受ケタ以上ハ、ソレカラノ小山サンハ格勤精勵、非常ナ嚴密ナ身ノ持方ヲ爲サヌトイケマスマイト思ヒマスガ、爾來悲シイ哉、小山君ノ行動ニハ、私ハ洵ニ了解シ兼ネル所ガアル、過般端ナクモ岡本一巳君ノ査問委員會デ、會社ノ社金ガ選舉ニ流用サレタト云フ問題ガ起ツタ、小山サンハ、院內ニ於テモ院外ニ於テモ、會社ノ社金ヲ選舉ニ使フコトハ、罪トナル場合ト罪トナラナイ場合ガアルト、コンナコトヲ仰シヤツタ、院外デモ言葉ハ違フガ、同様ナコトヲ仰シヤツタ、アノ記録デ會社ノ金ガ某大官ニ行ッテ居ルコトハ、チャント明ニサレテ居ルガ、之ヲ讀職ニ問ハナカッタノハ宜カッタノデアアルカト云フト、其當時ノ檢事ノ見解トシテハ相當ダト仰シヤル、是ハ言葉ハ少シ違ヒマス、一體此司法大臣ノ見解ト云フモノガ、アナタノ法律良心カラ出テ來テ居ルカドウカ、此處デハ御辯明ニ及ビマセヌ、アナタノ良心ニ答ヘナサイ、藤田好三郎ノ横領事件ニ牽聯シテ調べラレタ、藤田好三郎調書ニシテ、本件記録ニ添付サレナイモノヲ御出シナサイト云ツタ、是ハ手續デ出セスト仰シヤツタノデハナイ、其記録ハ無イト仰シヤツタ、アノ記録ガ無イト云フコトハ偽リデス、嘘ナンデス、政黨出身ノ司法大臣デモ、今マデソナハ嘘ハ吐イテハ居リマセヌヨ(拍手) 身荷クモ 陛下ノ優詔ヲ拜シ奉ッテ殘留シタ司法大臣トシテ恥ヅベキ行爲デアル、同ジクアノ昭和四年十一月、久須美

ノコトヲ調べタ時分ニハ、小橋問題ガ派生シタ、其小橋ノ方ハ、アナタハ遠慮ナク檢舉サレテ居ル、藤田ノ事件ヲ調べタ時分ニ、鳩山問題ガ起ツタガ、是ハアナタハ或ル方面ニ御遠慮爲サツテ居ル(拍手) ケレドモ是ハ過去ノ事デス、此過去ノ事ヲ今言フノデヤアリマセヌ、ケレドモ其過去ノ事ガ正シイカ否カト聽イタ時ニハ、昨是今非、吾過テリト仰シヤツタナラバ、私ハアナタヲ非常ニ尊敬スル(拍手) アナタハ一生涯司法ノ畑ニ於テ成長ナサレタ、私モ司法ニ出入スル職務ヲ有ツテ居リマス、二十年來相識ツテ居リマス、非常ニ私ハアナタノ學識ト、殊ニ人格ニハ傾倒シテ居ツタノデス、今日ノ司法官デ古武士ノ面影アルノハ、唯小山君一人ト思ッテ居ツタガ、其小山サンマデ内閣ニ入ッテハ嘘ヲ御吐キニナルト云フノデヤ失望セザルヲ得ナイ(拍手) 是モ議會中デアリマスカラ、事ニ依ルト四月ニナレバ御罷メニナル積リカモ分ラナイ、ソレナラバソレデモ宜シイ、強ヒテ短兵急ニ迫リマセヌケレドモ、是ハ一ツ日本尙武ノ爲ニ御考慮ヲ願ヒタイ、私ハ友人ニ少壯ノ檢事モ判事モ持ツテ居ル、私ノ交際ノコトダカラ申シマセヌガ、アナタノ院內、院外ノ行動ニハ、少壯判檢事ハ憤慨シテ居リマスヨ(拍手) 大變怒ツテ居ル、斯様ニ判檢事ガ反抗スルヤウナ言動ヲ院內ニ於テナスツテ、司法ノ尊嚴ガ出來ルカ(拍手) 宜シク直チニ自決サレンコトヲ希望スル次第デアリマス

茲ニ私ハ高橋大藏大臣ニ苦言ヲ呈サナケレバナラヌコトガアル、藏相ハ嘗テ明糖事件、司法當局ハ四千一百萬圓ノ脱税アリト稱シ、明ニ其事實ヲ證明シタ、アナタノ董督サレテ居ル大藏省デハ脱税ト追徵、合セテ七十二萬圓デ事ヲ御了ヒニナツタ、是ハ既ニ過ギタ事デアリマスルケレドモ、脱税ノ事ハ大變國民ニ痛切ニ感ズルト云フノハ、多ク日本國民ハ僅ナル所ノ營業税、サ、ヤカナル戸數割、其追求ニ困リ果テ、居ル、偶、脱税ガアルト、非常ナエライ目ニ會ツテ居ル、併シ所謂財閥ニ於テ千萬圓ノ脱税ガアルナラバ平氣デ居ル、金額ノ大小ヲ言フノデヤアリマセヌケレドモ、大手ヲ振ツテ通ルノデハ、國民思想ノ上ニ及ボシタ影響ハ甚ダ大デアル(拍手) 今デモ全國津々浦々ヲ旅行致シマスルト、必ズ明糖大脱税ヲ想ヘナイ所ハアリマセヌ、政治家ノ顔ヲ見レバ、明糖大脱税ト云ツテ居ル、是ハ誰ガ爲サツタカト言ヘバ、矢張アナタニ御責任ガアル、今回アナタニ更ニ起リマシタ問題ハ、端ナクモ彼ノ正金不當利得デアリマス、此正金ガ預ツテ居リマシタ五千八百五十萬圓ト云フ預金ハ、是ハ元々日本ノ金ナンデアル、日本政府ガ露西亞ノ爲ニ三億五千萬圓ノ金ヲ貸シタ、其貸シタ金ヲ露西亞ニ持ッテ行カナイデ、其儘正金ニ預ケタ、是ナンデス、日本ノ商人ハ當時露西亞ニ軍需品ヲ賣リマシタガ故ニ、此正金ノ預金カラ逐次拂ッテ貰ツテ居タノデアリマスルガ、結局五千八百五十萬圓ダケ殘ツテ、其時分ニ舊露西亞政府ハ倒レタ、ソコデ日本ノ商人ハ金ヲ拂ッテ貰ヘナイ、正金ニハ露西亞ノ錢ガアル、ドウスル、ソコデ政府ノ方デハ、正金ニアル所ノ預金ヲ見返ニ政府ハ代拂ヒヲシタ、デアリマスルカラ、政府ガ代拂ヒヲシタ證券ニハ、正金ニ於ケル露西亞ノ預金ガ拂戻サレル時デナイト、此正金ニ對スル日本政府ノ借金モ拂ハナイト書イテアル、サウ書イ

テアル以上ハ、是ハ時効ニ掛ツテ居ルカ否カハ、一寸疑問デアリマスルガ、假ニ時効ニ掛ツテ、正金ガ露西亞ノ預金ヲ拂ハナイモノデ宜イト云フコトニナツタラ、政府ノ正金ニ對スル債務モ拂ハナイデモ宜カリサウナモノデアアル、アナタ竝ニ大藏省ノ役人ハ、正金ノ露西亞ニ對スル債務ト、政府ノ正金ニ對スル債務トハ、當事者ヲ異ニシテ居ル、内國法デハ相殺ガ出來ヌ、斯ウ仰シヤル、内國法デ相殺ガ出來ナケレバ、内國法ヲ作レバ宜イ、此處ヘ御提案ニナレバ贊成セヌコトモナイ、嘗テ政府ハ「ゼノア」會議ニ覺書ヲチャント作ッテ、日本ノ對露債權ハ、露西亞ノ日本ニ於ケル預金トハ、其限度ニ於テ相殺取得セラルベキ旨ヲ明ニ書イテアル、成文マデ分ツテ居ル、此一體元々ノ日本ノ金デアッタト云フコトヲ、日本政府ガ引當ニ借金ヲシタト云フコト「ゼノア」會議ニ於テ日本政府ガ取得スル、移轉スルモノナルコトヲ公言シテ居ルニ拘ラズ、何故正金ニ不當利得ヲサセタカ、是ガ問題デアル(拍手) 私ハ併ナガラ濫ニアナタニ責メヌ、是ハ譯ガアル、アナタノ前任者デアッタ人ハ、正金ニ向ツテ弗ノ賣放シヲ命ゼラレタラシイ、ソレニ因ツテ生ジタ損害ハ、政府デ責任ヲ負フト云フ一札ヲ御入れニナツタラシイノデアリマス、デアリマスルカラシテ、後任者トシテ前任者ノ言責ヲ重ンジナケレバナラヌ立場ニ御アリニナツタデアリマセウ、之ヲ理窟一方デ私ハ片付ケヤウト云フノデヤナイ、サウ云フ事情ガアッタラ、何デ法律ヲ作ツテ處分サレヌカ、法律ガ間ニ合ハナケレバ緊要勅令モ出セルノデアリマス、何デソレヲ出サナイカ、立法權ヲアナタ一人デ無視セラレルト云フコトニハ、ドンナ

モノデアルカ、高橋は清タツタ一人ガ、貴衆
兩院並ニ帝國ノ立法權ニ代ルコトハ、是ハ
出來マセヌ(拍手)併シモウツ私ハ裕リヲ
取ル、政治ト云フモノハ、場合ニ依ッテハ一
世一代、日本ノ議會制度、法治組織ヲモ、
一時ハ心中ニ否込マナケレバナラヌ場合
ガアリマセウ、外國ニ對スル問題ニ於テ殊
ニ然リ、外國ニ於テモ其歴史ハ幾ラモアル、
是ハ日本ノ言葉デ云ヘバ、腹藝ト云フモノデ
アル、是ハ惡イコトハ知ッテ居ルガ、日本ノ
議會政治、財政制度デ以テ、正金ニ五千八百
萬圓只損ヲサスト云フコトハ惡イノダ、法律
ニ掛ケネバナラヌ、議會ニ掛ケレバ論議ガ起ッ
テ外國ニ通ズル、ソレデハ困ルカラ、高橋ガ此
處デ一ツ責任ヲ負ハウト云フノデ、大政治家ヲ
氣取ッテ、大キナ腹藝ヲ爲サルコトハ妨ゲ
ヌ、ケレドモ腹藝ト云フモノハ腹藝デアッ
テ、事ガ濟ンデシマウタラ俺ガ惡カッタト、
多年一日、斯ウ云フコトハ誰モシテハイカ
ヌゾト云ッテ、自分ガ責ヲ御負ヒニナラナケ
レバ腹藝デハナイ(拍手)腹藝ノ底拔デス、
サウ云フ決心デアラル、ノデアレバ、アナ
タノ名前ハ後世ノ歴史ニ傳ハル、腹藝ノ喰
逃ゲト云フモノデス、此點ニ於テモ高橋大
藏大臣ハ深甚ナル御考ヲナサナケレバナラ
ヌト思ヒマス

之ヲ要スルニ、現内閣ハ時勢ヲ洞察スル
ノ眼識ナク、二年間ノ施政ハ悉ク無效果デ
アリ、徒勞デアリ、無成績デアル、況ヤ閣
僚三人ノ綱紀問題ヲ出シテ、恬然トシテ其
地位ニ居ルコトハ出來マセヌ、今日ノ政治

ノ廻リ合セデ、院内ニ於テ此聲ヲ舉ゲル者
ハ、僅カ三十數名デアリマスルガ、一步門
前ニ出レバ、天下皆アナタヲ信ジテ居リマ
セヌ(拍手)國家ノ爲ニハ更ニモット有力ナ
ル活氣潑刺タル強力ナル政治ヲ行ハント
ヲ皆望ムデ居ル(拍手)院内ニ於カレテモ私
ハ心中諸君ノ中ニハ、此内閣ノ施政ニ信ヲ
拂ハレナイ人ハ相當多イト思フ(拍手)唯是
モ悲シイコトデアッテ、政權ノ轉換ヲ自分ノ
黨派ニ都合ノ好イ時ニシタイトシテ居ル黨
派根性ニ過ギナイ(拍手)此事ソレ自身ヲ改
革シナケレバナラヌ時機ニアルト思ヒマス、
以上ヲ以テ私共ノ提案致シマシタ不信任ノ
理由ト致シマス(拍手)

○議長(秋田清者) 本案ニ對シ質疑ノ通告
ガアリマス、之ヲ許シマス——龜井貫一郎
君

〔龜井貫一郎君登壇〕

○龜井貫一郎君 私ハ只今議題ト相成テ
居リマス國民同盟御提案ノ、齋藤内閣不
信任案ノ趣旨御辯明ニ對シマシテ、簡單ニ
質疑ヲ致シマシテ、今少シク只今ノ御辯明
デハ明デナカッタ御趣意ノ段々ヲ明ニ致シ
マシタ上デ、然後ニ贊否ヲ決定致シタイ
ト思フノデアリマス、御答辯ヲ得易イ爲ニ、
少シク吾々ノ齋藤内閣ニ對スル所懷ノ諸點
ヲ披露致シマシテ、之ニ對シテ御答ヲ得マ
シテ……

〔質問デヤナイデヤナイカ〕ト呼ヒ其
他發言スル者多シ

○議長(秋田清者) 靜肅ニ

○龜井貫一郎君(續) 吾々ハ其御趣意ノ段
ヲ明瞭ニ致スコトヲ御許シヲ願ヒタイト思
ヒマス、吾々ハ次ノ意味ニ於テ現内閣ヲ組
閣ノ使命ヲ全ウセズ、存立ノ理由ヲ失ヒタ
リト考ヘテ居リマスルガ、提案者ハ其意味
ヲモ御含ミノモノデアリマセウカ(拍手)日
本ハ所謂非常時ニ直面致シテ居リマス、各
方面ノ行詰リヲ現出致シテ居ルデアリマ
ス、此非常時タル所以ノモノハ、其原因ヲ
遠キニ求ムル必要ハアリマセヌ、非常時タ
ル所以ノモノヲ吾々ハ今日茲ニ面アタリニ
見テ居ルデアリマス、實ニ此院内ノソレ
自體ノ有様ノ中ニ、非常時タル所以ガ存在
シテ居ルト吾々ハ考ヘル者デアリマス、即
チ議會ニ絕對多數ヲ擁シテ居ラレル政友會
ガ、今ヤ不思議ニモ政權ノ唯一ノ擔當者デ
ハナイノデアリマス、而シテ老齡將ニ隱居
役タルベキ所ノ齋藤、高橋、山本ノ諸老ヲ
中心トスル内閣ニ、非常時打開ノ大役ヲ背
負ハシメテ居ルデアリマス、斯ル一見不
可思議ナル現狀ノ一點コソ、雄辯ニ我國ノ
非常時ヲ物語ルモノト思ヒマス、政友會ガ
議會ニ絕對多數ヲ擁シナガラ、政權ノ中心
タル能ハザル原因ニ關シテハ、私ガ茲ニ申
上グル必要ハアリマセヌ、國民之ヲ知り、
又政友會ノ方々モ既ニ之ヲ知ッテ居ラル、
ト、此議會政治ノ爲ニ確信ヲ致シマス(拍
手)果シテ然ラバ齋藤内閣ノ組閣ノ使命ハ、
ソコニ自ラ明カデアアル、即チ現内閣ノ組閣
ノ使命ハ、政友會ガ本來ナラバ政局ニ當ル
ベキデアアルニ拘ラズ、政局ニ當リ得ザリシ

所以ノ此現下社會情勢ノ原因ヲ一掃シ、我
國ヲシテ將來圓滑ニシテ、能率的ナル政治
運用ヘノ道程ニ發達セシメ、國民ヲシテ協
力邁往世局ニ處スル具體的ナル途ヲ開クニ
アッタト申シテ、決シテ過言デハナイト私ハ
信ズルノデアリマス(拍手)

然ルニ現内閣ハ成立以來一年十箇月、其
間果シテ之ヲオヤリ爲サツタノデアアルカ、其
政策ニ於テ此非常時ヲ打開スベキ改革ノ何
等端緒ヲ開キ得ザリシノミナラズ、之ニ向ッ
テ國民ニ何等ノ國策ヲ明示シテ居ラズ、何
等ノ理想ヲ示シテ居ラレナイノデアリマ
ス、内外ノ難局ニ於テ、今日程我國ガ之ヲ
中外ニ施シテ悖ラズ、之ヲ古今ニ通ジテ釋
ラザル内外ノ大建前ヲ、具體的ニ世界ニ宣
明スル必要ニ迫ラレテ居ル時代ハ、曾テナ
カッタト私ハ確信ヲスル者デアリマス(拍
手)然ルニ我等ハ既ニ「憲ヲ所正ヲ履ミ行フ
所中ヲ執リ」ト云フ御聖旨ヲ賜ッテ居リマス、
政府モ亦施政方針ノ演說ニ於テ、此聖旨ヲ
御服膺致スベキ旨ヲ言明致シテ居リマス、
然ルニ國民ハ齋藤内閣ノ其政策ノ輪廓ニ於
テ、何ガ中ナリヤ、何ガ正ナリヤ具體的
ニ知り得ナイノデアリマス、其嚴肅ナル御
聖旨ノ御言葉ヲ、施政方針演說中ノ漫然タ
ル美辭麗句トナシタリヤノ印象ヲ國民ニ與
ヘタルハ、政府自ラノ責任デアリマス、一
方ニ此御言葉ヲ引用シツ、一方ニ曰ク、
調査研究、曰ク、其心持ト云フ言葉ニ隠レ
テ……

〔發言スル者アリ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○龜井貫一郎君(續) 無爲ニシテ其局ニ居ル、輔弼ノ責任ヲ盡サルコト是ヨリ大ナルハナシト斷ズルゾデゴザリマスルガ、此重大ナル施政方針ニ引用シタル御言葉ニ關シ、何等ノ國策ヲ示サル點ヲ提案者ハ……

〔ソレガ質問カ〕ト呼ヒ其他發言スル者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○龜井貫一郎君(續) 果シテ御考ニナッテ居ルノデアルカ、質疑ヲ致シタイノデアリマス

〔質問ニアラズ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 龜井君——龜井君、御演說中デアリマスルガ、一言御注意ヲ致シマス、只今アナタニ對シテ議長ガ發言ヲ許シマシタルハ、本決議案ニ對シテノ質疑トシテデアリマス、段々御演說ヲ承ルニ、形式ハ質疑ニ似テ居ルヤニ見ラル、ノデアリマスガ、其實質ニ於テハ本案ニ對スル討論ヲ爲サル、ヤウニモ考ヘラル、ノデアリマス、仍テ議長ハ今少シアナタノ御演說ヲ許シ、御續ケニナルコトヲ認メマスガ、併ナガラ只今迄ノ感想ニ於テ、議長ガ斯様ニ考ヘテ居ルト云フコトヲ、アナタハ御含ミノ上御發言ヲ續ケラレンコトヲ望ミマス(拍手)

○龜井貫一郎君(續) 諒承致シマシタ、只今申上ゲマシタ一點ヲ明確ニ含マル、御意思ナリヤ、是ガ第一デアリマス

更ニ只今御提案ノ趣旨御辯明ニ於キマシテハ、私共ガ重點ヲ置イテ居リマスル現在ノ經濟機構ノ問題ト、齋藤内閣ノ政策トノ其關聯ニ於テ、果シテ責任ヲ取ッテ居ラルハ、ヤ明瞭デナイト考ヘテ居リマス、此點ヲ御尋致シマスガ、吾々ハ現内閣ハ資本主義改革ヲ斷行スル意思ナシト考ヘテ、其意味ヲ提案ニ御含メデアルナラバ、固ヨリ賛成ヲ致ス次第ナノデアリマス、窃ニ考ヘマスルニ、現内閣ノ經過ヲ見マシテモ、荒木前陸相ガ辭職セラレマシタガ、現内閣中非常時打開、資本主義改革ノ若干ノ表現ヲ、某々事件ヨリ五・二五事件ニ至ル一年ノ空氣ヲ代表シテ入閣セラレタル、荒木前陸相ニ見出シテ居タノデアリマス、固ヨリ吾々ハ荒木前陸相ノ意見ノ全部ニ贊同致スノデアアリマセヌ……

○議長(秋田清君) 龜井君——龜井君、御演說中デアリマスガ、豫メ御警告申シテ趣旨ニ依リマシテ、議長ハ此場合アナタノ演說ノ中止ヲ命ジマス(拍手)——是ヨリ討論ニ入リマス——濱田國松君

○濱田國松君 簡單デアリマスカラ自席カラ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス

○濱田國松君 只今清瀬君ニ依リマシテ本案ノ提出理由ヲ詳シク御説明ニナリマシタ、謹ンデ之ヲ拜聴致シマシタ、吾々ト雖モ現内閣ノ施設ニ對シマシテハ、満足ヲ持チ得ナイコトモ多クアリマス、併ナガラ今ヤ國家ハ頗ル多事デアリマス、國防ノ整備

其急ヲ要シ、外ハ國際ノ關係頗ル複雑デアリマス、將又國內對策ニ於キマシテモ、國民經濟ノ庶政一日モ忽セシムベカラザルモノガアリマス、隨テ少クモ國政運用ノ基本デアリマス豫算案ガ、兩院ヲ通過セザル今日ニ在リマシテハ、之ヲ現下ノ國情ニ鑑ミ、本案ハ妥當ヲ得ザルモノト思料致シマス(拍手)仍テ同僚ヲ代表致シマシテ、反對ノ意ヲ表シマス(拍手)

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——鈴木正吾君

〔鈴木正吾君登壇〕

○鈴木正吾君 私ハ本案決議案ニ賛成スル者デアリマス、吾々ガ現内閣ヲ信任セズトナス第一ノ理由ハ、齋藤總理大臣ニハ非常時局ヲ擔任スル權威ト信用ガ今ヤ全ク院ノ内外ニ於テ失墜シテ、到底時局匡救ニ耐ヘ得ル資格ナシト信ズルガ故ニ、之ヲ彈劾致シマス(ヒヤ／＼)(拍手)言フマデモナク總理大臣ノ地位ハ、上御一人ヲ除イテハ國家最高ノ政治的權威デアリマス、苟モ此權威ノ地位ニ居ル者ノ一言一行ハ、上ハ一人ノ師範トナリ、下ハ四海ノ儀表トナル德望ガナケレバナラスコトハ當然デアリマス、更ニ道ヲ論ジ、國ヲ經スルノミナラズ、進ンデハ陰陽變理ノ大責任ヲサヘ負フ程ノ大覺悟ガナケレバ、此重責ニ當ルコトハ出來ナイ筈ダト吾

吾ハ信ジテ居ル(拍手)總理ニ此德望ト此權威ト此重大ノ責任觀念ガアツテコソ、國家ノ綱紀ヲ肅正シ、人心ヲ新ニシテ、庶政ノ更張ヲ期スルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ

齋藤總理相ノ言行ニハ何等權威ノ服スベキモノハナイ、德望ノ仰グベキモノモアリマセヌ、熱意ノ人ヲ動かスモノモナイ、恰モ匹夫下郎ノ如キ無責任ノ言動ヲ以テ、一日ノ安キヲ偷シテ居ルト云フ狀態デアリマス(拍手)其當然ノ結果トシテ綱紀ハ極度ニ紊亂シ、人心ハ極度ニ倦怠シテ、今ヤ政府ハアレドモ政治ナシト云フ、重大時局ヲ惹起シテ居ルト云フコトヲ私共ハ知ラナケレバナラヌ(拍手)齋藤總理大臣ハ、議場ノ空氣ハ相當御分リニナッテ居ル筈デアリマス、アナタハ自己ノ長イ議會生活ノ經驗カラ見テ、歴代ノ總理大臣ノ中デ、アナタ位貴族院、衆議院ニ於テ無爲無能呼ハリセラレタ總理大臣ガ此演壇ニ立ッテ、國務ニ關シテ言論ヲナスコト云フコトハ、實ニ重大ノ問題デアルハ、此演壇ニ立ツ時ノ總理大臣ハ、一世ヲ風靡スル位ノ權威ノ見ルベキモノガナケレバナリマセヌ、然ルニ齋藤サンガ此演壇ニ立ツ時ノ議場ノ空氣ハドウデス、其意見ニ傾聴シヨウトカ、其權威ヲ畏レルト云フ空氣ハ少シモナイ、首相ノ答辯ヲ聽ク者ハ嘲笑ヲ以テ迎ヘテ居ルデハナイカ、此議場ニ齋藤首相ヲ迎ヘル時ハ、議員ハ冷笑ノ目ヲ以テ迎ヘテ居ルト云フコトハ、アナタモ自ラ御認メニナルコトダト信ジテ居ル、私ノ知ル所ニ依ッテモ、原敬氏ガ此演壇ニ立タレタ時ハ、何ノ問題ニ付テモ議場ハ緊張シテ居リマシタ、加藤高明先生ガ此議政壇上ニ立タレタ時、議場ハ水ヲ打ッタルガ如キ緊張デア

リマシタ、アナタガ此演壇ニ立タレタ時ニ、サウシタ種類ノ緊張トカ、靜肅トカ、嚴肅サガ何處ニアリマスカ、此一ツヲ以テ見テモアナタハ最早非常時局ヲ擔任スル資格ガナイト斷定シテ差支ナイト私ハ思フ居ル(拍手) 苟モアナタガ時局ノ重大性ヲ認識シ、自己ノ無爲無能ヲ顧ミルダケノ良心ト勇氣ガ尙ホ存スルナラバ、天人ノ憤リヲ恐レテ、一日モ安閑トシテ此權威ノ地位ニ留ルコトガ出來ナイ筈ダト思ヒマス、然ルニアナタハ平然トシテ今日其權威ノ地位ニ無權威ノ巨軀ヲ曝シテ居ル、實ニ醜態ヲ通リ越シテ悲惨ダトサヘ私ハ思フ居ル(拍手) 日本ノ國難ハ千九百三十五年、三十六年ノ頃ニ來ルノデハナイ、アナタノ如キ無權威ノ總理大臣ガ今日其地位ニ留マツテ居ルト云フコトソレ自體ガ、日本ニ取ツテ最大國難デアルト私ハ考ヘマス、私ハ議場ノ古老ニ聽ク、我國ニ議會政治ガ開ケマシテ以來今日迄、議員ノ質問ニ對シテ齋藤總理大臣位愚劣ナ答辯ヲシタ總理大臣ハ、未ダ曾テ無カッタト言ハレテ居リマス、實際是迄ノ四議會ヲ通ジテ、齋藤首相ノ答辯ハ恰モ魂ノ無イ「ロボット」ガ機械的ニ「同感デス」、「調査中デス」考慮シマス「努力シマス」ト云フ、四ツノ抽斗カラ印刷セラレタ答辯ヲ引出シテ答ヘテ居ルト云フ以外ノ何モノデモナカッタ、私ハ決シテ辯ノ巧拙ヲ言フノデハナイ、言ハ人也、即チ其答辯ヲ通シテ表現セラレルアナタノ責任通レノ屬吏根性ヲ責メタイノデアリマス、人間ノ品格ハ其人

ノ懷ク責任觀念ノ強弱ニ依ツテ決スル、苟モ總理大臣ノ位ニ居ル以上ハ、アナタニハ若シ天下一人ノ飢ユル者アレバ、是レ齋藤ノ罪ナリト深く自ラ責メル位ノ、強キ責任觀念ガナケレバナラヌ筈デアリマス、然ルニアナタノ責任感ハソレドコロカ、内閣ガ連帶責任ヲ有スル一有機體デアルト云フコトサヘ了解シテ居ラナイヤウデアアル、若シ之ヲ了解シテ居ルナラバ、ア、容易ク閣僚ノ首ヲ取替ヘテ平氣デ居ラレル筈ハナイト私共ハ思ヒマス(拍手) 私ハ此處デ内田外交ノ行詰リヤ、中島、鳩山兩前閣僚ノ辭職セザルヲ得ザルニ至ツタ餘儀ナイ事情、之ヲ詳シク論ズル積リハアリマセヌ、ケレドモアノ問題ハ決シテ責任ヲ負フテ退カレタ當該大臣ダケノ責任デ済マサレルモノニ非ズシテ、當然内閣全體ノ責任トシテ考ヘナケレバナラヌ問題デアアルコトハ、清瀨君ノ御演說ニモ明カデアリマシタガ(笑聲)人ノ言フ事ヲ聽クマデモナイ、アナタ自身ノ良心ガ最モ能ク之ヲ承知シテ居ル筈ダト思フノデアリマス(拍手)

シタ、輿論ノ強壓ニ遇ツテ國際聯盟ノ脫退ヲ實行シタ、農民ノ要求ヲ抑ヘル事ガ出來ズシテ臨時議會ヲ開イデ、不徹底ナ農村對策ヲ樹テタ、議員カラ再三再四督促セラレテ、漸ク議會ニ議案ヲ提出スルト云フ爲體デアリマス、樞密院ニ一喝セラレ、バ、此内閣ノ重大使命デアアルベキ選舉法改正案ノ骨子トモ云フベキ比例代表制ヲ撤回シ、サウシテ會期ガ二分ノ一モ經過シタ後ニナツテ、漸ク骨抜きノ選舉法改正案トシテ議會ニ提出スルト云フ爲體デアリマス、斯ウ觀テ來ルト、アナタノスル事爲ス事皆悉ク熱モ誠意モナイ、唯其日暮シノ行當リバツタリト批評スルヨリ外ハナイノデアリマス、何カ國ノ爲ニヤラウトスル誠意ガアリ、熱ガアツテ力ガ足ラヌ爲ニヤレヌト云フナラバ、猶恕スベキデアアル、アナタノハ初カラ、ヤラウトスル熱モ努力モナクシテ、唯國政ヲ荒廢ニ委セテ置クト云フノダカラ、默ツテ見テ居ラレヌト云フ氣持ニナルノデアリマス(拍手)

之ヲ要スルニ組閣以來今日迄ノ齋藤首相ノ態度ヲ見ルト、齋藤サンハ自分ノ地位ヲ保ツ爲ニハ、脱兔ノ如ク勇敢デアアルケレドモ、國策ノ遂行ニハ處女ノ如ク臆病デアッタト云フコトガ言ヘルト思ウノデアリマス、其閣僚ノ首ノスゲ替ノ如キニ至ツテハ、實ニ羅字屋ノ名人モ三舍ヲ避ケルト云フ程ノ鮮カナ手際ヲ見セテ呉レテ居ル(笑聲)併ナガラ内閣ハ決シテ煙管デハアリマセヌ 國民ハアナタノヤウニ手輕ニ閣員ノ首ヲスゲ替

ヘル羅字屋内閣(笑聲)ニハ信用ヲ置ケナイト私ハ信ズル、聞ク所ニ依ルト、齋藤サンハ、俺ガ辭メタラ後ガ困ルト心配シテイラッシヤルサウデアアル、冗談デハナイ、齋藤サンヨリモ拙イ總理大臣ヲ求メルコトハ容易ナラヌコトデアラウト思ヒマスケレドモ、アナタヨリ氣ノ利イタ總理大臣ナラ、此議場ニダケデモ四五人ノ候補者ガ居ルト云フコトヲ、私ハ確信ヲ以テ言ヒ得ル(笑聲)政民兩黨ノ諸君ガ此決議案ニ反對ナサルニハ色々ノ事情ガアリマセウケレドモ、心ノ中デハ既ニ此決議案ニ贊成デアルト云フコトヲ知ツテ居ル、政友會ノ或ル有力ノ御方ノ私話デアリマスケレドモ……

○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○鈴木正吾君(續) モウ君、不信任案ヲ出ス必要ハナイデハナイカ、不信任案ヲ出サズトモ、此内閣ハ死ンデ居ル、首ヲ縊ツタ奴ノ後足ヲ引摺ルヤウナコトハセヌデモ宜イデヤナイカト云フコトヲ仰セニナツタ、但シ吾々ハソレトハ見解ガ違ヒマス、此内閣ハ中々死ナ、イ、中々死ナ、イカラ一日モ早ク倒サナケレバナラヌ、斯ウ私共ハ信ジマスカラ、茲ニ不信任案ヲ提出シタ次第デアリマス、即チ私話ヲ持出サズトモ、政友會、民政黨ヲ代表スル有力ナ代表黨員カラ、此内閣ノ不信任ハ既ニ今期議會ノ劈頭ニ於テ表明サレテ居ルトサヘ、私共ハ信ズベキ理由ガアルノデアリマス、即チ政友會ヲ代表シタ床次サンハ、今期議會劈頭ノ質問演說

ハアナタノヤウニ手輕ニ閣員ノ首ヲスゲ替

ハアナタノヤウニ手輕ニ閣員ノ首ヲスゲ替

於テ「現内閣ハ其施政ノ方針ニ於テ確立
スル所ナク、時局ニ對スル熱意ト氣魄トニ
闕クル所アリ、且又有機的ニ一體ヲ成シテ
十分ナル機能ヲ發揮シ能ハザルモノナリト
ノ感想ヲ懷ク者ガ頗ル多イノデアリマシテ
是ガ政局ノ不安、人心ノ動搖ノ原因トナル
ノデアリマス」ト喝破シテ居リマス、之ヲ
本當ニ讀メバ、此内閣ニ對スル不信任論デ
アルト云フコトハ明白ニ分ルベキ筈ダト私
ハ信ジテ居ル（拍手）又民政黨ヲ代表セラレ
ル町田忠治氏ノ御演説ノ中ニハ「齋藤内閣
成立以來一年有半、其政績ヲ顧ミマス
ト、舉國一致内閣ノ形ハ存シテ居リマスモ
ノ、其實之ニ備ハラザル感ガナイデモア
リマセヌ」ト喝破致シテ居リマス、人モア
ラウニ與黨ノ中ノ最モ忠實ナ人ヲシテ、現
内閣ノ一枚看板デアル此舉國一致ノ金
看板ニ泥ガ塗ラレタト云フコトハ、最早此
内閣ガ存在理由ヲ失ツタト云フ何ヨリノ證
據ダト私ハ信ジテ居ル（拍手）日本ハ死際ノ
際ノ好イノヲ大和魂ハ宜シトスルノデア
ル、幾度モ色ヲ變ヘテ腐ルマデ枝ニシガミ
付イテ居ルヤウナ紫陽花ノ花ノ如キハ、大
丈夫ノ取ラザル所ト私共ハ信ズル（拍手）
吾々ガ現内閣ヲ斥ケント致シマスル第二
ノ理由ハ、時代ノ推運ニ適應セザル現内閣
ノ財政經濟政策ヲ以テシテハ、到底内ニ國
民生活ヲ安定充實シ、外ニ國力ヲ伸長スル
コト能ハズト信ズルカラデアリマス、高橋
大藏大臣ハ確ニ現内閣ノ柱石デアリマス、
世間ハ此内閣ヲ、齋藤内閣ト云フハ名バカ
リデアッテ、實ハ高橋内閣ダト云フ者サヘモ
アル、私モサウ信ジテ居ル一人デアリマ
ス、高橋サンガ老軀病ヲ冒シテ國政ノ切盛

リニ盡力セラレ、アノ熱心ナ御努力ニ對
シテハ、政治的ノ立場ヲ超エテ、人間のナ
親シミト尊敬ヲ私ハ感じテ居リマス、併ナ
ガラ此尊敬ト親シミノ故ニ、現内閣ノ財政
經濟政策ヲ無批判ニ承認スル譯ニハ行キマ
セヌ、私ハ率直ニ高橋藏相ノ持テ居ル財
政經濟ノ知識ト經驗ハ、最早今日ノ時勢ニ
適應シナイ骨董品化シツ、アルコトヲ喝破
シナケレバナリマセヌ、高橋大藏大臣ノ持ッ
テ居ル財政經濟ノ知識ハ、アナタト同ジ資
本主義經濟學ノ範疇ニ屬スル人々ノ中ニ於
テハ、確ニ一代ノ權威デアラウト思ヒマ
ス、サレバコソ此議場ニ於テ高橋サンニ物
ヲ聽ク議員ノ態度ハ、恰モ生徒ガ先生ニ對
スルヤウニ、鞠躬如タル態度ヲ以テ物ヲ聽
ク、高橋サンモ好イ氣持サウニソレヲ聽イ
テ、一場ノ講演ヲ爲サルト云フノガ議會ノ
質問應答ノ實情デアリマス、常ニ十分ノ發
言權ヲ持チ得ナイ私共ハ、議會ノ財政經濟
ニ對スル質問應答ヲ聽イテ、問フ方モ問フ
方ダガ、答ヘル方モ答ヘル方ダト云フ憤慨ヲ
禁ズルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレ
等ノ議論ヲ通シテ吾々ハ聊モ國民生活ノ苦
惱ノ核心ニ觸レタ生命ノ鼓動ヲ聞クコトハ
出來マセヌ、千九百十四年ハ古代史ナリト
喝破シタ文明批評家ガアリマスガ、世界大戰
ヲ轉機トシテ、時代ハ確ニ新シイ創造ノ時
代ニ入ッタト思フ、完全ニ入ッタト云フコト
ガ出來ナイマデモ、少クトモ現代ハ新シイ
時代ノ始マリト古イ時代ノ終リトガ纏レ合
ヒ、捫ミ合ッテ居ル過渡期デアルト云フコ
トダケハ認識シナケレバナラスト思フノデ
アリマス（拍手）ソコニハ第十九世紀ノ自由
主義華ヤカナリシ頃ノ財政經濟ノ常識ヲ以
テシテハ、ドウシテモ割切ルコトノ出來ナ

イ幾多ノ變調ガ存在シテ居ル、例ヘバ古イ
財政學デハ、爲替相場ノ下落ハ國家ノ損失
ナリト教ヘマス、ソコデ濱口内閣ハツイ此
間無理ナ金解禁ヲ斷行シテ、我國ノ爲替相
場ヲ吊上ゲルコトニ盡力セラレマシタガ、
今日ノ世界ノ形勢ハ、最早何國ト雖モ爲替
相場ノ吊上ナドスル國ハナクナッテ居ル、
即チ如何ニシテ自國ノ爲替相場ヲ適當ナ安
イ値段ニ落付カセウカトスルコトガ、今
日ノ世界ノ問題ニナッテ居リマス、又十九世
紀ノ常識ハ、金ニ兌換セラレナイ紙幣ニハ
信用ガナイト言フテ居リマシタケレドモ、
今日世界各國ヲ通ジテ、金ニ兌換セラレナ
イ不換紙幣ガ、横行濶歩シテ居ルト云フ事
實ガアルデハアリマセヌカ、斯ル變革時代
ニ處スル政治家ノ重要ナル素質ハ、此移リ
變ル時代ノ姿ヲ有リノ儘ニ映シ得ル明徹無
我ノ心境ト、之ニ對スル無盡藏ノ獨創力ヲ
有ッテ居ルト云フコトデアッテ、斷ジテ時候
遅レノ徽臭イ知識ヲ經驗ヲ自慢スルコトデ
アッテハナラスト信ズル、アナタガ今年度ノ
豫算編成ニ當リテ、收支ノ辻褄ヲ合セルコト
ニ御盡力ナサタコトハ、決シテ惡イ事トハ
申シマセヌケレドモ、今日ノ眞ノ憂ハ國家
財政ノ辻褄ヲドウシテ合セルカト云フコト
ヨリモ、働ケバ働ケ程貧乏ガ酷クナルト云フ、
此國民經濟ノ辻褄ヲドウ合セルカト云フコ
トガ、今日ノ最大問題デアルト思フノデアリ
マス、此國民經濟ノ辻褄ヲ合セテコソ、初メ國
家財政ノ辻褄ガ合フノデアッテ、此大本ヲ忘レ
テ、當面ノ會計年度ノ辻褄ヲ合サントスル
ガ如キ財政計畫ハ、甚シキ冠履顛倒ナリ
ト申サマルヲ得マセヌ、大局ニ立ッテ我が國
運ノ前途ヲ達觀スレバ、我國ハ今日日滿經
濟「ブロック」ノ完成ニ依リテ、國民生活ニ必

要ナ天與ノ物資ノ無盡藏ナルヲ信ズベキ時
代デアリマス、此無限ノ物資ヲ以テ國民生
活ノ需要ヲ満足サセル爲ニ必要ナル生産機
關ト、生産能力トハ、無數ニ遊ンデ居リマ
ス、サレバ現時局ニ於ケル財政經濟ノ經綸
ハ、如何ニシテ國家ノ收支ノ辻褄ヲ合セル
カト云フガ如キ、當座勘定ノ見地ニ於テ爲
スベキデハナイ、如何ニ工夫シ按配スレ
バ、遊ンデ居ル機械ト遊ンデ居ル人間ヲ働
カセテ、アリ餘ル物資ヲ必要ナ分量ダケ全
國民ニ分與スルコトガ出來ルカト云フ、總
勘定的ノ見地ニ於テ爲サレナケレバナラ
ス、管ノモノデアルト思フノデアリマス、細カ
イコトハ申シマセヌガ、私ガ現内閣ニ非常時
財政ヲ料理スル能力ナシト斷ズル根據ハ、
専ラ軍備整備ノ豫算ニ藉口シテ、全國ノ農
村、漁村、山村及ビ都會ノ中小商工業者ノ
生活ノ困苦ヲ殆ド顧ミナカッタ今年度ノ豫
算ニ付テ言フノデアリマス、目下ノ國際情勢
ニ顧ミテ、國防ノ充實ノ爲ニ相當ノ費用ヲ要ス
ルコトハ勿論ノコトデアッテ、私共ハ之ニ對
シテ彼此レ申ス者デハ勿論アリマセヌ、但
シ申スマデモナク今日ノ國防力トハ、決シ
テ狭イ意味デノ軍備、即チ軍艦トカ、大砲
トカ、飛行機ト云フモノヲ整備シタダケデ
ハ不十分デアリマス、是等ノ武器ヲ操縦ス
ル將兵ト、其背後ニアッテ活動スル、所謂統
後ノ國民生活ヲ安定セシメナケレバ、眞ノ
國防ヲ充實シ得タリト言フコトハ出來ナイ
筈デアリマス、此兩者ハ所謂車ノ兩輪、鳥
ノ兩翼デアッテ、決シテ一方ニ急ニ、一方ニ
緩ナルヲ許シマセヌ、一方ヲ重ク、一方ヲ
輕クスルコトヲ許シマセヌ、此兩者ニ必要
ナ經費ヲ支出シ得テコソ、本當ノ非常時局
擔任ノ能力アル財政家ト云フコトガ出來ル

ト思フノデアリマス(拍手)若シ無イ袖ハ振レヌ、無イ金ハ出セヌト云フテ濟ムナラバ、大藏大臣ナド、云フモノハ無用ノ長物デアルト私共ハ考ヘマス、高橋大藏大臣ハ二十一億ノ線ヲ一步デモ踏越エタラ、國家ノ財政ハ破綻スルト云フヤウナコトヲ揚言シテ、各省ノ豫算増額ヲ擊退スルノ武器ト致シマシタ、國內ノ豫算分捕亡者ヲ擊退スル爲ニハ、サウ云フ口實モ宜カッタデアリマセウ、併ナガラ大藏大臣ノ如キ責任ノ地位ニアル者ガ、輕々シク、是レ以上出セバ國家ノ財政ガ破綻スルト云フヤウナコトヲ言フコトガ、今日ノ神經過敏ニナツテ居ル國際場裡ニ於テ、或ル國々ニ日本ヲ輕ンズル材料ヲ提供スルコトニナルト云フコトニ氣付カナカッタスレバ、洵ニ迂闊千萬ノコトデアッタト言ハナケレバナリマセヌ、而モ大藏大臣ハ外ニ對シテ國家ノ信用ヲ傷ケル虞アルコトヲ顧ミル追モナクシテ、死守シヤウトシタ二十一億ノ線ヲ守リ通スコトガ出來ナイノミナラズ、其舌ノ根ノ未ダ乾カヌ内ニ、更ニ彼此レ五千万圓程ノ新規支出ヲ承認セザルヲ得ナクナツタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、ソレデ大藏大臣ハ辭職モシナケレバ、國家ノ財政モ破綻セヌデハナイカ、金ガナイノデハナク、腦味噌ガ足ラヌノダト私共ハ思フテ居ル、國家ノ財政ガ破綻ノ危險ガアルノデハナイ、古イ財政經濟ノ知識ガ破綻シタノデアルト私共ハ思ヒマス、少シク獨創力ヲ働カセテ、行詰ツタ資本主義經濟ノ弊所ニ著目シ、之ヲ是正スルノ勇氣ガアリサヘスレバ、何ゾ金ナキヲ嘆ゼンヤデアリマス

我が國民生活目下ノ不安ハ、決シテ我國ガ全體トシテ貧乏ニナツカラデハアリマ

セヌ、又國民生活ニ必要ナ物資ガ窮乏シタ爲メデモアリマセヌ、資本主義、經濟機構ノ當然ノ歸著トシテ、富ガ一方ニ偏倚シ過ギタ爲メデアリマス、此有餘ル方カラ無サ過ギル方ニ、少シ頂戴スル途ヲ付ケテヤリサヘスレバ、即チ吾々ノ主張スル公益統制經濟ヲ實行シサヘスレバ、今日ノ國民生活ノ不安ノ如キハ、刃ヲ迎ヘズシテ解決スルコトガ出來ルト私共ハ信ジテ居リマス、然ルニ資本主義ノ奴隸トナリ果テタル世紀末ノ政治家共ハ、統制經濟トサヘ云ヘバ、何カ社會ノ根本的破壊ヲ企畫スルカノヤウニ考ヘ、ソレガ資本家客メノ惡政治デアルヤウニ誤解シテ、小乗的ノ見地カラ、専ラ資本家擁護ノ政治ヲ御勉強ナサルヤウデアリマス、先達ノ町田サンノ御演說ノ中ニモ、サウ云フ氣分ガ見エテ居タト思フ、併ナガラ世界ノ革命史ハ、斯ル階級偏重ノ政治コソ、特權階級ニ取リテ最モ危險ナ政治デアッタコトヲ教ヘテ居ルノデアリマス、合法的ニ富ノ偏在ヲ是正スル途ガ閉サレ、バ、好ムト好マザルトニ拘ラズ、非合法ノ手段ニ依ツテモ、其目的ヲ達成ショウトスル機運ガ動イテ來ルト云フコトハ、歴史の必然デアッテ、何人モ之ヲ遮リ止メルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、今日有餘ル方面カラ少シ頂戴シテ、無サ過ギル方ヘ廻シテヤルト云フコトハ、社會的爆發ヲ防グ政治的安全トシテ必要ナ施設デアリマス、又有餘ッテ居ル人ハ、其爲ニ少シノ金ヲ出ス位ノコトハ、社會ノ安全ニ對スル保險料ヲ拂フ積リデ、喜ンデ出スノガ當リ前ダト私共ハ信ジテ居ル、吾々ガ之ヲヤレト云フノハ、資本家客メドコカ、是コソ眞ニ國民ト共ニ實行コソ、階級の憎惡ナキ大愛ノ社會ヲ建

設スル大慈大悲ノ大乘政治ナリト、私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)
之ヲ要スルニ、現内閣ハ軍事豫算ヲ作ルコトニハ成功致シマシタガ、是ト併行シテ必ズ行ハレナケレバナラナカッタ國民ノ生活豫算ノ作成ニハ、全然失敗致シマシタ、此時代ニ於テ、國民ノ生活豫算ガ作レナイヤウナ内閣ハ、一日モ其存在價值ナシト私共ハ信ジテ居リマス(拍手)
吾々ガ現内閣ヲ打倒セザルベカラズトスル第三ノ理由ハ、現内閣ノ存在ハ國民思想ヲ惡化シテ、社會的爆發ヲ誘導スル危險ガアルカラ止セト云フノデアリマス、御注意申上ゲマスガ、現内閣ハ思想善導ノ能力ガナイカラ止セト云フノデハナイ、現内閣ノ存在ソレ自身ガ國民思想ヲ惡化スルカライケナイト云フノデス、感違ヒノナイヤウニ聞イテ戴キタイ、現内閣成立ノ重大使命ガ、國民生活ノ安定ニアッタコトハ論ナキ所デアリマス、アナタモ屢々之ヲ公言シテ居ラレル、而モ國民思想ヲ安定ショウト云フナラバ、ドウシテモ國民生活ヲ安定セシムルニ足ル政治ヲ實行シ、此政治ニ對シテ國民ヲ信頼セシムルガケノ行ヒヲ爲サナケレバ、思想善導ハ出來ナイ譯デアルト思フ、然ルニ現内閣ノ政治ハ、國民生活ノ根本ニハ何等觸ル、所ナク、唯僅ニ治安維持法ノ改正トカ、精神文化研究所ノ設置ト云フヤウナコトヲ以テ、國民思想ノ安定ガ出來ルカノヤウニ御吹聴ナサツテ居ル、思ハザルノ甚シキモノデアルト思フノデアリマス(拍手)危險思想トサヘ云ヘバ、直チニ赤化思想ダト思ヒ、此赤化思想ノ取締ニ狂奔シテ居ラレルコト自體ガ……

○鈴木正吾君(續) 現内閣ノ思想對策ニ對スル認識不足ヲ證據立テ、居ルト思ヒマス(拍手)今日ノ我が國民思想ガ動搖致シテ居リマス最大ノ原因ハ、我國ノ上層階級ニ、政治的、社會的、經濟的ノ不正義ガアリト思ハレルコトガ、國民思想動搖ノ根本デアルト云フコトヲ知ラナケレバナリマセヌ(拍手)直言スレバ、貧乏人ノ犯罪ハ、假令ソレガ一錢博奕デアッテモ、嚴重ニ處罰セラレケレドモ、大臣、大將トモナレバ、關係筋ノ政商カラ數万金ヲ貰ッテモ、收賄罪ニ問ハレザルノミナラズ、進ンデ國家ノ要路ニ傲然トシテ君臨スルコトモ出來ルト疑ハシムル事態ガ、思想惡化ノ根本原因デアリマス(拍手)明轎事件ノ如キ、大財閥ノ大脱稅ハ、大目ニ見逃ガサレテ居ルガ、其日ノ生活ニ追ハレテ餘儀ナク滞ッタ三圓、五圓ノ税金ハ、情ケ容赦モナク取立テラレルノデハナイカト疑ハシムル事實ガ、思想惡化ノ根本原因デアルト思フノデアリマス(拍手)働イテモ働イテモ食ヘナイ人間ガ、懷ロ手ヲシテ贅澤ニ暮シテ行ケル人ヲ見テ、社會ヲ呪ヒ、政治ヲ呪ヒ、遂ニ破壊ノ思ヒヲ懷クニ至ルコトハ、神佛ノ力ヲ以テモ遮ギルコトハムツカシイコトダト思ヒマス(拍手)物平カナラザレバ即チ鳴ル、所謂赤化思想ノ瀰漫ト云フヤウナコトハ、斯ル日本ノ政治、經濟、社會ニ存在スル不正義ヲ憤ル人心ノ烟ニノミ、其生命ヲ延バスコトガ出來ルノデアルト申サナケレバナラヌ(拍手)若シ上述ノ如キ政治上、社會上、經濟上ノ不正義ヲ一掃シテ、公平無私ノ政治ヲ行ヒ、苟モ眞面目ニ働ク人間ハ食フニ困ラナイト云フ正義社會ヲ建設スルコトサヘ出來レバ、元來我が國民性ト兩立シナ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

イ赤化思想ノ如キ醜草ハ、捨テ、置イテモ枯レテシマウト、私共ハ信ジテ宜シイト思ッテ居リマス(「ヒヤ〜」、拍手)

然ルニ現内閣ハ、此ヲ清メルドコロカ、却テ益、其本ヲ濁スヤウナ政治ヲヤツテ居ルデハナイカ、百年河清ヲ待ツニ等シイトハ、現内閣ノ思想對策ノ爲ニ作ラレタ評語デアルト言ウテモ差支ナイト思フノデアリマス(「ヒヤ〜」、拍手)若シ齋藤首相ガ、今日ノ國民ノ間ニハ、ソナナ危險ナ空氣ハナイト仰シヤルナラ、ソレダケデアナタハ國民思想ノ安定ヲロニスル資格ノ無イ落第生ダト申サナケレバナリマセヌ(「ヒヤ〜」、拍手)アナタハ夢ニデモ、今日ノ監獄ノ囚人ノ生活ト、眞面目ナ農村ノ人ノ生活ト較ベテ見タコトガアルカ、御承知ノ通り今日ノ農村ノ生活ト云フモノハ、實ニヒドイ状態ニ置カレテアリマス、監獄カラ歸ッテ來タ人ノ話ニ依レバ、監獄ノ生活ノ方ガ、一般ノ農村ノ生活ヨリモ、遙ニ物質的ニハ豊デアルト言ッテ居ル、國憲ヲ重ンジ、國法ヲ尊重シテ、納税、徴兵ノ義務ニ服シテ居ル農民ノ生活ガ、囚人ノ生活ヨリモ低イト云フ状態ニ於テ、農村ニ反抗ナシ、國民ニ危險思想ノ虞ナシト云フヤウナコトヲ言フトスレバ、認識不足モ甚シイト言ハナケレバナリマセヌ(拍手)

之ヲ要スルニ、現内閣成立以來二箇年ヲ經過シテ現段階ニ於ケル國民思想ハ、五・一五事件發生當時ノソレニ較ベテ、聊モ良クナツテ居ナイノミデハナイ、却テ一層危險ナル爆發ニ向ッテ突進シツ、アリト考ヘルノガ妥當デアルト考ヘテ居リマス、現ニ此頃傳ヘラレル噂ニ依レバ、齋藤サンハ連帶責任ヲ負ハズシテ居

据ラウトシテ居ル、政變ガ必ズ來ルデアラウト豫想セラレタ國民ハ、非常ナ憤慨ヲシテ、寄リ〜此内閣ヲ倒ス非常ナル計畫ヲ計畫シツ、アルヤニ傳ヘラレテ居リマス、合法的ニ内閣ヲ倒ス途ガアル所ニ、内閣ノ立憲的進退ガアル、合法的手段ヲ以テシテハ、ドウシテモ國民カラ愛想ツカシヤセラレタ内閣ヲ退ケル途ガナイト云フトキニ、好ムト好マザルトニ拘ラズ、非常手段ニ依ッテノ改革ガ叫バレルニ至ルコトハ、注意ヲ要スルコトデアルト思フノデアリマス(拍手)「其通り」ト呼フ者アリ此頃三菱ノ釜石鐵山デ數十箇ノ「ダイナマイト」ガ紛失シタ

トカ、或ハ東京ニ於テ九百挺ノ「ピストル」ガ行方不明ニナツタトカ、ソレガ何カ政治的、社會的ノ陰謀ニ關係アルヤニ噂セラレ此内閣ノ思想對策ガ成功シタリト認ムベキ何ノ徵候モナイ、却テ益、其反對現象ガ現ハレテ居ルト云フコトハ、此内閣ニ罷メロト云フ天ノ命令ナリト私ハ信ジテ居ル(拍手)歴史ハ繰返スト言ヒマスクレドモ、今日ノ日本ノ國情ハ、全ク幕末史ヲ再演シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、幕末期ノ政治家ガ、事毎ニ優柔不斷ニシテ、斷ズベキヲ斷ゼズ、爲スベキヲ爲サズ、遂ニ徳川幕府ノ存續ヲ希望シナガラ、スルコト、爲スコトガ、徳川幕府ヲ倒ス結果ニ赴イタ經過ハ、今日ノ齋藤内閣ノ遺口其儘デアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)一層思想善導ナド、云フコトヲ言フクレドモ、思想善導トハ、本當ノ意味ニ於テハ、將ニ覆ラントスル大衆ノ怒リヲ鎮シテ、此大衆ノ力ヲ社會的破壊ノ爲ニ用ヒサセズ、之ヲ引戻シテ國家的建設ニ役立テル撥亂反正ノ大事業

デナケレバナリマセヌ、斯ル大事業ハ「スチーム」ノ暖イ大臣官邸ノ安樂椅子デ、午睡ノ夢ヲ貪ル八十ノ老翁ニ、到底之ヲ期待スルコトハ出來ナイト思ヒマス(拍手)佛蘭西革命ノ原因ガ、財産分配ノ著シイ不平均ト課税賦役ノ甚シキ不均衡ニアッタ(止メロ〜)「ト呼フ者アリ」サシテ其爆發ヲ誘タモノハ「ルイ」十六世ノ優柔不斷ナル政治デアッタコトハ、史家ノ齊シク認ムル所デアリマス(拍手)而モ此「ルイ」十六世ノ性格ガ、私ハ齋藤サンノ性格ト、ソックリ其儘當嵌マルヤウナ氣ガシテナラナイ(拍手)明治大帝ハ人心ヲシテ倦マザラシメンコトヲ要スト仰セニナリマシタ、現内閣ノ下、今ヤ人心ハ極度ニ倦ミ切ッテ居リマス、其人心ガ倦ミ切ッテ結果、或者ハ墮落シテ物欲ニ囚ハレテ囚人トナリ、或者ハ遂ニ憤激ノ餘リ變ヲ想フニ至ッタト云フコトハ、實ニ悲シムベキコト、言ハナケレバナリマセヌ、吾々ハ斯ウ云フヤウナ政治ヲヤツテ居ル内閣、清瀬サンハ此内閣ノ政治ハ無効デアリ、無意味デアッタト言ハレマシタクレドモ、私ハ無意味デアリ、無効デアッタト云フ以上ニ、寧ろ有害デアッタト思フノデアリマス、是ガ私ガ現内閣ヲ彈劾スル第三ノ理由デアリマス

最後ニ吾々ガ現内閣ヲ……
〔モウ止メロ〜〕ト呼ビ、其他發言スル者多シ
○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○鈴木正吾君(續) 吾々ガ現内閣ヲ彈劾スル第四ノ理由ハ、現ニ白日ノ下ニ暴露セラレツ、アル現内閣ハ、言語道斷ナル綱紀紊亂沙汰デアリマス(「マダヤルノカ」ト呼フ者アリ)言フマデモナク、綱紀ハ國運ノ盛衰ヲ決スル治國ノ大本デアリマス、綱紀嚴

ナレバ庶政整ヒ、綱紀紊ルレバ民心頻ニ變ヲ想フニ至ルコトハ必至ノ勢アル、綱紀肅正ヲ使命トスル現内閣ノ下ニ於テ、露々タル綱紀紊亂ノ聲ヲ聞クノハ、國政ノ要路ヲ塞グ醜官汚吏ニ對スル天ノ譴メデアルト私ハ信ジマス、實ヲ申セバ、私ハ連年頻々トシテ起ッテ來ル政治的罪惡ハ、今日ノ爛熟シ切ツタ資本主義經濟ト、ソレニ依存スル政治機構トノ間ニ、必然的ニ發生スベキ時代惡デアルト信ジテ居リマス、隨テ此現象ヲ唯政治家ノ罪ノミニ歸シテ之ヲ責メテモ、本當ニ之ヲ改メルコトハ出來ナイデアラウ、寧ろ斯ル時代惡ノ發生ヲ約束スル現在ノ制度其モノニ根本的ノ斧鉞ヲ加ヘナケレバ、國家ノ綱紀ヲ肅正スル途ハナイト信ジテ居リマスクレドモ斯ル根本問題ハ、此處ニ論ズルコトヲ止メマス、唯今日綱紀問題ヲ論議スル當議場ノ空氣ガ、餘リニ低調卑俗デアルコトヲ、私ハ悲シムベキコトダト思ッテ居ル(拍手)「ソレハ君ノ爲メダ」ト呼フ者アリモウ少シ高イ道德的ナ物差デ綱紀問題ハ批判セラルベキデアラウト思ヒマス(拍手)辯士交代」ト呼フ者アリ

此議場ハ決シテ刑事裁判ヲスル所デハナイ、當議場ハ嚴肅ナル政治道德ノ裁判所トシテ、綱紀問題ヲ扱ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲナケレバナリマセヌ(「男ヲシイ聲ヲ出セ」ト呼フ者アリ)苟モ國家ノ廣居ニ居ル公人ニハ、縱シ刑事上ノ犯罪トマデハナラズトモ、政治道德上超エテハナラヌ一線ガアリマス、其一線ヲ超エタリト疑ハレタマケデ、吾々ガ現内閣ノ綱紀問題ノ責任ヲ問フ理由ハ十分ナリト私共ハ信ジテ居ル(拍手)司法裁判所ニ於テハ前ハ罪人ダト宣告スル爲ニハ、ソレガ罪人デアルト

云フ舉證ノ責任ハ國家ニアリマス、政治裁判所ニ於テハ、政治道徳上ノ罪人ト疑ハレタ場合、俺ハ公明正大ダト云フコトヲ舉證スル責任ハ、疑ハレタ人其自身ニアルト云フコトヲ知ラナケレバナリマセヌ、往年「ロイド・ジョーヂ」ガ「マルコニー」無線電信ノ株ニ關シテ、政治道徳上ノ疑ヲ受ケタ時ニ「ロイド・ジョーヂ」ハ直チニ夫人ノ預金帳マデ公開シテ、身ノ潔白ヲ證明シ、其爲ニ「ロイド・ジョーヂ」ノ信用ヲ一層増加シタト云フ事實モアリマス、若シ其人ノ平生ニ大ナル國民的信用ガアレバ、一言ノ辯解デモ疑雲ハ一掃セラレデアラウ、否一言ノ辯解ヲ爲サズトモ、國民ハ初カラ之ヲ疑ハナイデアリマセウ、然ルニ悲シイ哉、現在ノ政治家ノ多數ニハ、如何ナル流言蜚語ニ對シテモ、マサカアノ人ガト、先ヅ否定的ニ考ヘズシテ、アレナラバ其位ノコトハヤリサウナモノデアルト、先ヅ肯定的ニ考ヘラレヤウナ信用程度ノ稀薄ナ者ガ内閣ノ要路ニ居ルト云フコトハ、禍ナル哉デアリマス、斯ル信用ノ薄イ政治家ガ國民カラ重大ナ疑惑ヲ掛ケラレテ居ルノニ對シテ「ロイド・ジョーヂ」程ノ舉證ノ誠意モ示サズニ、叩頭徒ニ辯解ヲ繰返シタ位デ、國民ノ疑惑ヲ一掃スルコトノ出來ナイノハ當然デアリマス、吾々ガ當議場ニ於テ網紀案亂ニ關スル現内閣ノ政治上ノ責任ヲ裁判スル材料ハ、現在現ハレテ居ルダケノ疑惑デ既ニ十分ダト思フ、是レ以上ノ犯罪の證據ヲ舉ゲル必要ハ斷ジテナイ、之ヲ云々スルコトソレ自體ガ、既ニ網紀問題ノ本來ノ性質ヲ辨ヘナイ議論デアルト言ハナケレバナリマセヌ、一片ノ疑ト言ヒマスケレドモ、ソレガ信用ノ薄イ政治家ニ取ツテハ致命傷ニモ

ナルノダ、十目ノ視ル所、十指ノ指ス所、ソレ嚴ナル哉ト云フコトモアル、私ハ議會ノ品位ノ爲ニモ必要以上ノ暴露戰術ヲ用ヒルコトニハ反對デアリマスケレドモ、現在現内閣ノ網紀案亂トシテ世間カラ指彈セラレテ居ル問題ヲ、一覽表的ニ列舉シテ見ルト、實ニ驚クベキ數ニ達シテ居リマス、其第一ハ、臺灣銀行所有ノ帝人株及ビ神綱株ノ肩替リニ依ツテ浮ビ上ツタ推算一千三百萬圓ノ利益ヲ廻ッテ、

等ニ網紀案亂ノ疑アリトスル噂ガ傳ヘラレテ居ル

○議長(秋田清君) 御演說中デアリマスガ、御注意致シマス、質疑タルト討論タルトハ問ハズ(發言スル者アリ、議場騒然) 靜肅ニ——質疑タルト討論タルトハ問ハズ、演說ハ他人ノ身上ニ涉ルコトヲ法ハ禁ジテ居リマス、御注意シテ置キマス

○鈴木正吾君(續) 謹シテ御注意ニ依リマシテ、只今ノ名前ハ全部取消スコトニ致シマス、免ニ角サウ云フ疑惑ノ問題ガアル、私ハ其疑惑ノ事實ガアルト言フノデヤナイ、疑惑ノ問題ダケ内閣ノ責任ヲ問フニ十分ナリト言フノデアアル、事實ノ問題ヲ彼此レ言フノデヤアリマセヌ、世間ニ傳ヘラレテ居ル所ハ斯ク——デアルト云フコトヲ申上ゲル、第二ハ、神戶事件曝露セラレタ東株ノ亂脈整理ト、新重役選任ニ絡マル網紀案亂ノ疑惑、第三ハ、製鐵合同ニ際シ、民間五社ノ資産評價ニ不正アリタリトスル疑惑、第四ハ、東拓所有ノ南洋興發株券ノ賣却ニ關スル疑惑、第五ハ、舊帝政露西亞ノ債權沒收ニ際シ、約八千萬圓ノ不當利得ヲ正金銀行ニ與ヘ、

ト認メラレル大藏當局ノ不當措置ニ關スル疑惑、第六ハ、樺工ノ重役何某ヨリ五萬圓ヲ某大官ガ收受シタルコトヲ認メナガラ、之ヲ單純ナル政治資金ノ寄附ナリト斷定シタル時ノ檢事總長ニシテ、現在ノ司法大臣タル小山氏ニ絡マル疑惑、第七ハ、新製鐵會社ノ重役推舉ニ絡マル網紀案亂ノ疑、第八ハ、今年度建設ノ鐵道新線中ノ數線ニ絡マル疑惑、此事ハ現ニ貴族院ニ於テ問題ニナツテ居リマス、第九ハ、全國各地ニ現ハレタル教育關係ノ疑獄等ハ、最近世上ニ喧傳セラレツ、アル内閣ノ網紀案亂ニ關シテ、疑ハレテ居ル問題デアリマス、而モ疑惑ハ是ダケデアリマセヌ、消息通ノ間ニハ色々沙汰セラレテ居ル問題ガアリマスケレドモ、私ハソレ等ノ問題ヲ此處デ殊更ニモウ言フ必要ハナイト思ッテ居ル、今マデ舉ゲタ疑惑ダケデモ、此内閣ハ當然政治上ノ責任ヲ感じナケレバナラス答ダト思ヒマス(拍手) 此内閣ノ性質トシテハ、縱シ此中ノ一ツノ疑惑ガ起ツデモ、責任ヲ痛感シナケレバナラス、況ヤ數俱發トモ言ヒタイケレドモ、十數ノ疑ガ群生致シテ居ル、事既ニ是ニ至ル、最早アナタノ本當ノ氣持カラ言ウテモ、御罷メニナルノガ當リ前デハナイカ、是デモ尙ホ責任ヲ感じナイト言フナラ、私ハ齋藤總理大臣ハ最早政治的ノ責任論ノ當體トシテ扱フベキニ非ズシテ、首相ノ精神狀態ハ、變態的精神醫學ノ研究資料タルベキモノトサヘ思フノデアリマス(拍手)

政黨ノ信用ヲ回復シ、議會政治ノ權威ヲ高ムル眞ノ途ハ、斷ジテ議場ノ彌次ヲ慎シダリ、暴力沙汰ヲ遠慮スルコト云フヤウナ、御行儀見習ノヤウナ沙汰ニ依ツテ、議會ノ信用ハ高マルモノデアリマセヌ、政治家ガ唯ソレ法ヲ恐れ、苟モ法律ニ觸レサヘシナケレバ公明正大、俯仰天地ニ恥ズト爲ス其心持ガ、政黨ガ信用ヲ失ヒ、議會ガ信用ヲ失フ根本原因デアルト私ハ信ジテ居ルノデアアル、若シ當議場ノ諸君ニ政治裁判ノ判官タル道義ノ念ガアルナラバ、少クトモ網紀問題ニ關スル限り、是レ以上ノ證據呼ハリラセズニ、率直明白ニ現内閣ノ非ヲ認メテ、本決議案ニ賛成サルベキモノデアルト私ハ思ヒマス(拍手) 諸君ガ若シ此期ニ及ンデ尙ホ現内閣ヲ曲庇シ、多數ヲ特ンデ本決議案ヲ否決シ去ルナラバ、諸君ハ當議場ニ於テダケハ數字上ノ勝利者トシテ、芳バシカラザル名譽ヲ擔フコトガ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、院外ノ大衆カラハ、政黨ハ依然トシテ國家ノ道義ヨリモ、政黨ノ利益ヲ重シトスル、道徳的ノ敗北者デアルト云フ宣告ヲ與ヘラレデアラウト云フコトヲ私ハ憂フル(拍手) 今迄ハ諸君ハ都合ノ好イ時ニハ與黨ノ如ク、都合ノ惡イ時ニハ野黨ノ如ク振舞ツテ、現内閣トノ責任關係ヲ有耶無耶ノ間ニ葬ツテ來ラレマシタガ、茲ニ此決議案ヲ否決シ去ラル、以上、諸君ハ其瞬間カラ完全ニ現内閣ノ稅政ノ共同責任者トナルノダト云フコトヲ、自覺シナケレバナリマセヌ(拍手) ドウ婉イデモ餘命幾許モナイ現内閣ト、其政治的沒落ノ運命ヲ共ニスルト云フコトヲ自覺シナケレバナラスト思ヒマス(拍手) 私ハ率直ニ申上ゲマスガ、諸君ノ良心ハ疑モナク本決議案ニ賛成セヨト命ジテ居ルト信ジテ居ル、此決議案ヲ葬リ去ルコトハ吾々ノ敗北ニ非ズシテ、明ニ諸君ノ道徳的ノ敗北デアルト私ハ斷定致シマス、申スマデモナク議會デ多數ヲ決メタカラト云ツテ、ソレハ必シモ眞理デハナ

メタカラト云ツテ、ソレハ必シモ眞理デハナ

イ、百人ノ中九十九人ノ絶對多數ヲ以テ雪
ハ黒イト決議シテモ、斯ル多數決ハ國民ノ
前ニハ何等ノ權威ヲ持ツモノデハナイノデ
アリマス、國民ガ心カラソレニ服シ得ル多
數決ハ、常ニ事實ト眞理ニ基ク各議員ノ良
心ノ發露ノ結果デアアル多數決デナケレバ、
以テ國民ノ信賴ヲ繋グ助ケニハナラスト云
フコトヲ考ヘテ戴キタイ(拍手)諸君ガ此決
議案ヲ葬リ去ルコトハ極メテ易タル議會
デアリマセウ、併シ其爲ニ失ハレタル議會
ノ信用ヲ恢復スルコトハ、容易デナイト云
フコトニ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス
(拍手)

私ハ最後ニ齋藤首相ニ一言シタイ、荀子
ガ管仲ヲ評シタ言葉ノ中ニ「徳ヲ以テ君
ヲ調ヘテ之ヲ補フハ次忠ナリ、徳ヲ以テ君
ヲ諫メテ君ヲ怒ラスハ下忠ナリ、君ノ榮辱
ヲ恤ヘズ國ノ賊否ヲ卹ヘズ、命ヲ倫ミ苟モ
容レラレ、之ヲ以テ祿ヲ持シ、交ヲ養フノ
ミナルハ國賊ナリ」ト云フ一節ガアリマス、
私ハ決シテアナタヲ苟モ容レラレ、之ヲ
以テ祿ヲ持スルノミナル國賊トハ申シマセ
ヌ、アナタニモ尙ホ依然國ヲ愛スル至情ガ
アルト思フ、一片憂國ノ至情アリト信ズル
ガ故ニ、私ハ一言アナタニ國家ニ御盡シス
ル最後ノ御奉公ノ途ヲ申上ゲテ見タイと思
フ、ソレハアナタガ一日モ早く御罷メニナ
ルコトデアアル、此際アナタガ留ツテ何ヲ爲
サルヨリモ、一日モ早く罷メルコトガ、ア
ナタトシテノ國家ニ對スル最大ノ御奉公デ
アルト云フコトヲ私共ハ信ジマス(拍手)本
當ノコトヲ言ヘバ、齋藤サンハ、出テ來タ
コトガ間違デアル、出テ來タコトガ間違デ
アレバ、引込ムヨリ外ニハ、此出發點ノ間違

ヲ是正スルコトハ出來ナイト思フノデアリ
マス(拍手)

以上ガ私ノ現内閣ヲ彈劾スル理由デアリ
マス、ドウソ當議場ノ各所ニ自由ノ良心ノ
發露ガアツテ、本案ガ成立スルヤウニ切ニ希
望致シマシテ降壇致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 作田高太郎君

○作田高太郎君 簡單デアリマスカラ、自
席カラ發言スルコトヲ御許シテ願ヒマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス

○作田高太郎君 只今上程ニナリマシタ決
議案ニ付キマシテ、清瀬君ノ提案理由竝ニ

鈴木君ノ贊成ノ御意見ヲ審サニ拜承致シタ
ノデアリマス、併ナガラ吾々ハ斯様ナル薄
弱ナル理由、徹底ヲ缺ク論據ニ依ツテ現内閣
ノ信任ヲ問フガ如キハ、内外ノ情勢ガ之ヲ
許サザルモノアリト考ヘルノデアリマス
(拍手)仍テ茲ニ反對ノ意思ヲ表明スル者デ
アリマス(拍手)

○青木雷三郎君 本案ニ對スル討論ハ此程
度ニ於テ終局セラレシコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——青木雷三郎
君ヨリ討論終局ノ動議ガ提出セラレマシタ、
此動議ニ付テ採決致シマス、討論終局ノ動
議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反對〕ト呼フ者アリ

〔贊成者起立〕

〔少數〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 起立多數(拍手)仍テ本
案ニ對スル討論ハ茲ニ終局スルコトニ決シ
マシタ、是ヨリ決議案ノ採決ヲ致シマス、
本決議案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反對〕贊成ト呼フ者アリ

〔贊成者起立〕

〔少數〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 起立多數(拍手)仍テ本
案ニ對スル討論ハ茲ニ終局スルコトニ決シ
マシタ、是ヨリ決議案ノ採決ヲ致シマス、
本決議案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反對〕贊成ト呼フ者アリ

〔贊成者起立〕

〔贊成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立少數(拍手)仍テ本
決議案ハ否決セラレマシタ(拍手)

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議
ヲ提出致シマス、即チ此際日程第四十五、
第四十六ヲ繰上ゲ上程シ、逐次其審議ヲ進
メラシムコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス
仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第四十
五及ビ第四十六ハ同一委員ニ付託シタル議
案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議ア
リマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス
日程第四十五、竹下文隆君提出、民事訴訟
法中改正法律案、日程第四十六、風見章君
提出、民事訴訟法中改正法律案、右兩案ヲ一
括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ
報告ヲ求メマス——委員長小野寺章君

第四十五 民事訴訟法中改正法律案

〔竹下文隆君提出〕

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十六 民事訴訟法中改正法律案

〔風見章君提出〕

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一民事訴訟法中改正法律案(竹下文隆君
提出)

一民事訴訟法中改正法律案(風見章君提
出)

右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シテ一案ト爲
スヘキモノト修正議決致候此段及報告候
也

昭和九年三月六日

委員長 小野寺 章

衆議院議長秋田清殿

〔小野寺章君登壇〕

○小野寺章君 本案ニ對スル委員會ノ經過
竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ民事
訴訟法中強制執行ニ關スル規定ヲ改メマシ
テ、農業者ニ對スル強制執行ハ、其生産ニ
係ル收穫物ノ中、次ノ收穫期マデノ農業者
竝ニ其家族ニ對スル食糧ノ差押ヲ禁ズルト
云フ趣旨デアリマス、委員會ニ於ケル委員
ノ提案理由ニ關スル質問ニ對シマシテ、提
案者ノ説明ハ、近時農業者ノ收益ハ漸減ヲ
致シマシテ、其負擔ハ却テ増加ノ趨勢ヲ辿
テ居リマス、農民ノ生活ハ著シク窮迫ヲ致
シマシテ、今ヤ大部分ノ農民ハ負債ノ重壓
ニ苦シンデ居ル有様デアリマス、若シ農業
者ニ對スル所ノ債權者ノ執行ヲ、其自由ナ
ル所ノ追求ニ委シマスル現制度ヲ持續致シ
マスルナラバ、彼等農民ノ生活ハ種々脅威
ヲ受ケ、希望ヲ失ヒタル所ノ農民ハ遂
ニ自暴自棄ニ陥リマシテ、或ハ暴民ト
ナリ、或ハ惰民トナリ、農村ノ堅實ナル
氣風ヲ一掃致シマシテ、國家ノ基礎タル自
治體ノ崩壞ヲ招來スルノ虞ガアル、本案ハ、
農民ノ最低限度ノ生活ヲ保障シ、其生
業ヲ繼續セシムル爲ニ、次ノ收穫期マデ、
ノ食糧ノ差押ヲ禁ジ、以テ債權者ヨリスル
所ノ農民ノ生存ノ脅威ヲ除イテ、此窮迫セ
ル所ノ事態ヲ救ハントスル所ノ趣旨デア
ル、又現行法ハ一般ノ債務者及ビ家族ノ一
箇月間ノ食糧ノ差押ヲ禁ジ、商業者ト農業
者ト全然同一ノ取扱ヲ爲シテ居リマス、商

ニ付テ標準ヲ法定スルト云フコトハ不可能ナル、箇々ノ場合ニ付テ執達吏ヲシテ認定セシムルコトガ、寧ロ適當デアルト云フ辯明ヲ致シテ居リマス、又小作料、肥料代金、サウ云フヤウナ生産ニ加工致シマシタ所ノ債權ニ對シテモ、本法上ニ適用ヲスルト云フ所ガイケナイノデハナイカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ提案者ハ、地主ハ小作料不拂ノ場合ニ於テハ、契約ヲ解除シテ土地ヲ回收スルコトガ出來ルノデアルカラ、小作人ガ本條ヲ楯ト致シマシテ、小作料ヲ不拂スルコトハナイ、又一面本條ニ依リマシテ、農業者ノ生活ガ保障セラレタル結果、農民ガ安ンジテ生業ニ従事スルコトガ出來ル、隨テ收益モ増加ヲ致シマスルカラ、地主ニ對スル關係モ圓滿ニ解決ヲスルコトガ出來ルト信ズルト云フコトヲ答ヘラレタノデアリマス、採決ノ結果大多數ヲ以テ本案ハ可決ニ相成ツタノデアリマス、此段御報告ヲ申上ゲマス（拍手）

○議長（秋田清君） 討論ノ通告ガアリマス之ヲ許シマス——風見章君

○風見章君 極メテ簡單デアリマスカラ、自席カラ發言ヲ御許シヲ願ヒマス

○議長（秋田清君） 許可致シマス

○風見章君 國民同盟ハ、同盟ノ方針トシテ、此法案ニ賛成致シマス（拍手）

○議長（秋田清君） 討論ハ終局致シマシタ、本案ニ對スル委員長ノ報告ハ、兩案ヲ併合シテ一案トナシ、修正議決シタルモノデアリマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付キ採決致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ求メマス

（賛成者起立）

〔多數〕「明瞭ニ多數」「民政黨ハ反對

カ「ト呼フ者アリ」

○議長（秋田清君） 御著席ヲ希望シマス
兩案ノ第二讀會ヲ開クニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反對者起立〕

〔少數〕ト呼フ者アリ

○議長（秋田清君） 甚ダ御面倒デアリマス
ルガ、議長ハ今一應、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

〔多數〕ト呼フ者アリ

○議長（秋田清君） 起立多數（拍手）仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（秋田清君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（秋田清君） 御異議ナシト認メマス、
仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

民事訴訟法中改正法律案 第二讀會

○議長（秋田清君） 別ニ御發議モアリマセヌ、委員長報告通り決シマシタ（拍手）是ニテ第二讀會ハ終リマシタ

○青木雷三郎君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（秋田清君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（秋田清君） 御異議ナシト認メマス、
仍テ直チニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

民事訴訟法中改正法律案 第三讀會

○議長(秋田清君) 本案ニ賛成ノ諸君ハ起立

〔賛成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立多數——仍テ本案ハ可決確定致シマシタ(拍手)

○青木雷三郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後五時五十七分散會

頁	段	行	誤	正
四一七	二	一九	輔弼	補闕
四一九	四	一六	無理	ムラ
四二〇	一	一六	戰鬪	戰爭
四二〇	二	二六	百十四隻	百十餘隻
四二〇	三	二六	五十四隻	五十餘隻
同	四	二三	來マス	來マスト
四四六	一	五	(政府委員 戸田保忠君 登壇)	(政府委員 子爵織田信 恒君登壇)
四四六	一	五	(政府委員 戸田保忠君)	(政府委員 子爵織田 信恒君)
四四六	一	六	(戸田保忠君)	(子爵織田 信恒君)

衆議院議事速記録第十九號中正誤